市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	観光プラザ整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	観光都市としての国内･国外観光客の受入機能の充実を図るため、「てんぶす那覇」に観光案内所を整備する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	238,420	－			
	(b)予算現額	238,420	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	236,454			
	A. 計(b+d)	238,420	236,454			
B. 執行済額		1,966	180,135			
うち交付金充当額		1,572	144,108			
次年度繰越額		236,454	0			
執行率（%）(B/A)		0.8%	76.2%			

予算の状況の説明：区分所有建物の購入交渉に伴い発生する価格問題、相手方からの要求により、建物の購入が平成24年度に完了できなかったため、繰越を行った。　区分所有建物の取得時には、不動産鑑定に基づく適正価格での販売交渉を行った結果、執行率を抑えることが出来た。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光案内所設置のため、区分所有建物を確保	目　標	(　確保　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	確保			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：区分所有建物の購入価格決定のため、不動産鑑定を行った。その鑑定を元に区分所有建物の購入額を決定し、購入した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
観光案内所設置のため、区分所有建物を確保	目　標	(　－　)	(　確保　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		確保			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：区分所有建物を確保、購入し目標達成した。平成25年度中に観光プラザ(観光案内所)として、観光案内スペースの他、授乳室、休憩コーナーを整備し、観光客の利便性の高い観光案内所として、改修工事を行う。

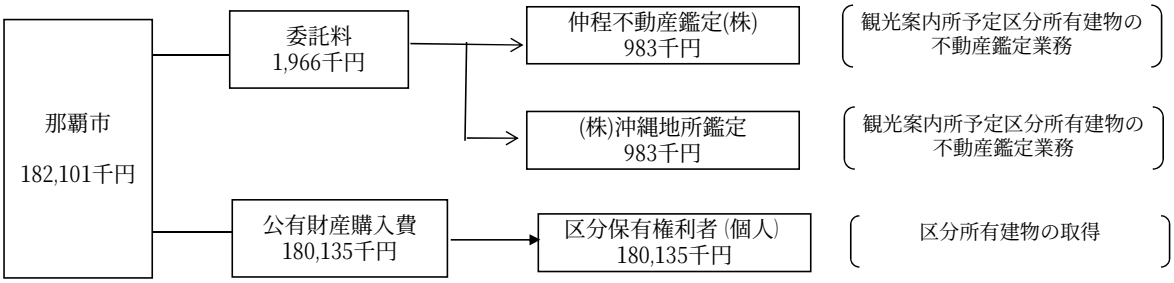
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	道路や公園整備等の公共工事と異なり、売主に税制上の恩恵がないこと、購入価格への不満から、売主との売買交渉が難航した。	税制上の恩恵については、改善の余地なし。 売主との売買交渉については、公共工事の用地交渉経験者からの指導、支援により、交渉スキルを上げる必要がある。

今後の取り組み方針

平成25年度：施設の改修工事、観光案内所オープン

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
182,101	182,101	145,680	36,421	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	那覇港観光客利便性向上施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	観光都市としてのグレードアップを図るため、クルーズ船から旅客船ターミナルへ観光客を迎え受けるボーディングブリッジの整備を行う。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	18,000	―			
	(b)予算現額	25,500	―			
	(c)増減額(b-a)	7,500	―			
	(d)繰越額	―	25,500			
	A. 計(b+d)	25,500	25,500			
B. 執行済額		0	25,500			
うち交付金充当額		0	20,400			
次年度繰越額		25,500	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		・ボーディングブリッジの形式等を、ボーディングブリッジに取り付く船の規模等を含め検討した結果、工事費が増となった。 ・ターミナルビルへの取付部分の照査に時間を要したため、ボーディングブリッジの配置箇所、規模等の仕様作成が遅れ、繰越となった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
那覇港のボーディングブリッジ整備に係る仕様書作成	目　標	（　仕様書作成　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	仕様書作成、製作工事着手			
達成状況説明	活動目標どおり、仕様書作成を完了し、更に製作工事に着手した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
那覇港のボーディングブリッジ整備に係る仕様書作成	目　標	（　―　）	（仕様書作成）	（　　）	（　　）	（　―　）
	実　績		仕様書作成、製作工事着手			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　―　）
	実　績					
進捗状況説明	成果目標どおり、仕様書作成を完了し、更に製作工事に着手した。					

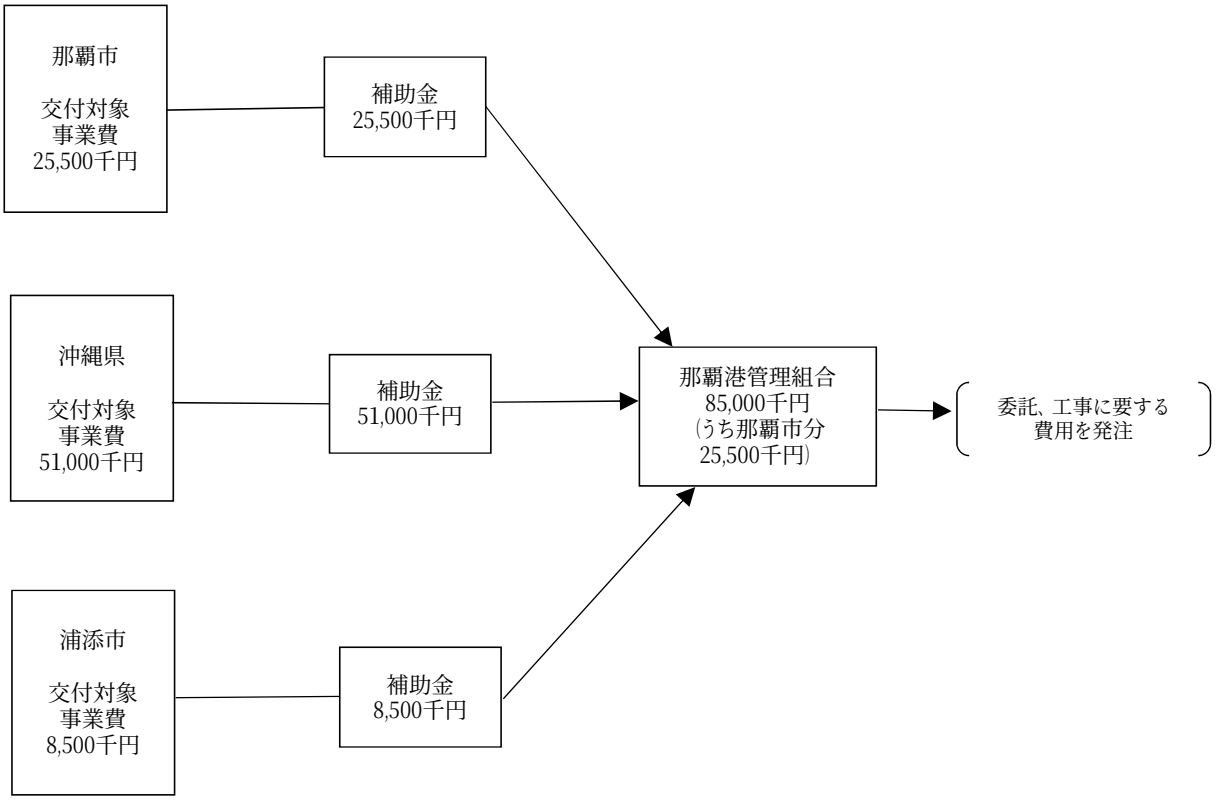
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・ターミナルビルへの取付部分の照査に時間を要したため、ボーディングブリッジの配置箇所、規模等の仕様作成が遅れ、繰越となった。 ・ボーディングブリッジの形式等を、ボーディングブリッジに取り付く船の規模等を含め検討した結果、工事費が増となった。	・次年度以降も工程の遅れが生じることがないよう、工程会議等を密に行う必要がある。 ・事業費については、事業費の変更が生じないか、作業状況、現場状況等の把握に努める必要がある。

今後の取り組み方針

・引き続き事業の整備を早期に行い、観光客が安全で快適に移動できるなどの利便性を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,500	25,500	20,400	5,100	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・負担割合について、「那覇港管理組合の設立に関する覚書」にて沖縄県6、那覇市3、浦添市1となっており、妥当であったと考えている。 ・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③	奥武山野球場人工芝整備等イベント対応機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	生涯学習部　市民スポーツ課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、奥武山野球場と屋内運動場及び関連する周辺施設整備等の機能強化を行う。
・野球場人工芝の整備
・防球ネット設置工事
・屋内運動場側広場暗渠排水施設整備
・フロアーシート等備品購入

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	101,275				
	(c)増減額(b-a)	101,275	0			
	(d)繰越額	－	20,368			
	A. 計(b+d)	101,275	20,368			
B. 執行済額		80,907	19,893			
うち交付金充当額		64,725	15,914			
次年度繰越額		20,368	0			
執行率（%）(B/A)		79.9%	97.7%			

予算の状況の説明

奥武山野球場の外野ファールゾーンに人工芝を整備する事業であるが、外野フィールドは天然芝のため日ごろの管理において目砂等を行っていたことから、最大で10cm程度盛り上がっていた。その段差をなくするために天然芝の張替が必要となる。しかし、冬場で天然芝の生育が悪く活着しないため、工期を延長し、プロ野球春季キャンプ終了後の4月以降に人工芝の整備と天然芝の張替を同時に行うことにしたため、繰越を行った。
当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

		達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
・野球場人工芝の整備 ・防球ネット設置工事 ・屋内運動場側広場暗渠排水施設整備 ・フロアーシート等備品購入	目　標	（　整備の実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	整備の完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

イベント対応機能強化事業のうち、防球ネット設置工事、屋内運動場側広場暗渠排水施設整備、フロアシート等備品購入については平成２４年度に終了した。
平成２４年度繰越事業において、奥武山野球場のファールゾーンに人工芝を整備することにより、イベント開催時の車両による資材搬入において芝生を傷めることがなくなり、イベント対応機能を強化することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
・野球場人工芝の整備 ・防球ネット設置工事 ・屋内運動場側広場暗渠排水施設整備 ・フロアーシート等備品購入	目　標	（　未整備　）	（整備の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		整備の完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

平成２４年度繰越事業において、奥武山野球場のファールゾーンに人工芝を整備することにより、イベント開催時の車両による資材搬入において芝生を傷めることがなくなり、イベント対応機能を強化することができた。

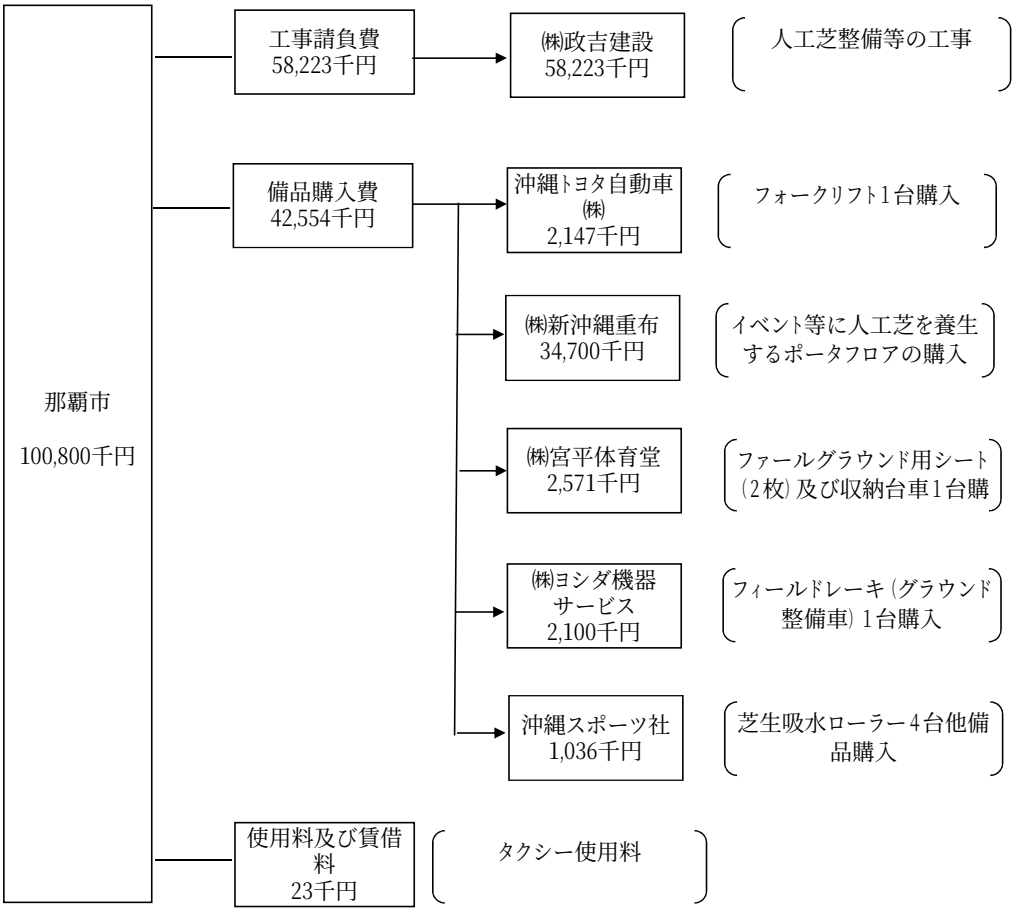
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	奥武山野球場の人工芝の整備に伴い、利用者の観点から閉場期間の短縮を図る必要がある。 プロ野球キャンプ期間、高校野球の開催など、工事を中断するという問題があった。	イベント開催と工期を十分に配慮する必要がある。

今後の取り組み方針

今後は、各部局で構成される那覇市営奥武山体育施設活性化検討委員会において情報収集し、奥武山野球場と屋内運動場への各種イベントの誘致について努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
100,800	100,800	80,639	20,161	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-④	市民体育館イベント誘致機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－イ「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	生涯学習部　市民スポーツ課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、市民体育館をプロバスケット等の公式戦及びイベント会場として使用できるよう音響設備及び空調設備を整備し、機能強化を図る。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0			
	(b)予算現額	242,466	0			
	(c)増減額(b-a)	242,466	0			
	(d)繰越額	－	231,209			
	A．計(b+d)	242,466	231,209			
B．執行済額		11,257	229,192			
うち交付金充当額		9,005	183,353			
次年度繰越額		231,209	0			
執行率（%）(B/A)		4.6%	99.1%			
予算の状況の説明		工事設計の調整等に時間を要し、工事着手が遅れたため工事費を繰越した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･市民体育館空調機整備 ･市民体育館音響設備整備 ･市民体育館備品購入 (空手競技用)	目　標	(　整備実施　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	整備済み			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：工事設計の調整等に時間を要し、工事着手が遅れたため工事費を繰越したが、平成２４年度繰越事業において市民体育館メインアリーナ空調機整備、音響設備整備を平成２５年１０月に完了した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
･市民体育館空調機整備 ･市民体育館音響設備整備 ･市民体育館備品購入 (空手競技用)	目　標	(　)	(　整備　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		整備済み			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：工事設計の調整等に時間を要し、工事着手が遅れたため工事費を繰越したが、平成２４年度繰越事業において市民体育館メインアリーナ空調機整備、音響設備整備を平成２５年１０月に完了した。

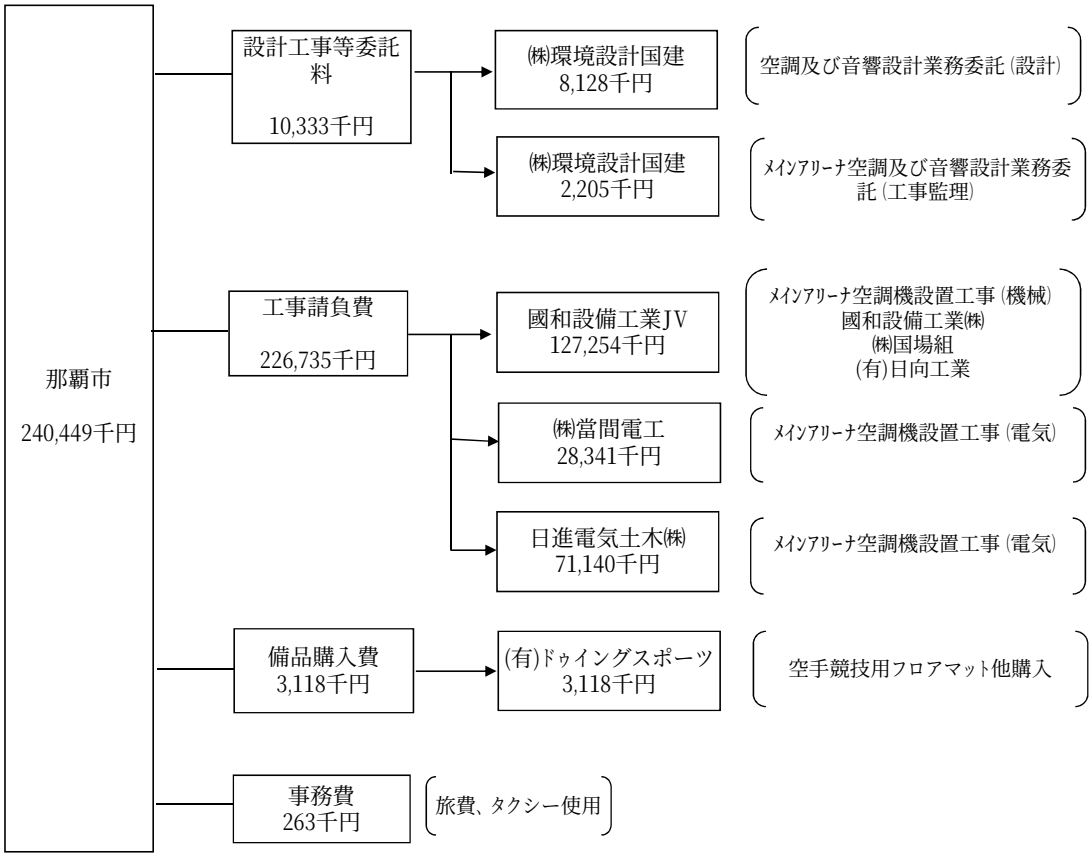
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	音響設備、空調設備の設置工事を実施するうえで利用者の観点から出来う限り工期を短縮する必要がある。	イベント開催と工期を十分に配慮する必要がある。

今後の取り組み方針

今後は、指定管理者とも協力して那覇市民体育館へのプロ競技、全国的な競技会の誘致に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
240,449	240,449	192,358	48,091	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑦	公設市場環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-⑻-イ 商店街･中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-⑴
事業内容	観光地としての魅力を高めるため、観光資源であるマチグヮーの良さを活かしつつ、中心地である公設市場の環境整備を行う。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	25,885				
	(b)予算現額	25,885				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	15,820			
	A. 計(b+d)	25,885	15,820			
B. 執行済額		10,065	13,259			
うち交付金充当額		8,052	10,607			
次年度繰越額		15,820	-			
執行率（%）(B/A)		38.9%	83.8%			

予算の状況説明：4工事のうち多目的トイレの整備については、地域事業者等から来街者のためのトイレ増設の要望があり、その調整に不測の日数を要したため繰越となった。
多目的トイレの工事請負費に2,423千円の不用額が生じたのは、設計額を抑えたことと、落札差額によるものである。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
公設市場の環境整備を行う ･LED照明の設置 ･市場壁面のペイント ･市場エスカレーターの改修 ･多目的トイレの整備	目　標	（公設市場の環境整備）	（　）	（　）	（　）
	実　績	公設市場の環境整備を行った			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：当初の計画では4工事とも平成24年度中に完成予定であったが、多目的トイレの整備は地域事業者等からの要望調整により実施設計が遅れ、H25.12.20に工事は完了し、H25.12.24から共用開始した。備品の追加購入の必要が生じたため、事業完了はH26.2.28となった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
公設市場の環境整備を行う ･LED照明の設置 ･市場壁面のペイント ･市場エスカレーターの改修 ･多目的トイレの整備	目　標	（　）	（公設市場の環境整備）	（　）	（　）	（　）
	実　績		公設市場の環境整備を行った			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：当初の計画では4工事とも平成24年度中に完成予定であったが、多目的トイレの整備は地域事業者等からの要望調整により実施設計が遅れ、H25.12.20に工事は完了し、H25.12.24から共用開始した。備品の追加購入の必要が生じたため、事業完了はH26.2.28となった。

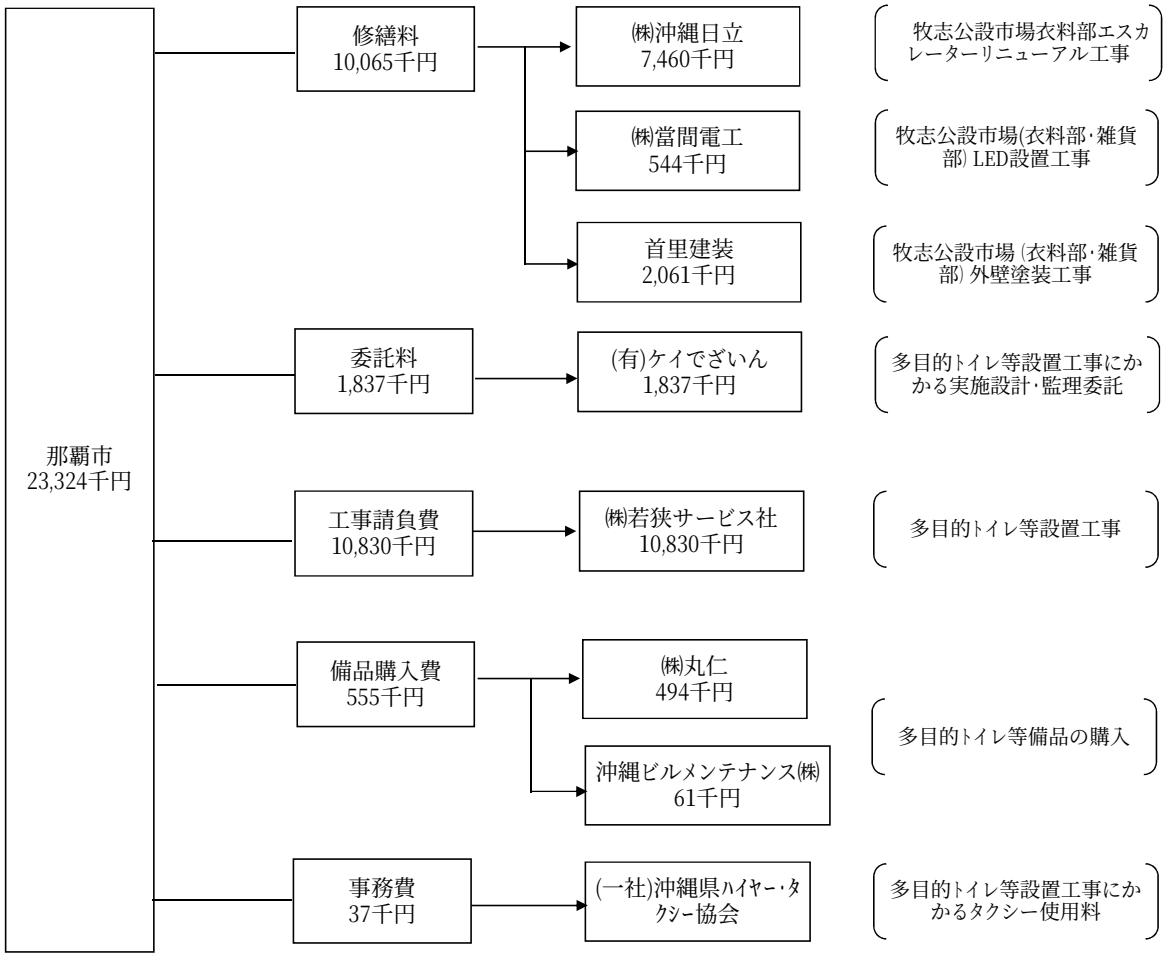
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当該事業の目的は、明るく楽しい雰囲気の創出や安心安全な市場の提供による回遊性の向上で、それによる相乗効果として集客増加や売り上げ増加が見込まれる事業としてスタートした。 事業実施後にアンケートによる効果測定の結果では、来街者の多くが「明るく楽しい雰囲気になった」、「利用しやすくなった」、「また来たいと思う」、「トイレや授乳室等が便利」と回答しており、一定の効果があったことが伺える結果であったが、公設市場事業者からは「観光客等の来店は以前と変わらない」「利便性もあまり変わらない」との回答が多く、相乗効果として期待されていた集客増加への効果はあまりなかったとの結果であった。	来街者がマチグヮーを楽しく、安心して散策できる環境は整いつつあるが、それを多くの人に知ってもらわなければ、当初の目的は達成は難しい。公設市場を含めたマチグヮーが「以前より、楽しく、安心して楽しめる魅力的な場所」となったことを、周知していく必要がある。

今後の取り組み方針

当該事業により整備した那覇市牧志公設市場で実施する様々なイベントや、マチグヮー案内所での告知等により、当該施設及び周辺地域の魅力を発信していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,324	23,324	18,659	4,665	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○多目的トイレ設置工事にかかる設計業務委託、工事業者については、指名競争入札であり、選定方法は妥当であった。 ○修繕費の3工事については随意契約であった。 エスカレーターリニューアル工事：2号随契（対応できる業者は県内で1社のみ）、LED設置工事：1号随契、外壁塗装工事：8号不落随契
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑧	「那覇の祭り」模型制作設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市としての魅力の発信力を高め、集客の目玉とするため、那覇市を代表する祭り(那覇ハーリー、那覇大綱挽)のジオラマ模型を製作する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	70,000	－			
	(b)予算現額	70,000	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	70,000			
	A. 計(b+d)	70,000	70,000			
B. 執行済額		0	69,399			
うち交付金充当額		0	55,519			
次年度繰越額		70,000	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	99.1%			
予算の状況の説明		事業実施に際し、有識者との調整に不測の日数を要したとともに、計画変更に伴い、模型の製作･設置について、不測の日数を要することとなったため、H24年度は繰越した。 H25年度は、概ね計画通り執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･那覇ハーリー、那覇大綱挽、琉球王朝祭のジオラマ模型を製作し、展示する。 ･新たな観光スポットとしてPRを実施する。	目　標	（ジオラマ模型制作実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実物大モニュメント制作設置完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：那覇大綱、那覇爬龍船の実物大模型の制作･設置をそれぞれ委託の上、事業を実施した。
①那覇大綱制作･設置→那覇大綱挽保存会へ事業委託。
②那覇爬龍船制作･設置→那覇爬龍船振興会へ事業委託

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
那覇ハーリー、那覇大綱挽、琉球王朝祭のジオラマ模型を製作、展示、PR	目　標	（　）	（ジオラマ模型制作実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		実物大モニュメント制作設置完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成25年3月に那覇大綱を希望ヶ丘公園に、那覇爬龍船をさいおんスクエア内に制作･設置した。
観光誘客に効果のあるスポットとして認知されるようになった。

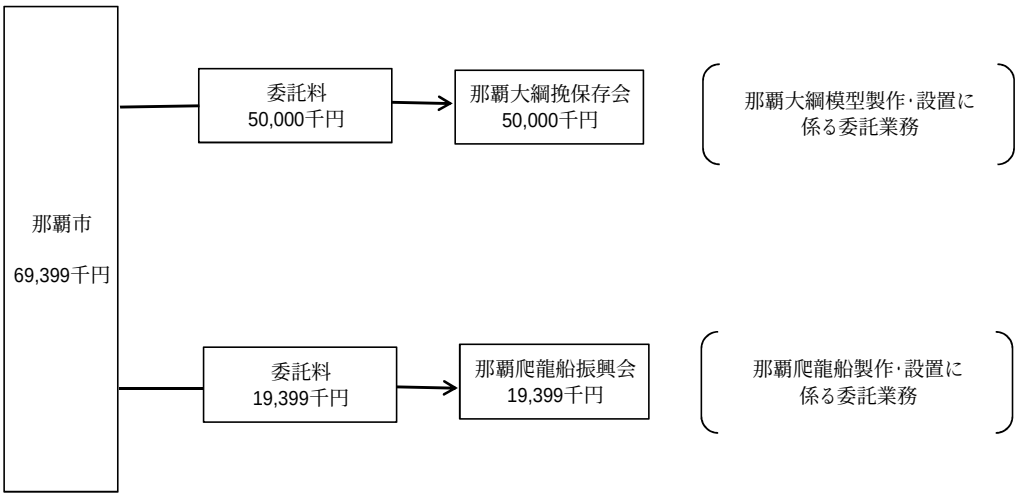
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	工程会議の中で、屋外への模型設置であるため、台風時の保護・管理をどう行うかが問題となった。 ≪那覇大綱≫ 　大綱の形状に合ったカバーを制作し、平時には土台部分に設置したスペースに収納、台風接近時には大綱にかぶせることにより保護することとした。 ≪那覇爬龍船≫ 　グラスファイバー造のため強度は問題ないが、船内に水が溜まらないよう、設置傾度の調整、タイル内部の構造の改良を行った。	○保護、管理手法の検討 実際の台風襲来時に予定に沿った台風対策を行い、保護・管理方法に問題がないか検証する予定である。

今後の取り組み方針

模型製作・設置箇所を観光スポットとして広報・PRし、観光誘客に繋がるような取り組みを考えていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
69,399	69,399	55,519	13,880	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○那覇大綱・那覇爬龍船の制作・設置という特殊な事業のため、長年まつりを実施し、保存・制作に関わってきた団体へと事業委託を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑪	那覇市旧跡･歴史的地名標示事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	市民文化部　博物館	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光地としてグレードアップを図るため、琉球王国時代から昭和戦前期にかけて存在した那覇市内の旧跡地等に標示板を設置する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	27,468				
	(c)増減額(b-a)	27,468	0			
	(d)繰越額	－	23,680			
	A. 計(b+d)	27,468	23,680			
B. 執行済額		3,628	23,415			
うち交付金充当額		2,902	18,732			
次年度繰越額		23,680	0			
執行率（%）(B/A)		13.2%	98.9%			
予算の状況の説明		標示候補地及び標示説明文の検討、標示板設置箇所に係る関係者との調整･場所の確定に不測の日数を要した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
旧跡･歴史的地名表示板設置:	目　標	(　設置　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	設置			
標示版企画展の開催 標示版広報	目　標	(　企画展開催　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	企画展開催			
達成状況説明	平成26年3月15日より「那覇の史跡･旧跡～みんなで歩こうNaha City～」と題し、戦争や再開発で失われてしまったかつての那覇の風景を示す史跡･旧跡を写真パネルで紹介するとともに、関連する拓本等の資料を紹介する企画展を開催した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
旧跡･歴史的地名表示板設置:：47基 標示版企画展の開催 標示版広報	目　標	(　)	(設置 企画展開催)	(　)	(　)	(　)
	実　績		設置 企画展開催			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					
進捗状況説明	旧跡･歴史的地名標示板設置。平成26年3月15日より「那覇の史跡･旧跡～みんなで歩こうNaha City～」と題し、企画展を開催した。					

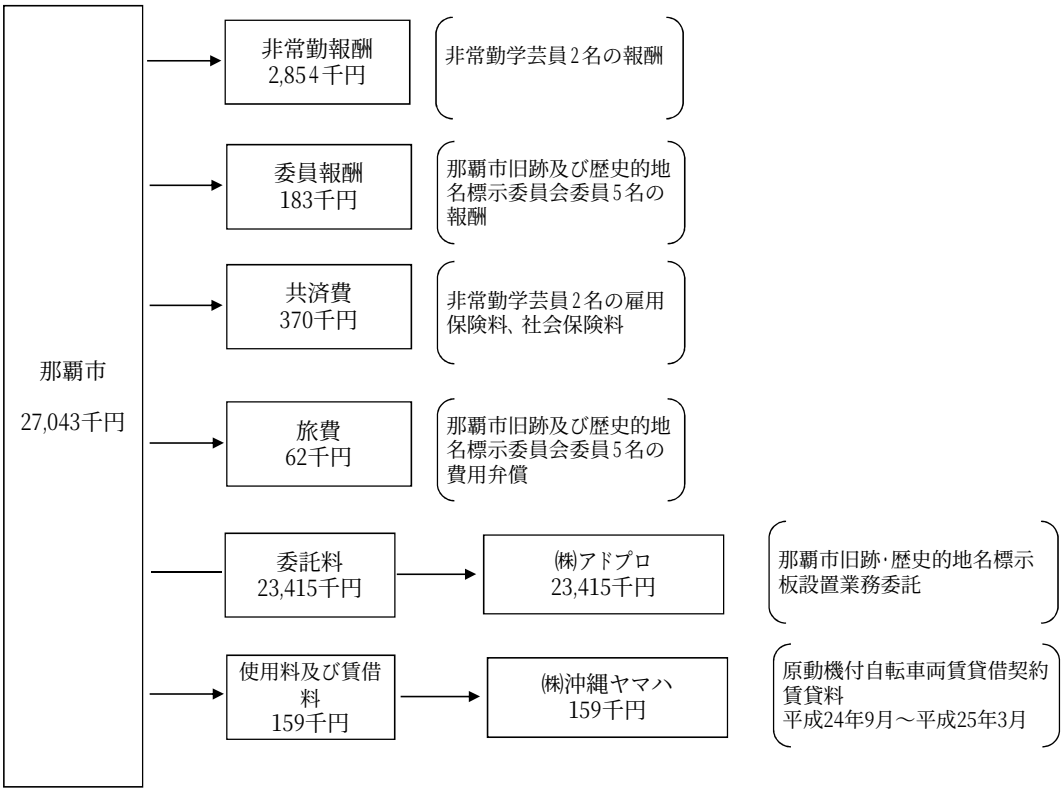
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	設置した旧跡・歴史的地名標示板の活用。	設置した標示板もとに歴史巡見ルート設定等、場所場所にあった散策プラン等を提供し地域学習・地域振興に加え、観光ガイドのポイントとして関係機関と連携し活用していくよう検討する。

今後の取り組み方針

琉球王国時代から昭和戦前期にかけて存在した王府役所跡、戦跡等の説明標示板を歴史巡見ルート設定等、場所場所にあった散策プラン等を提供し地域学習・地域振興に加え、観光ガイドのポイントとし活用する。歴史博物館の企画展と連動した巡見等を実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,043	27,043	21,634	5,409	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、一般競争入札により業者選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑬	バス停上屋整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(7)－ウ
					人に優しい交通手段の確保
担当部課名	建設管理部　道路建設課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	「人中心のまちづくりをめざして」を基本理念におき、観光立県の県都那覇としてのグレードアップを図るため、観光客等が沖縄の強烈な日差しや風雨を避け、快適に公共交通機関を利用してもらえるよう、バス停上屋を整備する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	57,000	－			
	(b)予算現額	57,000	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	53,608			
	A. 計(b+d)	57,000	53,608			
B. 執行済額		3,392	50,109			
うち交付金充当額		2,713	40,087			
次年度繰越額		53,608	0			
執行率（%）(B/A)		6.0%	93.5%			
予算の状況の説明		・本事業の基本計画策定等に不測の時間を要したことから、その大半を次年度に繰越すこととなった。 ・繰越額については、予定通り、実施設計業務委託や上屋設置工事にて執行する。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
バス停上屋の設置:5基	目　標	(　5基　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	5基			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：優先順位の高いバス停5基(上泉、那覇西高校前、首里城前、那覇国際高校前(上・下))を設置し、目標達成となった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)
バス停上屋の設置:5基	目　標	(　0基　)	(　5基　)	(　)	(　)	(　25基　)
	実　績		5基			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：優先順位の高いバス停5基(上泉、那覇西高校前、首里城前、那覇国際高校前(上・下))を設置し、目標達成となった。

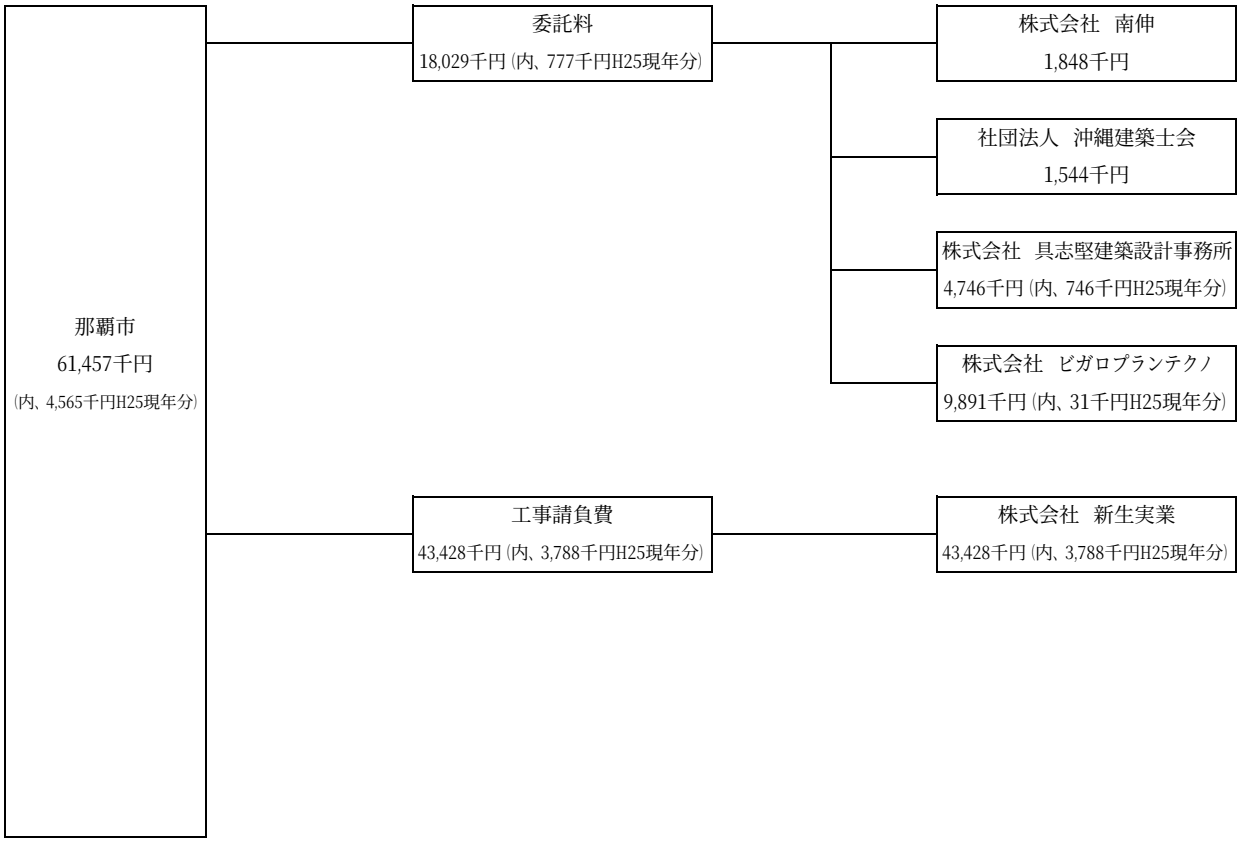
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・設置予定箇所背後地の権利者から、上屋設置に対する理解が得られず、設置を見送るケースがでてきた。	・実施設計の段階から当該権利者との調整を進め、事業（設置）に対する理解を得る必要がある。

今後の取り組み方針

・実施設計において、建築審査会へ諮問していくこととなるが、その審査会へ諮問する段階で当該権利者から理解を得ることとする。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
56,892	53,500	42,800	10,700	3,392



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託料の執行にあたっては、競争入札方式により業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○工事請負費の執行にあたっては、競争入札方式により業者選定を行おうとしたが、「入札者がおらず」地方自治法施行令第167条の2第1項第8号を適用しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑭	交流オアシス整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ
					観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設管理部　道路建設課	事業実施(予定)年度	平成２４～２７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光立県の県都那覇としてのグレードアップを図るため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース(交流スペース)の整備を行い、観光客と市民との交流･憩いの場を創出する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	6,000	－			
	(b)予算現額	6,000	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	4,898			
	A. 計(b+d)	6,000	4,898			
B. 執行済額		1,102	4,773			
うち交付金充当額		881	3,819			
次年度繰越額		4,898	0			
執行率（%）(B/A)		18.4%	97.4%			
予算の状況の説明		･本事業の基本計画策定に時間を要したことから、その大半を次年度に繰越すこととなった。 ･繰越額については、予定通り、基本計画を策定し、全額執行する。 ･不要額が125千円発生しているが、当初計画を全実施したうえでの不要額である。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
交流オアシス基本計画策定	目　標	(　策定　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	策定の実施			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				
達成状況説明	市内全域において良い整備候補地を抽出することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
交流オアシス基本計画策定	目　標	(　0箇所　)	(　策定　)	(　)	(　)	(　24箇所　)
	実　績		策定の実施			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					
進捗状況説明	市内全域において良い整備候補地を抽出することができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・整備候補地の権利者との調整（事業への理解、土地購入の内諾等）に時間を要する。	・整備候補地の権利者へ粘り強く説明を行う必要がある。

今後の取り組み方針

・整備候補地の権利者へ粘り強く説明を行い、本事業の必要性等を理解していただき、土地購入に対する内諾を早期に得ていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,875	5,875	4,700	1,175	0

- 那覇市 5,875千円
  - 役務費 1,213千円
    - 有限会社　沖縄不動産研究所 398千円
    - 株式会社　琉球総合鑑定 398千円
    - 株式会社　鑑定ソリュート沖縄 147千円
    - 有限会社　田村総合鑑定事務所 152千円
    - 有限会社　アルファ不動産鑑定 118千円
  - 委託料 4,662千円
    - 株式会社　沖縄計画機構 4,662千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託料の執行にあたっては、競争入札方式により業者を選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑰	歴史散歩道整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ
					観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設管理部　道路建設課	事業実施(予定)年度	平成２４～２７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光立県の県都那覇としての景観･美観の創出･継承のため、市内で歴史を伝える御嶽、樋川、井戸、馬場跡をサイン等により、観光客や市民がまちの良さを再発見し、楽しく歩ける散歩道のネットワークづくり図り、路面改良、道路緑化･美化を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	158,600	－			
	(b)予算現額	158,600	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	141,737			
	A. 計(b+d)	158,600	141,737			
B. 執行済額		16,863	124,843			
うち交付金充当額		13,490	99,874			
次年度繰越額		141,737	0			
執行率（%）(B/A)		10.6%	88.1%			

予算の状況の説明

･本事業の基本計画策定等に不測の時間を要したことから、その大半を次年度に繰越すこととなった。
･繰越額については、予定通り、実施設計業務委託や散歩道設置工事にて執行する。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
歴史散歩道設置:4地区	目　標	(　4地区　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	4地区			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明

予定どおり4地区(壺屋、牧志、繁多川、首里)の整備を進め、目標は達成となった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
歴史散歩道設置:4地区	目　標	(　0地区　)	(　4地区　)	(　)	(　)	(　10地区　)
	実　績		4地区			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明

予定どおり4地区(壺屋、牧志、繁多川、首里)の整備を進め、目標は達成となった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・整備路線の地域の方々（自治会等）との意見交換等、関係機関との調整に不測の時間を要した。 ・昔ながらの歴史ある路線だけに、本事業における文化財保護の仕組みづくりも必要であった。	・自治会等、地域の方々との意見交換は必要であり、意見交換会の進め方等、意見を聞く内容などを明確にすることも必要である。 ・文化財保護に関しては、重要な事項であり、本事業における保護の仕組みづくりを関係者とつめる必要がある。

今後の取り組み方針

・自治会等、関係者との調整を蜜に行い、本事業の進捗管理をしっかりと行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
158,569	141,706	113,364	28,342	16,863

- 那覇市 191,712千円（内、33,143千円H25現年分）
  - 委託料 31,435千円（内、5,555千円H25現年分）
    - 株式会社　真南風 5,880千円
    - 合名会社　協立測量社 3,402千円
    - 株式会社　真南風 7,581千円
    - 株式会社　沖成コンサルタント 4,964千円（内、1,079千円H25現年分）
    - 有限会社　アーバンエンジニアリング 4,536千円（内、966千円H25現年分）
    - 有限会社　大信土木設計 5,072千円（内、3,510千円H25現年分）
  - 工事請負費 160,277千円（内、27,588千円H25現年分）
    - 株式会社　奥浜組 46,305千円（内、430千円H25現年分）
    - 株式会社　ニシダ工業 66,486千円
    - 琉球建設産業　株式会社 47,486千円（内、27,158千円H25現年分）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託料及び工事請負費の執行にあたっては、競争入札方式により業者を選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑲	亜熱帯庭園都市の道路美化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設管理部　道路管理課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市としての景観･美観の創出･継承のため、幹線市道や観光地周辺市道の街路樹の緑化や美化を推進する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	126,750	-			
	(b)予算現額	126,550	-			
	(c)増減額(b-a)	0	-			
	(d)繰越額	―	69,587			
	A. 計(b+d)	126,550	69,587			
B. 執行済額		56,963	69,568			
うち交付金充当額		45,570	55,654			
次年度繰越額		69,587	0			
執行率（%）(B/A)		45.0%	100.0%			
予算の状況の説明		観光に資する路線において、道路街路樹の補植が必要な箇所の樹種選定及び地域への周知に時間を要したため残予算については繰越により執行する。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
幹線道路及び観光地周辺市道の除草(街路樹の剪定)	目　標	(　剪定　1350本　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績	剪定　1361本			
幹線道路及び観光地周辺市道の除草(街路樹の植樹)	目　標	(　植樹　480本　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績	植樹　538本			

達成状況説明：交付金対象路線の内、24年度は13路線の剪定を完了、目標本数を若干上回ることが出来た。街路樹の植樹(補植)については路線によっては住民説明会等周知に時間を要したものの、目標本数を上回ることが出来た。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
幹線道路及び観光地周辺市道の除草(街路樹の剪定)	目　標	(　0本　)	(剪定1350本)	(　　)	(　　)	(剪定5400本)
	実　績		剪定　1361本			
幹線道路及び観光地周辺市道の除草(街路樹の植樹)	目　標	(　0本　)	(植樹　480本)	(　　)	(　　)	(植樹600本)
	実　績		植樹　538本			

進捗状況説明：幹線道路及び観光地周辺市道において、街路樹の剪定や除草あるいは街路樹の植樹(補植)を計画的路線毎に行うことにより観光都市としての景観、美観形成が施されて、主要路線のイメージアップを図れている。

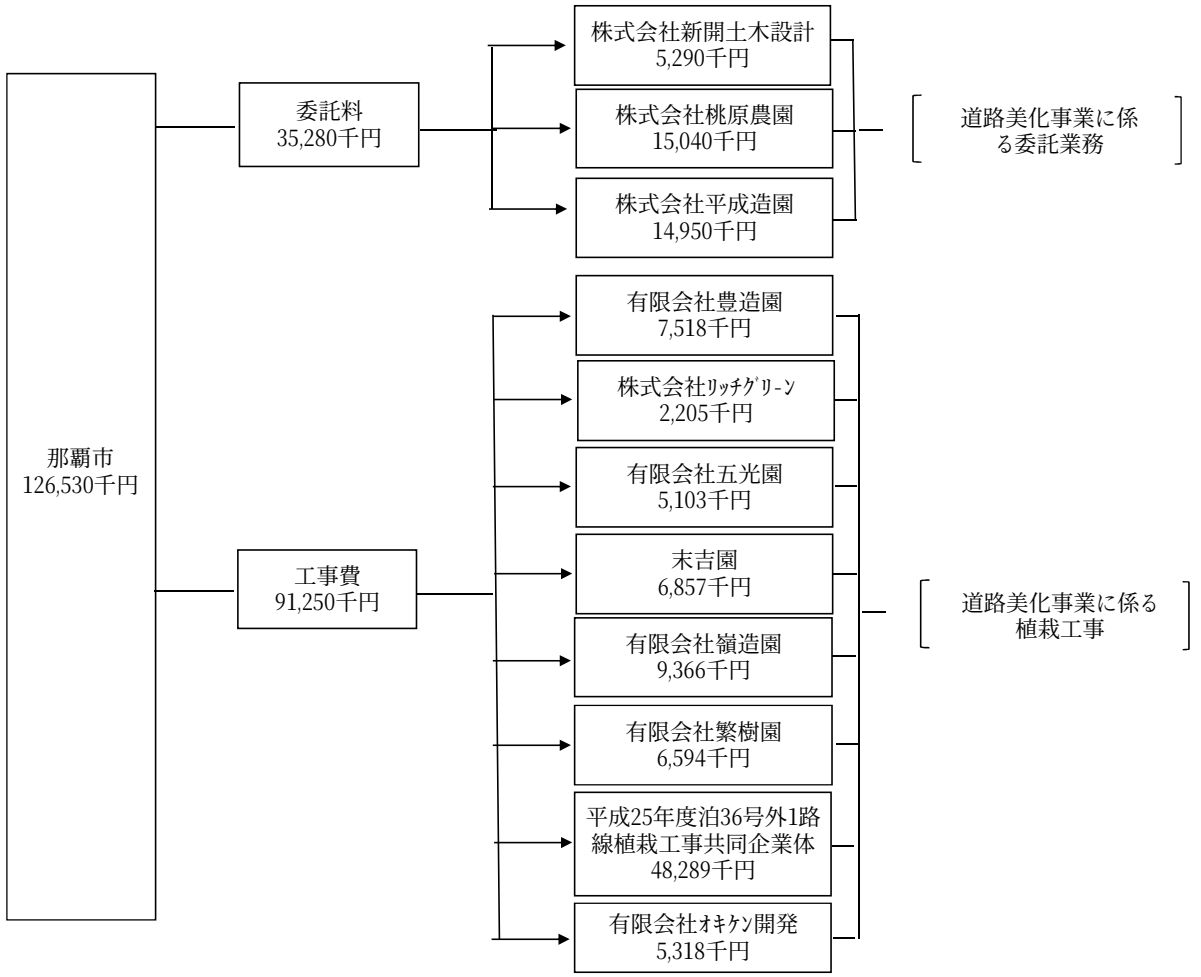
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・現場においてマニアルに沿った剪定がなされているか。また、樹形を整えるための時間配分と地域住民への周知等がある。 ・路線ごとの異なる樹種が苗畑検収時に調達することができるのか。	・関係者に対して適宜に剪定マニアルについての勉強会（大小問わず）を開き実施へ繋げる。現場では施工計画書（ﾏﾆｱﾙ含む）のとおり執行する。地域住民への周知はイメージ図等を利用する。 ・路線ごとの異なる樹種が苗畑検収時に調達することができるように沖縄県苗組合等関係機関との情報の共有に勤めることも必要である。

今後の取り組み方針

街路樹の剪定については路線毎に適切な時期に剪定を執行できるように計画的に進めたい。また、剪定する側の剪定アニアルの熟知により樹形を整えるための時間の短縮や、技術的な向上が図れるため、継続して剪定マニアルの周知については取り組んで生きたい。次に台風による影響を最小限に抑えるための剪定への取り組み等、細かな配慮も忘れてはならない。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
126,530	126,530	101,224	25,306	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-21	亜熱帯庭園都市の公園美化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設管理部　公園管理課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市としての景観･美観の創出･継承のため、観光地周辺公園の緑化と美化、遊具･トイレ等の整備を行う。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	43,856				
	(b)予算現額	43,856				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－	27,817			
	A. 計(b+d)	43,856	27,817			
B. 執行済額		16,039	27,817			
うち交付金充当額		12,831	22,253			
次年度繰越額		27,817	0			
執行率（%）(B/A)		36.6%	100.0%			
予算の状況の説明		工事設計の調整等に時間を要したため工事着手が遅れたため工事費を繰越した				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･観光地周辺公園のトイレ整備：2棟 ･桜の植樹：70本 ･福州園の樹木剪定：225本	目　標	2棟 70本 225本			
	実　績	1棟 70本 225本			
	目　標				
	実　績				

達成状況説明：サクラの植樹は年度内完了、福州園の樹木剪定とトイレ整備は繰越で完了した
福州園は中国式庭園であるため、トイレの意匠は庭園との調和がとれたものにしなければならず、当初予算では1棟分の整備にとどまることになった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
･観光地周辺公園のトイレ整備：2棟 ･桜の植樹：70本 ･福州園の樹木剪定：225本	目　標		2棟 70本 225本			
	実　績		1棟 70本 225本			
【参考指標】	目　標					
	実　績					

進捗状況説明：福州園内のトイレ改築と樹木剪定で利便性と美観がそれぞれ向上することで入場者数の増加が期待できる

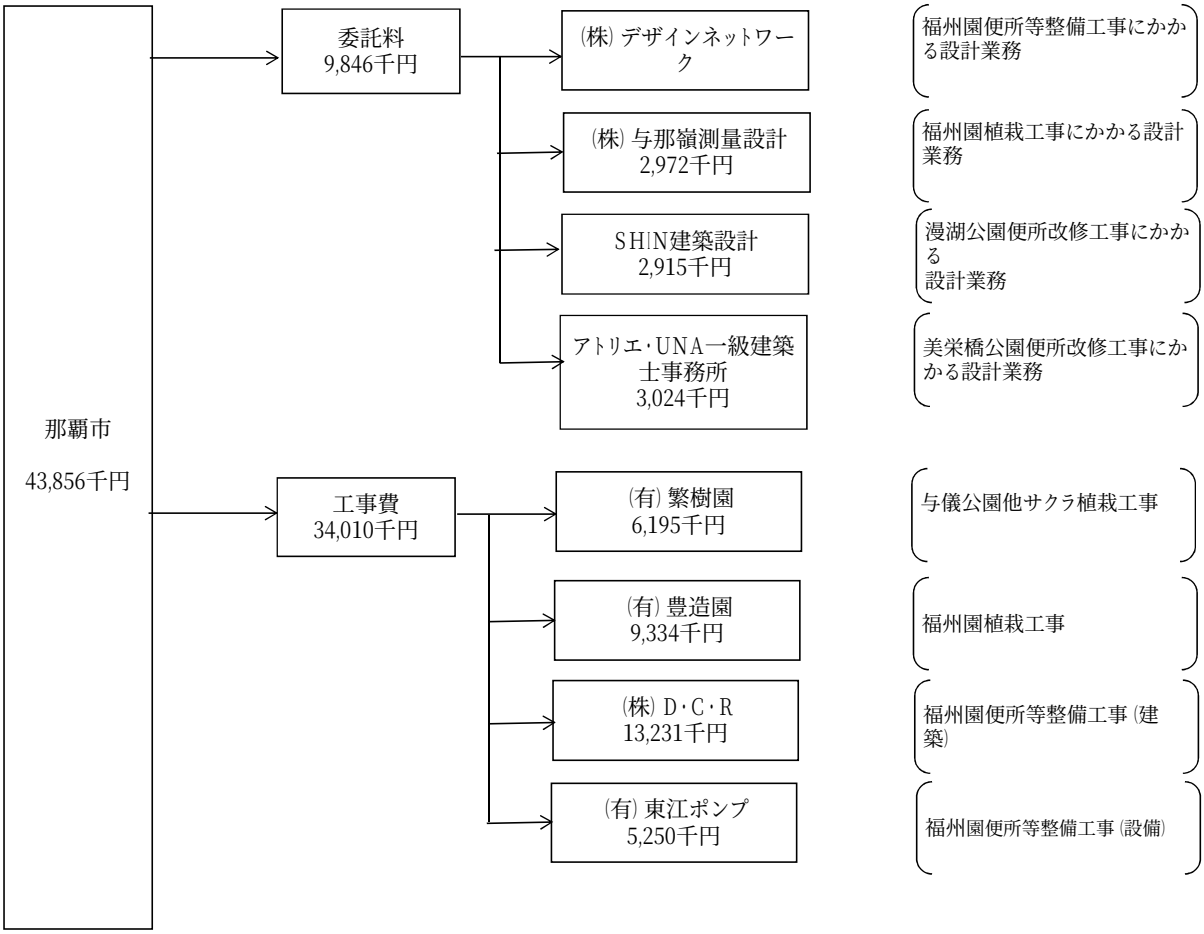
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・設計施工を同一年度内に実施するのは適正工期を確保できない恐れがある	・設計業務を先行して行い工事施工を次年度に行うことで適正工期の確保を行う

今後の取り組み方針

・観光地周辺公園の美化と緑化、トイレ等の整備が効率よく実施できるよう計画の見直しを行いたい

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
43,856	43,856	35,085	8,771	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各業種ごとに指名競争入札による契約を実施しているので妥当と判断 ○事業目的に即し、事業内容に見合った予算規模と判断
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-22	中心市街地における公園再生事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設管理部　花とみどり課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市しての景観･美観の創出･継承のため、観光地である中心市街地周辺の公園の課題を整理して、基本計画やパースを作成する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	8,000	-			
	(b)予算現額	7,158	-			
	(c)増減額(b-a)	▲ 842	-			
	(d)繰越額	－	7,158			
	A. 計(b+d)	7,158	7,158			
B. 執行済額		0	7,158			
うち交付金充当額		0	5,726			
次年度繰越額		7,158	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		公園再生計画の策定にあたり、課題抽出のため周辺の関係団体等にヒアリングを実施していたが、より幅広い意見の抽出が必要との指摘があり、ヒアリング調査の対象を広げたことにより調査に不測の日数を要したため。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
中心市街地における公園再生計画の策定	目　標	（公園再生計画の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	公園再生計画の策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	中心市街地における計7公園に対し、公園再生計画を策定することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
中心市街地における公園再生計画の策定	目　標	（　-　）	（公園再生計画の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		公園再生計画の策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	中心市街地における計7公園に対し、公園再生計画を策定することができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	中心市街地における計7公園に対し、公園再生計画を策定することができたが、今後は再生計画に基づく具体的な行動に移す必要がある。	公園再生計画に基づき具体的な行動を起こすためには、都市計画の変更等を行う必要がある。

今後の取り組み方針

優先順位等を勘案しながら、都市計画等の変更手続きを進めていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,158	7,158	5,726	1,432	0

那覇市 7,158千円 → 委託料 7,158千円 → 委託料 （株）南土木設計 7,158千円 ［中心市街地における公園再生計画の策定に係る委託料］

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争により選定しており、妥当であったと考える。 ○費目，使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について、額の確定時において支出に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-23	亜熱帯庭園都市の公園施設強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設管理部　公園管理課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市としての景観･美観の創出･継承のため、波の上宮やビーチがある旭ケ丘公園の施設強化を図り、琉球石灰岩のり面の保護整備及び回遊園路を整備する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	10,000				
	(b)予算現額	10,000				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	5,922			
	A. 計(b+d)	10,000	5,922			
B. 執行済額		4,078	5,760			
うち交付金充当額		3,262	4,608			
次年度繰越額		5,922				
執行率（%）(B/A)		40.8%	97.3%			
予算の状況の説明		工事設計の調整等に時間を要し、工事着手が遅れたため繰越した				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･旭ヶ丘公園のり面保護施設整備: 316㎡ ･旭ヶ丘公園回遊園路の整備:44㎡	目　標	(316㎡ 44㎡)	(　)	(　)	(　)
	実　績	316㎡ 44㎡			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				
達成状況説明	旭ヶ丘公園の法面(崖地)の土質が当初の調査設計と異なったため工法変更が必要となり、工法検討の設計に時間を要することから、仮設のり面保護を行い工事を完了した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
･旭ヶ丘公園のり面保護施設整備: 316㎡ ･旭ヶ丘公園回遊園路の整備:44㎡	目　標	(316㎡ 44㎡)	(316㎡ 44㎡)	(　)	(　)	(　)
	実　績		316㎡ 44㎡			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					
進捗状況説明	旭ヶ丘公園の法面(崖地)の工法変更に伴い、今年度は仮設のり面保護までを完了させ、次期工事において、法面保護工事を完成させる。					

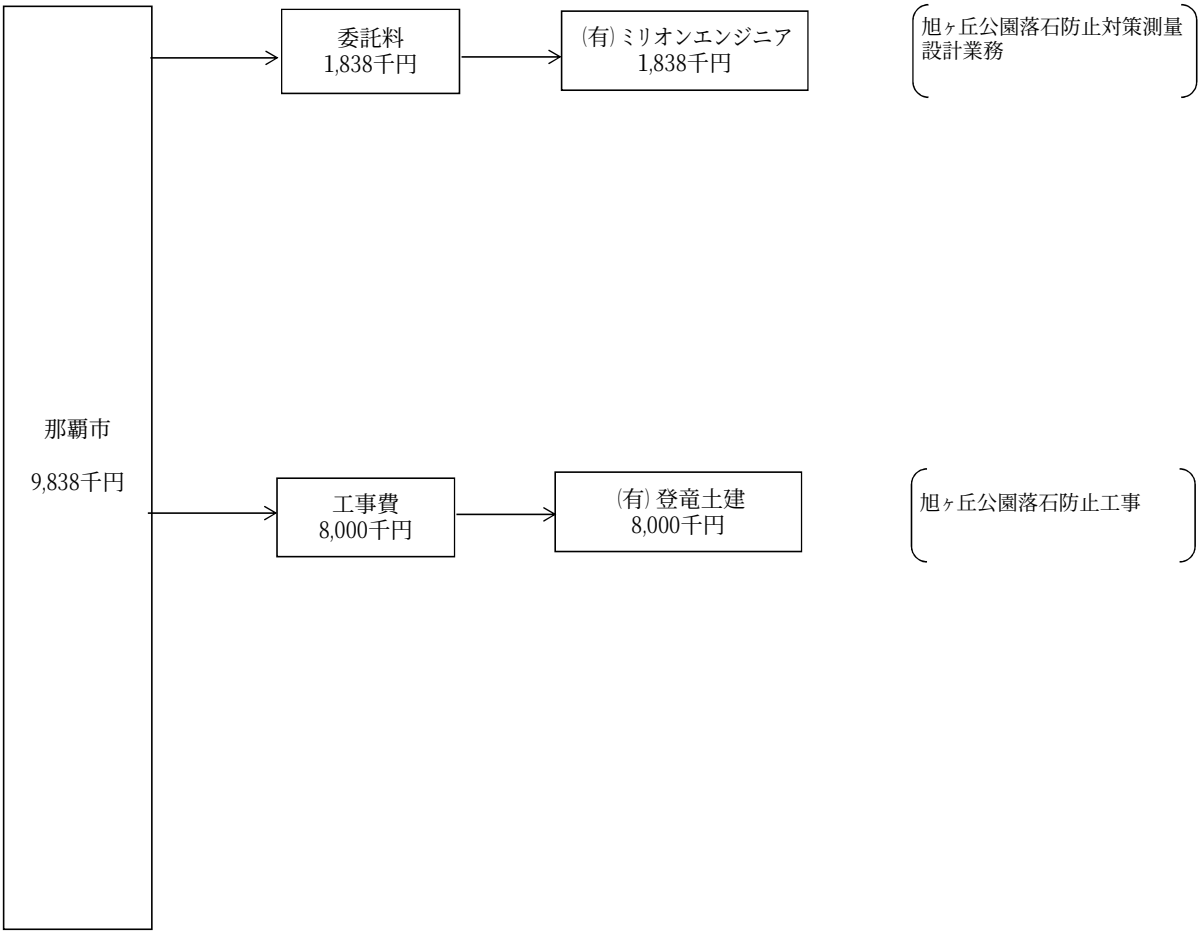
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・歴史の長い旭ヶ丘公園にて地山の土質を完全に把握することが難しく、崩れやすい土質も存在しており、法面の保護を必要とする。	・実施設計において詳細な地質調査が必要である。

今後の取り組み方針

・局所的ではなく、法面全体を保護する設計を行い、工事発注の準備を整える。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,838	9,838	7,870	1,968	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各業種ごとに指名競争入札による契約を実施しているので妥当と判断
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-24	市花木等普及推進事業(公共空間への植樹)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	建設管理部　花とみどり課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市としての景観･美観の創出･継承のため、市花木ホウオウボク、市木フクギ、市花ブーゲンビレアにより、公共空間の緑化に取り組む。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	20,000	-			
	(b)予算現額	19,889	-			
	(c)増減額(b-a)	▲ 111	-			
	(d)繰越額	―	18,104			
	A. 計(b+d)	19,889	18,104			
B. 執行済額		1,785	18,104			
うち交付金充当額		1,428	14,483			
次年度繰越額		18,104	0			
執行率（%）(B/A)		9.0%	100.0%			
予算の状況の説明		実施設計において、有識者より、ブーゲンビレアの特性を活かした植栽方法の検討を加える必要があるとの意見があり、その対応に不測の日数を要し、実施設計の完了が遅れた。そのため、工事の年度内の着工が困難となったため。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園･道路沿線等の公共空間への植栽:120㎡	目　標	(　120㎡　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	76.1㎡			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				
達成状況説明	植栽場所の管理者との調整により、植栽面積の制限があったため、目標値に達することができなかった。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園･道路沿線等の公共空間への植栽:120㎡	目　標	(　-　)	(　120㎡　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		76.1㎡			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					
進捗状況説明	植栽場所の管理者との調整により、植栽面積の制限があったため、目標値に達することができなかった。					

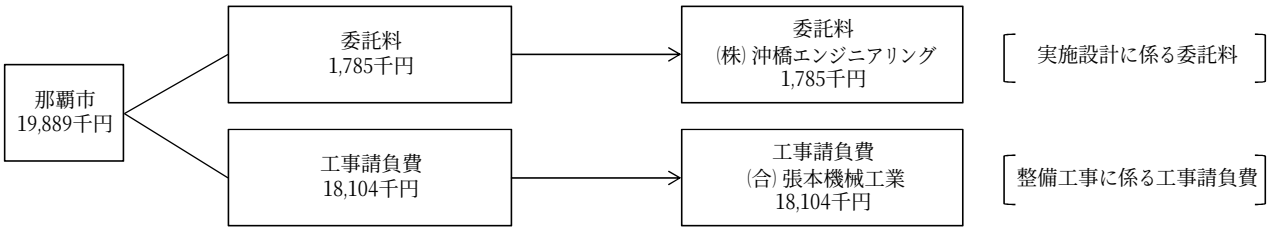
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	植栽場所によっては、管理者との調整等が生じるなど時間を要する場合がある。	交付決定後速やかに植栽工事に着手できるよう、植栽場所の占用等に関しては、交付決定前から管理者と調整を密に行う。

今後の取り組み方針

市花木の普及に資するよう、今後も計画的な事業執行に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,889	19,889	15,911	3,978	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者および工事業者は、指名競争により選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において、支出等に関する書類により、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-28	桜の名所づくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	建設管理部　花とみどり課	事業実施(予定)年度	平成２４～２７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市としての景観･美観の創出･継承のため、首里、真和志、小禄地域に桜の名所となる公園などの候補地を選定する、桜の育成環境調査を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,000	-			
	(b)予算現額	4,725	-			
	(c)増減額(b-a)	▲ 275	-			
	(d)繰越額	―	4,725			
	A. 計(b+d)	4,725	4,725			
B. 執行済額		0	4,725			
うち交付金充当額		0	3,780			
次年度繰越額		4,725	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		計画策定において、有識者より、沖縄の特性に合った桜の植栽条件はもとより、その後の管理方法においても十分な検討が必要であるとの意見があり、その対応に不測の日数を要したため。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
桜の育成環境の調査	目　標	（桜の育成環境の調査）	（　）	（　）	（　）
	実　績	桜の育成環境の調査			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成24年度(繰越を含む)において、桜の育成環境を調査するための委託業務を完了したことにより、次年度以降、桜の名所づくりのための整備工事を行うことが可能となった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
桜の名所づくり調査報告書の策定	目　標	（-）	（調査報告書の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		調査報告書の策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：桜の育成環境の調査を報告書としてまとめることができたため、それに基づいて、次年度以降、桜の名所づくりのための整備工事を行うことが可能となった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	桜を育成するためには、その生育環境が大きく関わってくるため、現状では植栽場所が限られてくることが判明した。	桜の植栽場所として限られている現状があるが、対策を行うことで生育環境の改善を図ることにより、桜の名所として整備することが可能である。

今後の取り組み方針

生育環境の改善を図ることにより、桜の名所として整備していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,725	4,725	3,780	945	0

那覇市 4,725千円 → 委託料 4,725千円 → 委託料 （株）トロピカル・グリーン設計 4,725千円 〔桜の生育環境の調査のための委託料〕

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は一般競争にて選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途に関しては、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-29	デイゴ･リュウキュウマツ害虫対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	建設管理部　公園管理課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市としての景観･美観の創出･継承のため、県花であるデイゴや琉球松を守るための害虫駆除及び予防対策を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,675				
	(b)予算現額	5,675				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	3,247			
	A. 計(b+d)	5,675	3,247			
B. 執行済額		2,428	3,245			
うち交付金充当額		1,942	2,596			
次年度繰越額		3,247				
執行率（%）(B/A)		42.8%	99.9%			
予算の状況の説明		デイゴヒメコバチ防除の薬剤樹幹注入時期が5月から8月にかけて行うために繰越した				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･薬剤の樹幹注入：　321本	目　標	(　321本　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	34本			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：デイゴおよびリュウキュウマツの生育状況を調査を行い薬剤注入樹木数を把握後、幹回りの大きいデイゴ34本に樹幹注入を行った。幹周りの大きなデイゴには多くの薬剤を注入する必要があるため目標以下の本数に留まった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
･薬剤の樹幹注入：　321本	目　標	(　)	(　321本　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		34本			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：デイゴおよびリュウキュウマツの生育状況を調査を行い薬剤注入樹木数を把握後、幹回りの大きいデイゴ34本に樹幹注入を行った。幹周りの大きなデイゴには多くの薬剤を注入する必要があるため目標以下の本数に留まった。

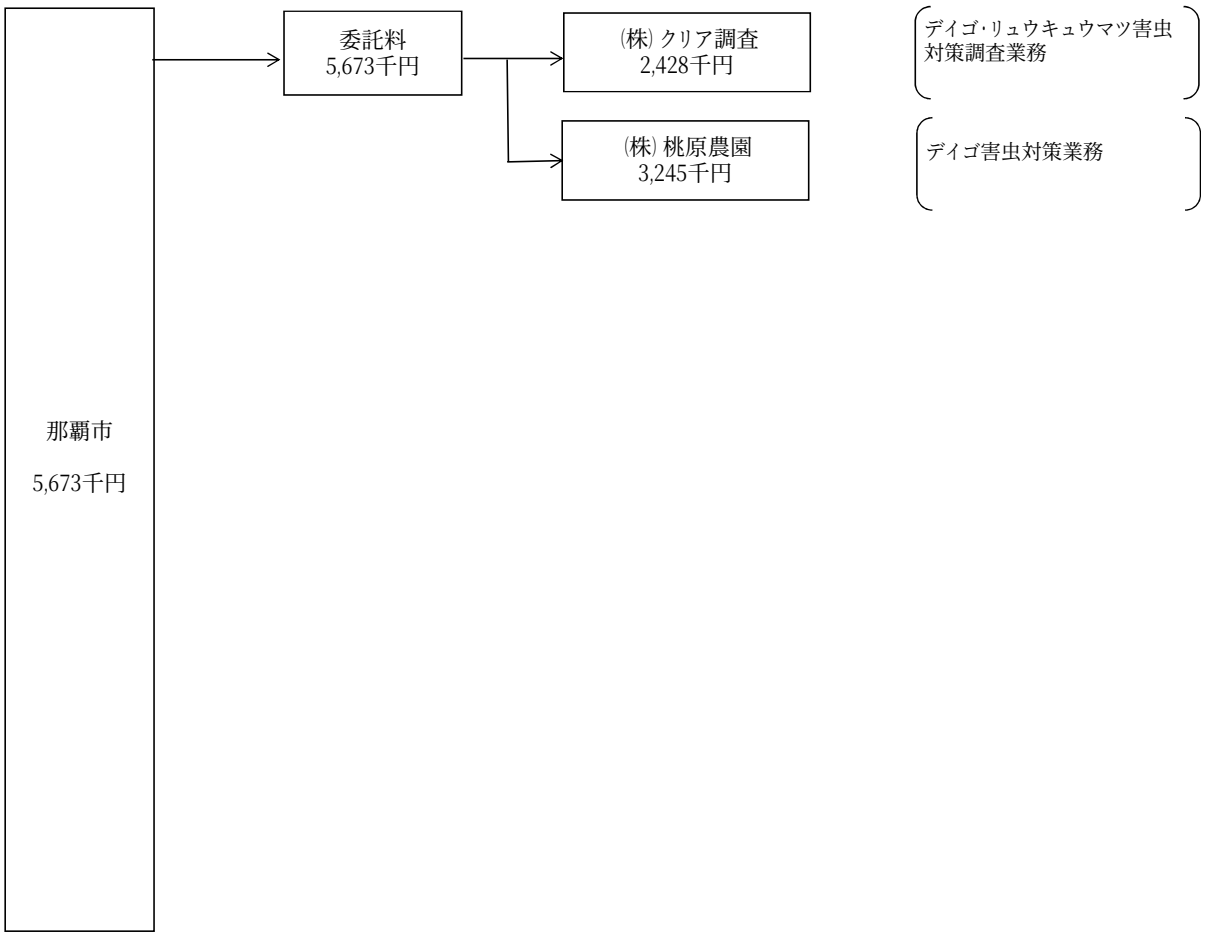
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	61公園を対象に、デイゴおよびリュウキュウマツの生育状況を調査を行い、薬剤注入対象樹木数デイゴ321本、リュウキュウマツ627本を把握した。調査結果をもとに胸高幹周による樹木への薬剤注入本数が決まるため、樹木各々の薬剤注入本数をまとめた結果、胸高幹周の大きく薬剤注入の多いデイゴ34本に樹幹注入を行うにとどまり、目標達成することができなかった。	薬剤注入対象木は把握できているので、各年度の早い時期に樹木の生育状況を踏査し、生育状況による薬剤注入本数に変化がないかを確認したうえで早期の業務発注に努める。

今後の取り組み方針

・早期に業務を発注し、目標達成に向け県花デイゴ、県木リュウキュウマツの害虫被害防止に努めていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,673	5,673	4,538	1,135	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各業種ごとに指名競争入札による契約を実施しているので妥当と判断
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-30	那覇爬龍船競漕振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化の発信･交流 Ⅲ－1－(1)

事業内容

那覇爬龍船振興会へ那覇ハーリー建設に係る経費を補助することで既存の那覇ハーリー会館を、爬龍船の常設展示を行える観光誘客に効果のある施設へと建替える。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	183,267	－			
	(b)予算現額	183,267	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	180,000			
	A．計(b+d)	183,267	180,000			
B．執行済額		3,267	92,084			
うち交付金充当額		2,613	73,667			
次年度繰越額		180,000	0			
執行率（%）(B/A)		1.8%	51.2%			

予算の状況の説明

従前の施設規模を想定した事業実施を計画していたが、関係団体より新たな施設規模、機能等の調整に不測の日数を要したため、H24年度は例年の爬龍船競漕実施に係る補助金のみの執行となり、那覇ハーリー会館建設に係る予算については繰越処理を行った。
H25年度は、H26の消費税率変更を控えての駆け込み建設需要等による人手不足などもあり、予定していた工事完了が困難となったため、出来高部分についての補助交付を行った。

活動目標(指標)及び達成状況

		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･那覇爬龍船振興会への補助（那覇ハーリー会館建設支援等）	目　標	（　建設支援　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	一部支援			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

消費税率変更を控えての駆け込み需要や、建設業界の情勢等により、H25年度内の工事完了が困難となったため、関係者と調整を行い、ハーリー会館建替に係る出来高部分を25年度の補助事業とした。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
･那覇爬龍船振興会への補助（那覇ハーリー会館建設支援等）	目　標	（　－　）	（建設支援）	（　）	（　）	（　）
	実　績		一部支援			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

平成25年度内に建替の予定であったが、年度内に完了しなかったため、一部支援に止まった。
残りは26年度事業とする。

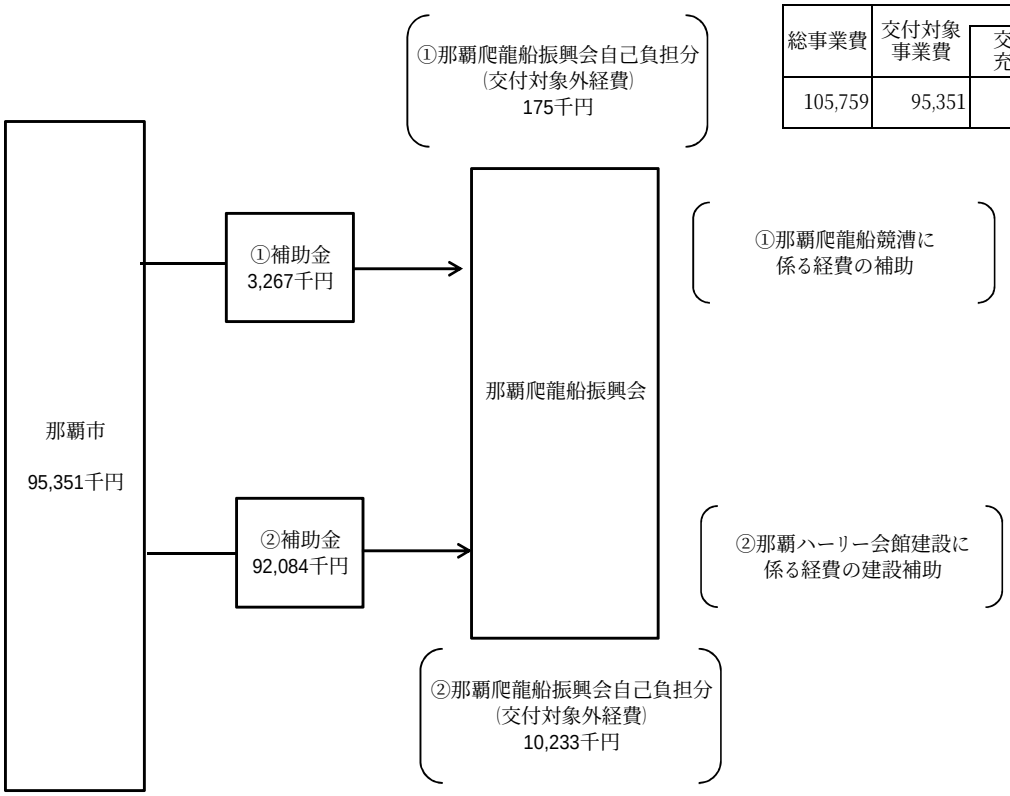
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○補助交付団体である那覇爬龍船振興会と関連団体との調整に時間を要する。 ○建設業界の情勢により、建設工事の進捗が遅れた。	○那覇爬龍船振興会や関連団体との連携の強化 ○建設業界の情勢把握、スケジュール管理の徹底

今後の取り組み方針

○補助交付団体である那覇爬龍船振興会への指導等、確認･調整を行っていく。
○建設補助については、定期的に補助事業者及び工事業者との調整会議を行い、事業の進捗状況や課題等の早期発見に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
105,759	95,351	76,280	19,071	10,408



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○那覇ハーリー会館は、那覇爬龍船振興会の所有であるため那覇爬龍船振興会へ補助金を交付する。 ○建設に係る事業者の選定については、那覇市に準じて指名競争入札等の手続きを行うよう指導した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-48	国際通りを中心とした那覇市ICT利活用モデル事業「WiFi化計画」		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	国際観光都市としてグレードアップを図るため、国際通り等に無料公衆無線LAN環境を構築し、まち歩き観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	232,840				
	(b)予算現額	232,840				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	232,840			
	A．計(b+d)	232,840	232,840			
B．執行済額			165,170			
うち交付金充当額			132,136			
次年度繰越額		232,840	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	70.9%			
予算の状況の説明		平成24年12月に契約を締結。APの設置、ポータルサイトの構築の調整に時間を要し、平成25年度に事業を繰り越した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･公衆無線LANのAPを100ヶ所以上設置	目　標	（100ヶ所以上設置）	（　）	（　）	（　）
	実　績	115ヶ所設置			
･国際通りをPRするWEBサイトの構築	目　標	（WEBサイトの構築）	（　）	（　）	（　）
	実　績	WEBサイトの構築			
達成状況説明		国際通りを中心とした公衆無線WIFI環境を構築するための委託契約を締結し、目標を達成した。			

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
那覇市内に公衆無線LANのAPを100ヶ所以上設置	目　標	（　）	(100ヶ所以上)	（　）	（　）	（　）
	実　績		115ヶ所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明		公衆無線LANのAPを115ヶ所に設置し、目標を達成した。				

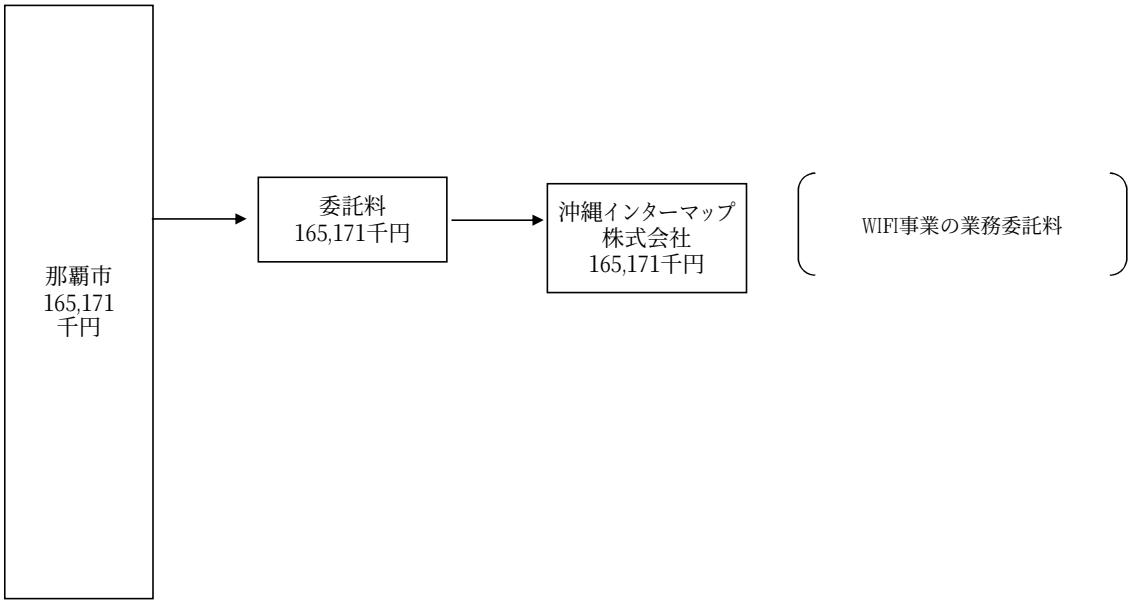
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	公衆無線LANの設置に向けて、設置先と調整に時間を要している。	公衆無線LANの設置のため、設置先に事業の内容の説明や周知を行い、事業を進める。

今後の取り組み方針

平成25年度に公衆無線LANのAPの設置を終了して、事業の進捗状況の検証を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
165,171	165,171	132,136	33,035	607



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は公募型プロポーサル方式により企業組織、実績、知識等を勘案して選定しており、妥当であったと考えている　・事業内容及び費目については報告書類等により確認し、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-49	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容

国際観光都市としてグレードアップを図るため、国際通りの中心地域に大型ビジョンを設置し、観光情報や地域イベント、防災情報等を発信する。
(本市最大の観光地である国際通りてんぶす前広場に、屋外型LEDビジョン(320ince／縦4m×横7m)を整備し、観光リゾート地NAHAのイメージアップと情報発信力の強化を図る。また、大型ビジョンを国際通り及び周辺商店街のランドマークとして位置付け、各種イベントとの連携やICT技術を活用したARコンテンツの展開により、新たな賑わいの創出と中心市街地の継続的な発展を目指す。)

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	203,000	0			
	(b)予算現額	203,000	0			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	203,000			
	A. 計(b+d)	203,000	203,000			
B. 執行済額		0	167,958			
うち交付金充当額		0	134,366			
次年度繰越額		203,000	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	82.7%			
予算の状況の説明		・大型ビジョン等設備の導入にあたり、既存施設関係者との調整に時間を要したため、次年度に事業を繰越した。 ・備品購入費について、公募型プロポーザル方式による選定の結果、予定価格の約65%で契約を締結することができた。 ・工事請負費について、当初計画から設置箇所等を変更することに伴い、工事費の増額が必要となったため、備品購入費から工事請負費へ22,293千円を流用した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
那覇市ぶんかテンブス館に320インチの大型ＬＥＤビジョンを整備	目　標	(　整備　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	整備			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：当初の計画では、平成25年8月に完成予定であったが、近隣商業施設の運営時間と作業工程の連携が想定以上に困難であり、工程に遅れが生じたが、工事等の契約を行い計画どおりの設備が完成した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
那覇市ぶんかテンブス館に大型ＬＥＤビジョンを整備	目　標	(　-　)	(　1台　)	(　)	(　)	(　-　)
	実　績		1台			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：平成26年3月20日(金)に屋外型LEDビジョン“那覇てんぶすビジョン”が完成した。同日、観光プロモーション映像の放映、イベントの模様を生中継、ARコンテンツの提供等含めたオープニングイベントを行った。その結果、約1,400名の集客効果があった他、県内各種メディアからの取材もあり、那覇てんぶすビジョンのプロモーション、中心商店街への新たな賑わいの創出等を効果的に実施することができた。

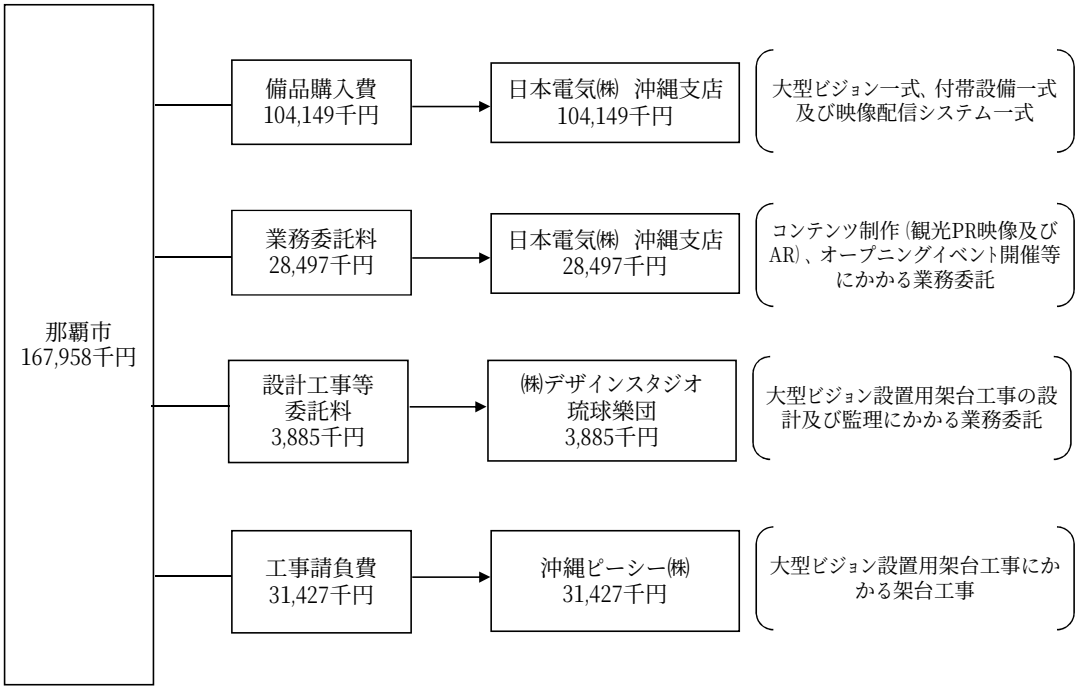
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・那覇てんぶすビジョンより放映するコンテンツ（観光PR映像、AR等）の陳腐化・マンネリ化を避けるため、新たなコンテンツの提供が求められる。 ・那覇てんぶすビジョンを多用途に活用するため、パブリックビューイングの実施、各種イベントとの連携、学校や民間企業への貸出等、観光振興及び中心市街地の活性化に資する企画の展開が求められる。	・新たなコンテンツを制作し、観光客及び地元客の継続的な誘客を図る必要がある。 ・観光振興及び中心市街地の活性化に資する企画の実施をするため、那覇てんぶすビジョンの運営方針を定め、多用途活用に向けた取り組みを進める必要がある。

今後の取り組み方針

・新たなコンテンツを制作し、観光客及び地元客による賑わいを創出する。また、観光振興及び中心市街地の活性化に資する企画を効率的かつ効果的に展開するため、那覇てんぶすビジョンの運営方針を定め、パブリックビューイング、各種イベントの連携、学校や民間企業への貸出等、那覇てんぶすビジョンの多用途活用に向けた取り組みを積極的に進めていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
167,958	167,958	134,366	33,592	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入及び業務委託事業者は、公募型プロポーザル方式により、性能、実績、企画内容、連携事業組織体等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○設計監理及び工事事業者は、業務内容及び実績等を勘案した上で指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-52	移動式車載大型ビジョン		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章－3－(3)－イ 圏域の特色を生かした産業の振興
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	イベント等における観光情報の発信力を高めるため、移動式車載大型ビジョンを整備して、那覇マラソンや那覇大綱挽などの観光イベント、クルーズ船寄港時の歓迎セレモニー等で映像放映を行う。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	150,000				
	(b)予算現額	150,000				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	150,000			
	A．計(b+d)	150,000	150,000			
B．執行済額		0	62,066			
うち交付金充当額			49,652			
次年度繰越額		150,000	-			
執行率（%）(B/A)		0.0%	41.4%			
予算の状況の説明		【繰越理由】特殊車両整備の事業で、復興関係で供給が追いつかない状況のため、納品までに不測の日数を要したため。 【執行率の低い理由】LEDや車両本体価格等の価格低下による執行残。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
移動式車載大型ビジョンの購入･整備	目　標	移動式車載大型ビジョン購入･整備	（　）	（　）	（　）
	実　績	移動式車載大型ビジョン購入･整備			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	平成25年6月に入札を行い、平成26年1月に納品。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
移動式車載大型ビジョンの購入･整備:1台	目　標	（　）	（購入･整備 1台）	（　）	（　）	（　）
	実　績		購入･整備　1台			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	･平成25年度へ繰越後、入札により、平成25年6月に購入、平成26年1月に納品。 ･納品後の2月及び3月に、クルーズ船の寄港時及び読売巨人軍那覇キャンプにおいて28回使用。					

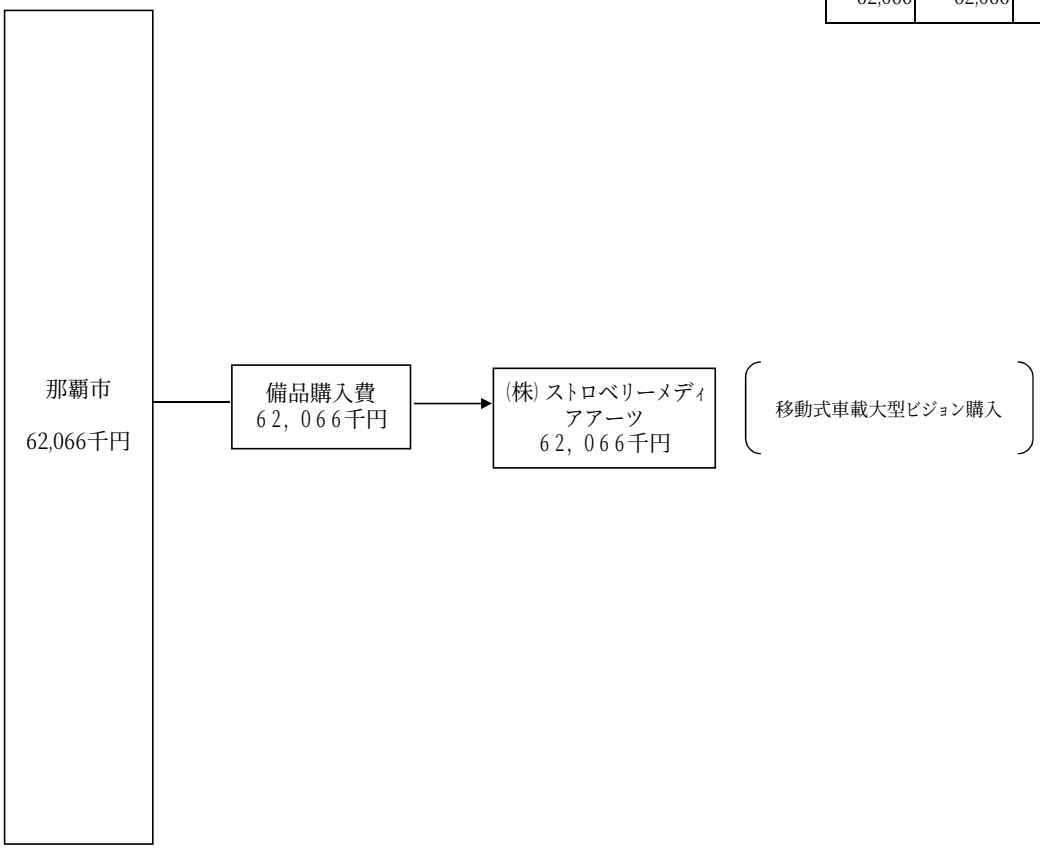
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当初の予定より安価で落札できた。	見積書の再確認と市場価格の調査の徹底

今後の取り組み方針

購入した移動式車載大型ビジョンを那覇市のイベントやクルーズ船の寄港の際、観光客への案内等で活用していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
62,066	62,066	49,652	12,414	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	備品購入費の支出については、入札で行っており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-54	那覇市内観光周遊バス実証実験事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ
					観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	観光都市としてのグレードアップを図るため、市内観光地やホテル等を回るバスの運行についての実証実験を行う。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	41,634	－			
	(b)予算現額	41,634	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	5,637			
	A．計(b+d)	41,634	5,637			
B．執行済額		35,997	1,874			
うち交付金充当額		28,797	1,499			
次年度繰越額		5,637	0			
執行率（%）(B/A)		86.5%	33.3%			

予算の状況の説明：24年度内完了分と繰越分トータルでの執行率は約91%。
25年4月からの運行に向けた準備作業に不測の時間を要し、25年度に一部繰り越した。既存バス路線との重複調整等に時間を要したため、受託業者が広報活動を行う期間が当初の予定より短くなるなどの事由による。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市内の観光地を周遊するバスの運行について実証実験を行う。	目　標	（　実証実験開始　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実証実験開始			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：H25.4月の運行開始の予定が、既存バス路線との重複調整等に不測の時間を要したことから、6月になったものの、概ね予定どおり実施できた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
実証実験の準備(バス等の手配、バスのラッピング、試乗会、広報等)の実施	目　標	（　－　）	（準備の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		準備の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成２５年度からのバス運行実証実験に向けた準備が完了した。
平成２７年度からのバス会社による自主運行を目指し、平成２５年度より運行を開始する。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・バス事業者間の調整に時間を要した。	・沖縄総合事務局との情報交換等をより積極的に行うことが望ましかった。

今後の取り組み方針

運行実証実験に向けた準備が整ったので、平成２５年度より運行を開始する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
37,871	37,871	30,296	7,575	0

那覇市 37,871千円 → 委託料 37,871千円 → （一社）那覇市観光協会 37,871千円

（「那覇市内観光周遊バス実証実験事業」に係る業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は本市と連携して観光行政を推進しており、実績や知識等の点から、他に適当な者はないことから随意契約した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-55	安心･安全なマチグヮー地区実証実験事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(8)－イ 商店街･中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	本市産業の振興発展と観光拠点としての発展を図るため、中心商店街で二輪駐車場の実証実験を行い、観光拠点としてのマチグヮーの魅力向上と商店街の活性化に取り組む。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	19,100	0			
	(b)予算現額	19,100	0			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	18,799			
	A. 計(b+d)	19,100	18,799			
B. 執行済額		301	18,049			
うち交付金充当額		240	14,439			
次年度繰越額		18,799	-			
執行率（%）(B/A)		1.6%	96.0%			
予算の状況の説明		平成24年度は、臨時職員を2名採用し、通行量などの事前調査を行った。しかし、関係機関との調整に時間を要し、実証実験にかかる業務委託料を翌年度へ繰り越した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･中心商店街(マチグヮ)への侵入二輪車両の実態調査、分析	目　標	（実態調査、分析）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実態調査、分析			
･二輪車両駐車場の設置による実証実験	目　標	（実証実験）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実証実験			
達成状況説明	第一牧志公設市場を中心とするマチグヮー地区において、違法駐輪やはみだし等に関する実態を把握するため調査、分析及び二輪車両駐車場の設置による実証実験を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
マチグヮーにおける二輪駐輪場利用台数(実証実験時)50台/日	目　標	（　）	（50台/日）	（　）	（　）	（　）
	実　績		86台/日			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	マチグヮーにおける二輪駐車場利用台数の調査については、1日あたりの目標台数を達成した。					

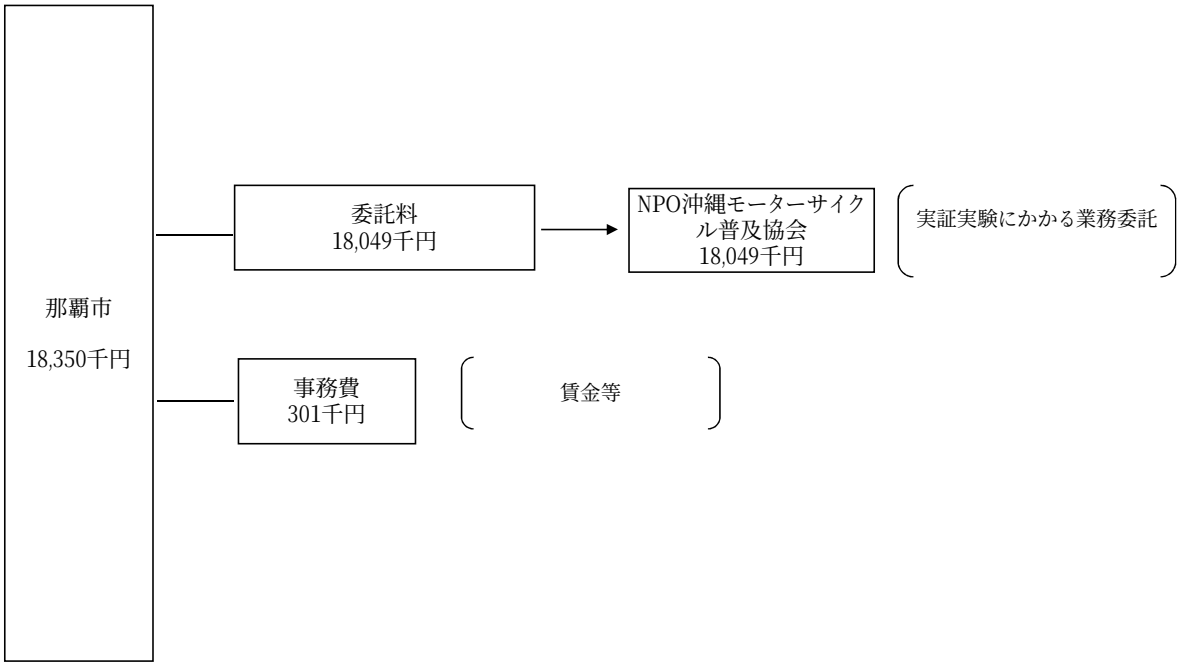
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・マチグヮー地区は、二輪車利用状況に対して駐輪場収容台数が非常に少ない現状がある。 ・実証実験駐車場から離れた通りは、二輪車の進入、違法・放置駐輪状況が改善されなかった。	・駐輪場の拡充 ・違法・放置車両や進入二輪車に、はみだしに対する新たな規制の設置などを検討を行う。

今後の取り組み方針

・マチグヮー地区の安心・安全な交通環境改善のために、地域主体による継続的な取組みが推進されるよう、助言等、必要な支援を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,350	18,350	14,679	3,671	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は公募型プロポーサル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・事業内容及び費目については、報告書類等により確認し、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-57	那覇三大祭りを中心とした観光振興調査研究事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画財務部　企画調整課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市としての魅力の発信力を高め、集客の目玉として活用するため、市を代表する祭り(那覇ハーリー、那覇大綱挽まつり、琉球王朝祭り首里)を活かす事業展開について調査研究を行った。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	9,975	－			
	(b)予算現額	9,975	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	9,975			
	A．計(b+d)	9,975	9,975			
B．執行済額		0	6,720			
うち交付金充当額		0	5,376			
次年度繰越額		9,975	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	67.4%			
予算の状況の説明		調査にあたり、有識者からの調査期間等含めた意見聴取に不測の日数を要したため、繰越した。 不用額は委託料の入札残である。 事業計画どおりに執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
他県の事例調査	目　標	（　事例調査　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	事例調査			
観光資源としての活用方策検討	目　標	（　方策検討　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	方策検討			
達成状況説明	他府県での祭りを観光資源として活用した具体的事例の調査、観光面から見た那覇三大祭りの現状と課題の整理、那覇市観光の問題点と課題の整理をし、それらを踏まえ、那覇三大祭りを中心とした観光振興の提案を報告書としてまとめた。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
他県の祭りを中心とした観光振興事例調査	目　標	（　）	（事例調査）	（　）	（　）	（　）
	実　績		事例調査			
観光資源としての祭りの活用方策検討	目　標	（　）	（方策検討）	（　）	（　）	（　）
	実　績		方策検討			
進捗状況説明	予定を上回る29例の事例調査を行い、18項目の活用方策提案があった。					

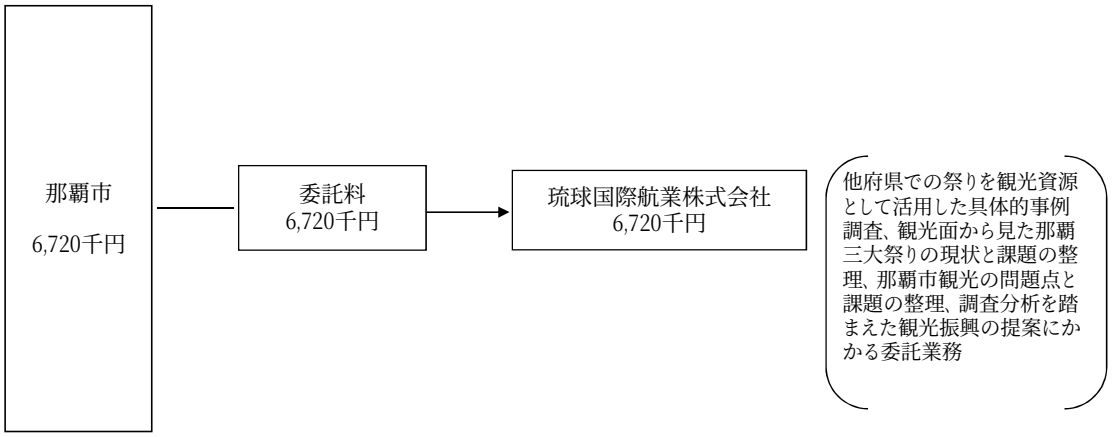
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	那覇三大祭り（那覇ハーリー、那覇大綱挽まつり、琉球王朝祭り首里）は、規模やオリジナリティーにおいても世界に誇れるものとなっており、他府県及びアジアを中心に海外からも多くの観光客が観覧・参加している。 しかしながら、この三大祭りを那覇市の観光資源として見た場合、年間を通じて活用する取り組みの弱さが課題となっている。	他府県における地域固有の祭りなど、伝統文化を観光資源としている事例を調査し、那覇市の地域特性及び観光特性等と合わせて比較・分析することで、那覇の三大祭りを観光資源として効果的に活用する方法（事業案、施設整備案、支援手法）を検討した。 その結果、予定を上回る29例の事例調査及び18項目の活用方策提案があり、効果的な調査研究ができた。

今後の取り組み方針

・三大祭りを活用した事業提案については、平成26年度ソフト交付金の活用による策定を予定している「那覇市観光基本計画」への反映を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,720	6,720	5,376	1,344	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-58	那覇市みどり実施計画事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	建設管理部　花とみどり課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市としての景観･美観の創出･継承のため、本市の緑化推進のための具体的方策となる実施計画を策定する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	8,000	-			
	(b)予算現額	7,875	-			
	(c)増減額(b-a)	▲ 125	-			
	(d)繰越額	―	7,875			
	A. 計(b+d)	7,875	7,875			
B. 執行済額		0	7,875			
うち交付金充当額		0	6,300			
次年度繰越額		7,875	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		計画策定にあたり、課題抽出において、有識者より、多面的な視点での課題抽出が必要であるとの意見を受け、その対応に不測の日数を要したため。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
みどり実施計画の策定	目　標	（みどり実施計画の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	みどり実施計画の策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	みどり実施計画を策定したことにより、今後、計画に基づき、公園の整備のみならず、本市関係各課の事業へ反映させることにより市域の緑化を推進することができる。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
みどり実施計画の策定	目　標	（-）	（みどり実施計画の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		みどり実施計画の策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	みどり実施計画を策定したことにより、今後、計画に基づき、公園の整備のみならず、本市関係各課の事業へ反映させることにより市域の緑化を推進することができる。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	一層の緑化を推進するには、策定した「那覇市みどり実施計画」を本市関係各課が理解し、活用する必要がある。	那覇市みどり実施計画の活用を図るため、関係各課を交えた勉強会等を開催し、各事業への活用を推進する。

今後の取り組み方針

策定した「那覇市みどり実施計画」を本市関係各課の事業へ反映させることにより、更なる緑化の推進を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,875	7,875	6,300	1,575	0

那覇市 7,875千円 → 委託料 7,875千円 → 委託料 （株）新開土木設計 7,875千円

［みどり実施計画の策定のための委託料］

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争により選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途に関しては、事業目的の達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において、支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-61	景観まちづくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－ア 沖縄らしい風景づくり
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光都市としての景観･美観の再生･創出･継承のため、景観向上行動計画を策定する。また、 市内全域における屋外広告物について、現況調査などを行う。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	39,761				
	(b)予算現額	39,761				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	38,794			
	A. 計(b+d)	39,761	38,794			
B. 執行済額		967	35,813			
うち交付金充当額		773	28,650			
次年度繰越額		38,794	0			
執行率（%）(B/A)		2.4%	92.3%			
予算の状況の説明		計画策定にあたり地域住民との合意形成及び所有者等との調整に不測の日数を要したことから、次年度に繰越した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･景観向上行動計画(首里、識名、壺屋地区)の策定 ･屋外広告物現況調査(市全域)に基づく民間広告物管理システムの更新	目　標	行動計画書の策定、システムの更新	（　）	（　）	（　）
	実　績	行動計画書の策定、システムの更新			

達成状況説明：
･景観法に基づき策定された「那覇市景観計画」を推進し、都市計画による景観地区指定を見据えた、景観形成の向上行動計画及び大中町周辺地区、首里三箇地区の都市景観形成地域指定に向けた基礎調査･計画を策定した。
･「那覇市公共サイン計画」及び「那覇市屋外広告物適正化推進計画」の策定に向けた基礎資料として、市内の屋外広告物現況調査を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
･景観向上行動計画(首里、識名、壺屋地区)の策定 ･屋外広告物現況調査(市全域)に基づく民間広告物管理システムの更新	目　標	（－）	行動計画書の策定、システムの更新	（　）	（　）	（　）
	実　績		行動計画書の策定、システムの更新			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
･景観法に基づき策定された「那覇市景観計画」を推進し、都市計画による景観地区指定を見据えた、景観形成の向上行動計画及び大中町周辺地区、首里三箇地区の都市景観形成地域指定に向けた基礎調査･計画を策定した。
･「那覇市公共サイン計画」及び「那覇市屋外広告物適正化推進計画」の策定に向けた基礎資料として、市内の屋外広告物現況調査を実施した。

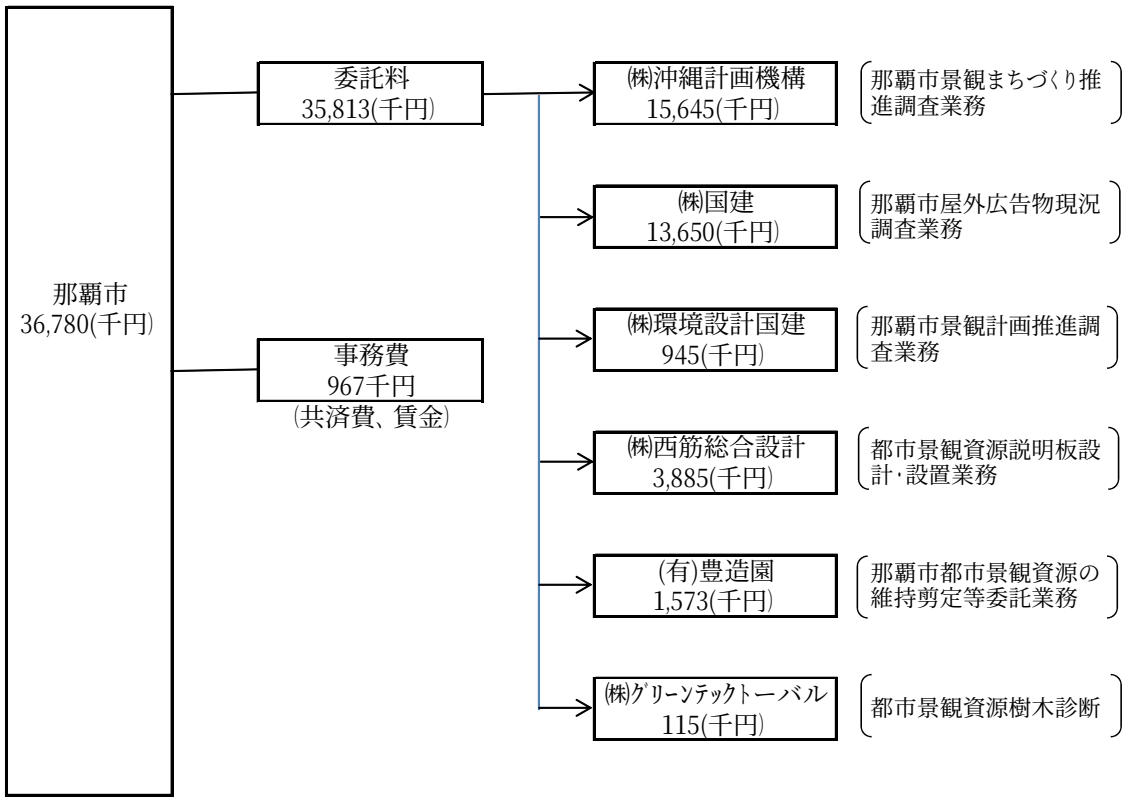
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	外部（地域住民、所有者等）との調整等に時間を有した。	早期事業着手を検討し、外部、関係機関等と十分調整が確保できるよう改善する必要がある。

今後の取り組み方針

・今回の成果である「景観向上行動計画」及び大中町周辺地区、首里三箇地区の基礎調査を踏まえ、大中町周辺地区、首里三箇地区の景観形成(案）の作成を行っていきたい。
・屋外広告物現況調査で抽出した課題等を踏まえ、「那覇市公共サイン計画(案）」及び「那覇市屋外広告物適正化推進計画(案）」の作成を行っていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
36,780	36,780	29,424	7,356	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は都市計画に精通した業者による指名競争入札にて選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものに限定され、支出等に関する書類により確認でき、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	ガントリークレーン整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(4)-ア 臨空･臨港型産業の集積による国際物流拠点の形成
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(3)
事業内容	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充に資するため、免震機能付ガントリークレーンを製作する。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	120,000	－			
	(b)予算現額	134,760	－			
	(c)増減額(b-a)	14,760	－			
	(d)繰越額	－	89,108			
	A. 計(b+d)	134,760	89,108			
B. 執行済額		45,652	89,108			
うち交付金充当額		36,521	71,287			
次年度繰越額		89,108	0			
執行率（%）(B/A)		33.9%	100.0%			

予算の状況の説明

・ガントリークレーンが航空法に基づく制限表面高さ制約等に伴う構造変更により、既設のレール幅では、設置できないことから、新たなレールを整備する必要が生じたため、予算が増となった。
・ガントリークレーンが航空法に基づく制限表面高さの制約があり、関係機関との協議に不測の日数を要し、更に、高さ制約に伴い、既製品では対応できず、部材等が特注品となったため、標準工期での製作は厳しく、繰越となった。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
那覇港のガントリークレーン整備に係る仕様書作成、3号機製作工事着手	目　標	仕様書作成、3号機製作工事着手	（　）	（　）	（　）
	実　績	仕様書作成、3号機製作工事完了			

達成状況説明

活動目標どおり、仕様書作成を完了し、更に機械製作工事を完了することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
那覇港のガントリークレーン整備に係る仕様書作成、3号機製作工事着手	目　標	（－）	（仕様書作成、3号機製作工事）	（　）	（　）	（－）
	実　績		仕様書作成、3号機製作工事完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

成果目標どおり、仕様書作成を完了し、更に機械製作工事を完了することができた。

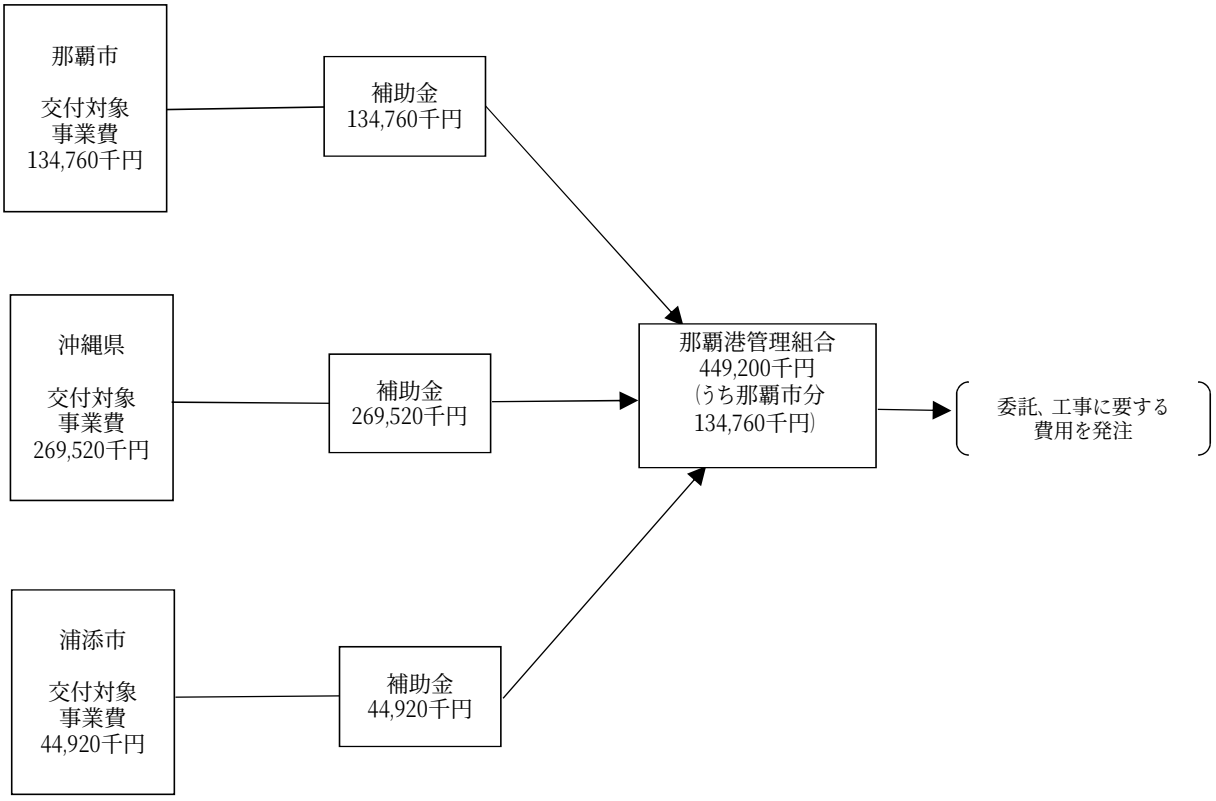
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・ガントリークレーン整備の執行について、航空法に基づく制限表面高さの関係機関協議により、当初予定していた工期より長くなった。 ・レールについて、ガントリークレーンの構造の変更により、既設のレール幅では設置できないことから、新たなレールを整備する必要が生じたため、予算増となった。	・次年度以降も工程の遅れが生じることがないよう、工程会議等を密に行う必要がある。 ・事業費については、事業費の変更が生じないか、作業状況、現場状況等の把握に努める必要がある。

今後の取り組み方針

・引き続き事業の整備を早期に行い、国際流通港湾機能充実を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
134,760	134,760	107,808	26,952	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・負担割合について、「那覇港管理組合の設立に関する覚書」にて沖縄県6、那覇市3、浦添市1となっており、妥当であったと考えている。 ・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-②	リーファー電源整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(4)-ア 臨空･臨港型産業の集積による国際物流拠点の形成
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(3)
事業内容	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充に資するため、年々需要が増大しているリーファーコンテナ(低温輸送が必要な冷凍コンテナ等)に対応するリーファー電源を増設する。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	36,000	―			
	(b)予算現額	21,240	―			
	(c)増減額(b-a)	▲ 14,760	―			
	(d)繰越額	―	21,001			
	A. 計(b+d)	21,240	21,001			
B. 執行済額		239	18,074			
うち交付金充当額		191	14,459			
次年度繰越額		21,001	0			
執行率（%）(B/A)		1.1%	86.1%			

予算の状況の説明

・実施設計業務において、詳細に設計を行ったところ、新設のケーブルが既設配管への入線が可能となり、新設配管工事の必要がなくなったこと等から事業費が減となった。
・本事業においては、リーファー電源以外にもガントリークレーンの増設を踏まえた受変電施設などの電気系統の詳細設計が含まれるが、クレーンの規格決定に係る協議に期間を要し、必要となる電力容量の把握ができず、これに伴う供給設備の設計が遅れたため繰越となった。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
リーファー電源整備に係る実施設計、整備工事着手	目　標	（実施設計、整備工事着手）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施設計、整備工事完了			

達成状況説明：活動目標どおり、実施設計を完了し、更に整備工事を完了することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
リーファー電源整備に係る実施設計、整備工事着手	目　標	（―）	（実施設計、整備工事着手）	（　）	（　）	（―）
	実　績		実施設計、整備工事完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：成果目標どおり、実施設計を完了し、更に整備工事を完了することができた。

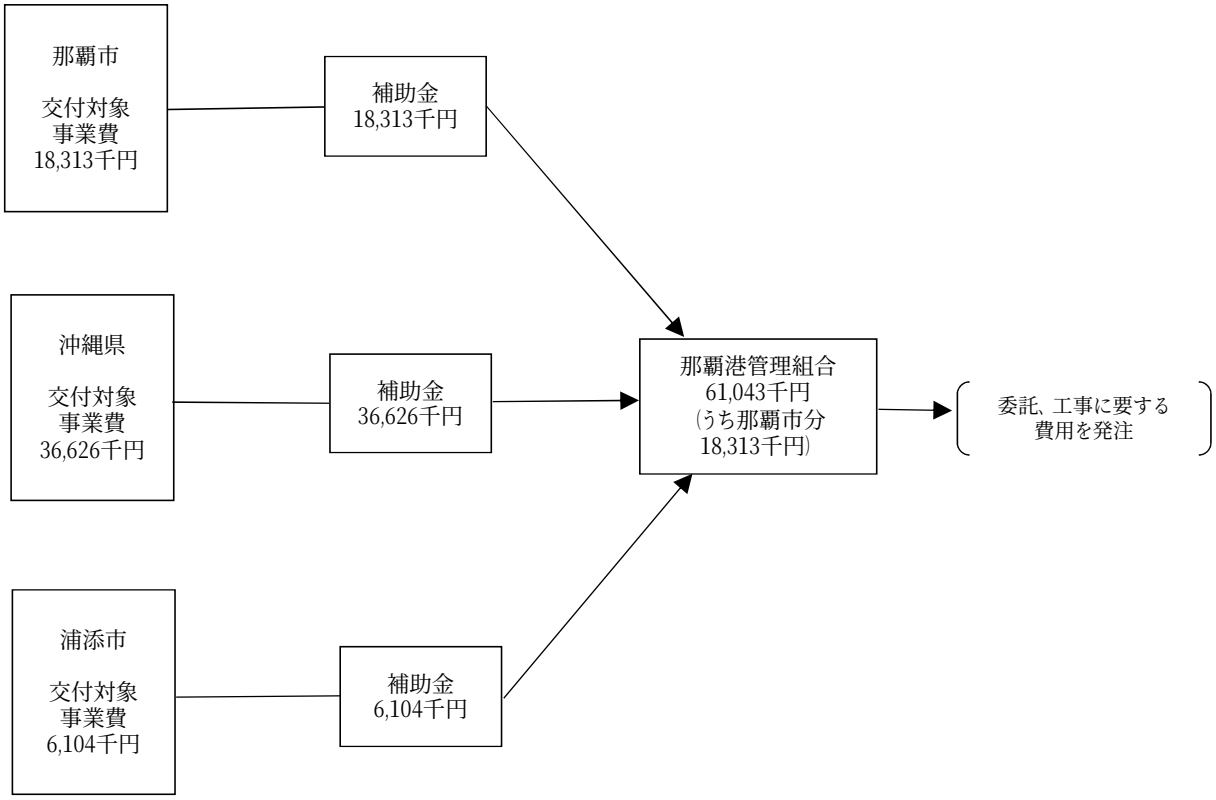
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・活動実績及び成果実績について、当初見込みどおりの成果が出ている。	・必要箇所の整備をすべて完了する事ができ、目標は十分達成できた。

今後の取り組み方針

国際流通港湾機能の利用環境を維持すべく、施設の適切な維持管理を行い利用促進を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,313	18,313	14,650	3,663	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・負担割合について、「那覇港管理組合の設立に関する覚書」にて沖縄県6、那覇市3、浦添市1となっており、妥当であったと考えている。 ・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-③	那覇港生活物資安定供給対策事業（浦添ふ頭防風対策事業）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(4)-ア 臨空・臨港型産業の集積による国際物流拠点の形成
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(3)
事業内容	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充に資するため、浦添ふ頭へ防風柵を設置し、新港埠頭の混雑解消と物流サービスの向上を図る。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	78,000	―			
	(b)予算現額	70,500	―			
	(c)増減額(b-a)	▲ 7,500	―			
	(d)繰越額	―	42,100			
	A. 計(b+d)	70,500	42,100			
B. 執行済額		28,400	42,100			
うち交付金充当額		22,720	33,679			
次年度繰越額		42,100	0			
執行率（%）(B/A)		40.3%	100.0%			

予算の状況の説明：
・防風柵設置工事において、入札残が生じ、当該事業の工事請負費が、想定していた事業費より減となった。
・工事周辺箇所において、上屋建築及び舗装工事があり、資材搬入や工事ヤード等の作業工程について他業者との調整に時間を要したため、繰越となった。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
那覇港浦添ふ頭における防風柵設置に係る実施設計、設置工事着手	目　標	（実施設計、設置工事着手）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施設計、設置工事完了			

達成状況説明：活動目標どおり、実施設計を行い設置工事を着手し、更に設置工事を完了することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
那覇港浦添ふ頭における防風柵設置に係る実施設計、設置工事着手	目　標	（―）	（実施設計、設置工事着手）	（　）	（　）	（―）
	実　績		実施設計、設置工事完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：成果目標どおり、実施設計を行い設置工事を着手し、更に設置工事を完了することができた。

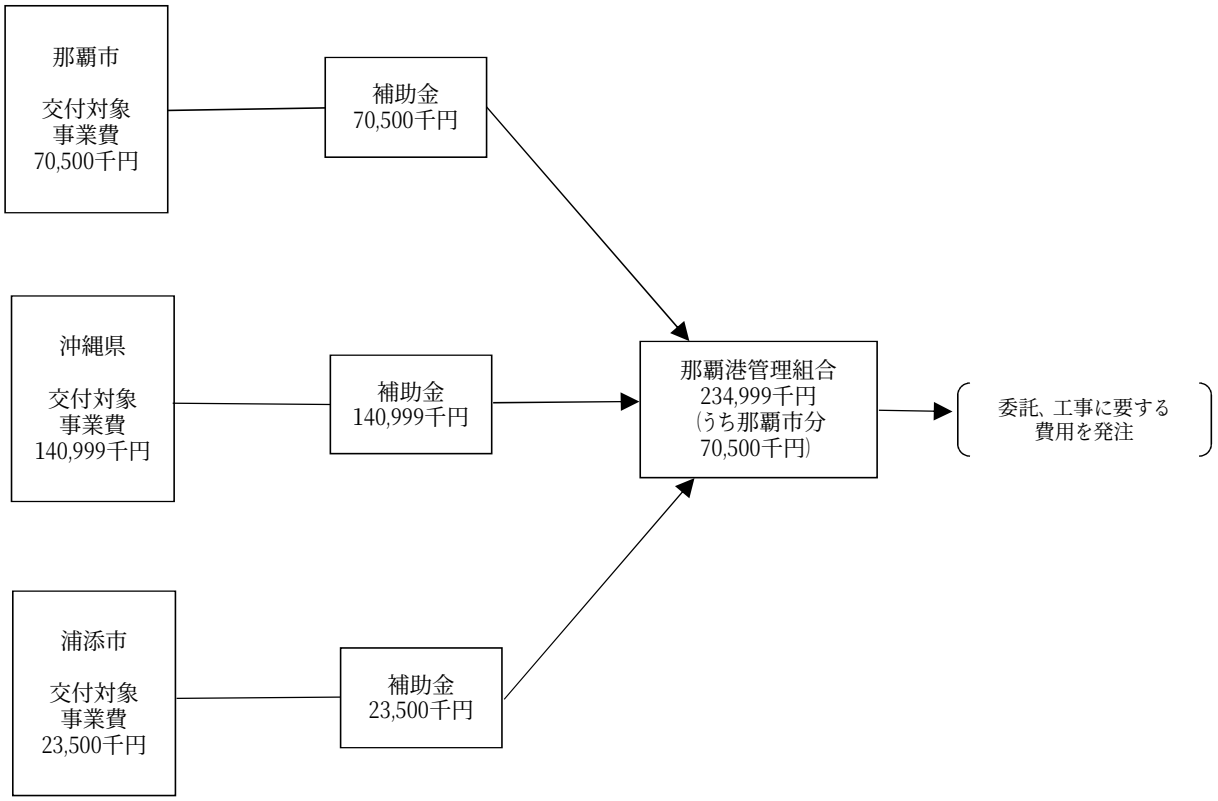
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・活動実績及び成果実績について、当初見込みどおりの成果が出ている。	・必要箇所の整備をすべて完了する事ができ、目標は十分達成できた。

今後の取り組み方針

必要箇所の整備をすべて完了する事ができたため、今後、一部の船舶について新港ふ頭から浦添ふ頭へシフトを行い、新港ふ頭の混雑解消を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
70,500	70,500	56,399	14,101	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・負担割合について、「那覇港管理組合の設立に関する覚書」にて沖縄県6、那覇市3、浦添市1となっており、妥当であったと考えている。 ・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-④	那覇港物流ビジネスモデル導入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-⑴-イ 人流･物流を支える港湾の整備
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-⑶
事業内容	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充に資するため、「那覇港ビジネスモデル」の提案及び「空コンテナ」対策など那覇港物流ビジネスモデル導入に向けた取り組みを行う。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	11,867	―			
	(b)予算現額	11,867	―			
	(c)増減額(b-a)	0	―			
	(d)繰越額	―	8,371			
	A. 計(b+d)	11,867	8,371			
B. 執行済額		3,496	6,853			
うち交付金充当額		2,797	5,482			
次年度繰越額		8,371	0			
執行率（%）(B/A)		29.5%	81.9%			

予算の状況の説明：物流ビジネスモデルのうち、香港向け混載輸出については、船社との調整に時間を要し、平成24年12月からの開始となったが、その定着のためには、継続的に行う必要があるため、繰り越して実施した。
なお、不用額については、中古車輸出モデルの社会実験対象貨物が、予定していた数量に至らなかった事による契約額の減である。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
那覇港における外貿航路の社会実験開始	目　標	（社会実験開始）	（　）	（　）	（　）
	実　績	社会実験完了			

達成状況説明：活動指標どおり、当該物流ビジネスモデルの社会実験を開始し、更に完了することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
那覇港における外貿航路の社会実験開始	目　標	（―）	（社会実験開始）	（　）	（　）	（―）
	実　績		社会実験完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：成果指標どおり、当該物流ビジネスモデルの社会実験を開始し、更に完了することができた。

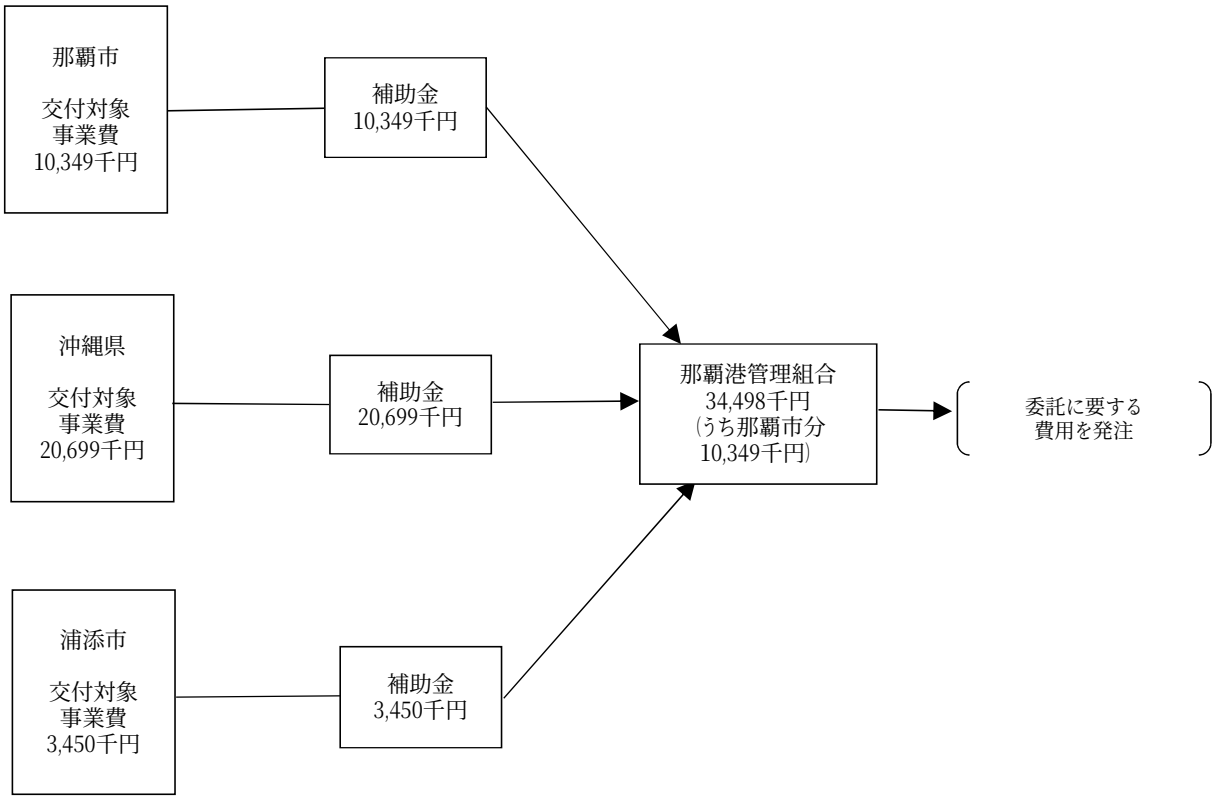
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・本物流ビジネスモデルの実施について、地元紙のみならず、全国紙や物流専門紙でも取り上げられており、本社会実験の実施による物流コストの低減やリードタイムの短縮による物流効率化への関心の高さが感じられる。 ・また、社会実験に参加した荷主からは「昨年と比べ、頻度増加、リードタイム短縮が実現し、使いやすくなった」、「航空輸送と比べ、コストが大幅に下がる点がよい。」などの評価を得ている。	・近年、県内企業における県産品等の国外輸出の気運が高まってきており、これまでの物流ビジネスモデルの動向を注視しつつ、貨物量の更なる増加に向けた課題を把握するため新たな社会実験を実施する必要がある。

今後の取り組み方針

輸出貨物の増加促進及び新規航路開設に向けた社会実験を実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,349	10,349	8,279	2,070	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・負担割合について、「那覇港管理組合の設立に関する覚書」にて沖縄県6、那覇市3、浦添市1となっており、妥当であったと考えている。 ・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-⑦	人材育成施設整備基本構想策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(2)－イ 生涯学習社会の実現
担当部課名	生涯学習部　総務課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-2、3-(1)

事業内容	将来の沖縄振興に資する人材の育成に有益な施設整備のため、公民館、図書館、教育研究所等の施設整備についての基本計画を策定する。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,792	－			
	(b)予算現額	5,792	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	5,724			
	A. 計(b+d)	5,792	5,724			
B. 執行済額		68	5,304			
うち交付金充当額		54	4,243			
次年度繰越額		5,724	0			
執行率（%）(B/A)		1.2%	92.7%			

予算の状況の説明：
・業務委託契約は2度のプロポーザル募集をしたが、応募者がなく指名競争入札で契約した。当該契約が12月になったため24年度の事業終了は困難となったため、次年度に繰越した。
・不用額420千円は、委託料の入札残及び構想策定委員への報償費の残であり、事業は計画どおり執行した。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
基本構想の策定	目　標	（基本構想策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基本構想策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：人材育成施設整備基本構想を策定した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
人材育成施設整備基本構想の策定	目　標	（　）	（基本構想の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		基本構想の策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成25年7月に「那覇市人材育成施設整備基本構想」を策定し、事業を完了した。

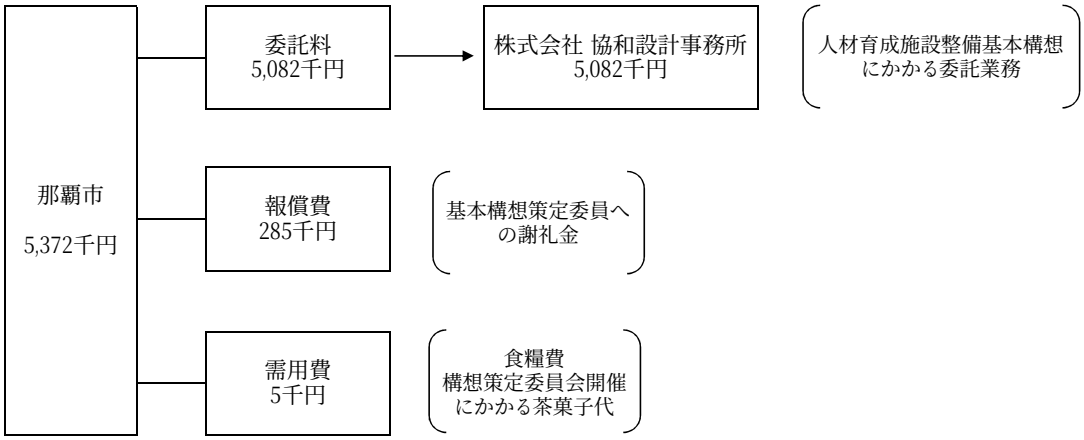
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・人材育成における施設整備のあり方について、基本的な考え方を示すことができた。 ・各種の施設整備にあったては、その時々のニーズや地域のニーズなど的確に捉えながら推進していくことが必要である。	・全市及び地域住民に、施設整備の目的、必要性などを十分に説明するとともに、意見聴取などを行い検討していくことが必要である。 ・基本構想を踏まえながら、必要に応じて修正等を検討していくことも必要である。

今後の取り組み方針

この基本構想に基づき、各施設整備について、基本計画等を策定するなど、施設整備に向けた検討を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,372	5,372	4,297	1,075	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企業組織、実績、知識等を勘案した上で指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-②	電子黒板整備事業（小学校）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(4)－ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進
担当部課名	学校教育部　学務課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)
事業内容	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興･学力向上のため、那覇市立小学校6年生の全普通教室に電子黒板を整備する。教職員を対象に機器の使用方法、授業での活用方法の研修を行い、児童の興味関心を引き出し集中力を高める、わかりやすい授業環境を整える。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	50,927	－			
	(b)予算現額	50,927	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	50,927			
	A．計(b+d)	50,927	50,927			
B．執行済額		0	24,192			
うち交付金充当額		0	19,353			
次年度繰越額		50,927	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	47.5%			
予算の状況の説明		平成２４年度に導入機器等を選定するため教職員等を含めた機器仕様選定委員会を設置した。同委員会において機能面での意見聴取、デモンストレーション等を実施したが、決定までに不測の日数を要したため予算を平成２５年度に全額繰り越した。平成２５年度に制限付一般競争入札に付したところ５０%を下回る落札率となった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
電子黒板及びパソコンの整備 小学校6学年普通教室等　１２７台	目　標	（小学校6学年 １２７台設置）	（　）	（　）	（　）
	実　績	小学校6学年 １２７台設置			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	電子黒板及びパソコンを那覇市立全小学校の６年生普通教室へ設置し、教職員を対象とした機器の使用方法及び活用方法についての研修会を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
市内小学校6学年普通教室への電子黒板設置率	目　標	（0%）	（100%）	（　）	（　）	（　）
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	６年生の普通教室への設置率は１００%を達成できた。導入後２ヶ月ほど経過した後実施した教職員への活用状況のアンケート調査では使用率がほぼ１００%となっており、授業での活用もできている。					

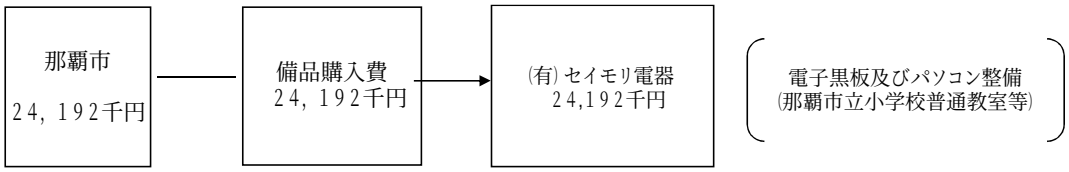
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	機器の導入については当初計画どおり6年生全普通教室へ100％設置できた。アンケート調査の結果を見ても学校現場での電子黒板の活用状況は良好であり、当初見込みどおりの成果が出ていると言える。 今後の留意点としては電子黒板のより効果的な活用方法になってくると考えられる。既存のデジタル教科書以外の教材の活用方法については教職員の能力に左右されるため、全教職員のスキルアップが求められる。また人事異動等により他市町村からの転入があるため、電子黒板を使用したことのない教職員が配置される可能性もある。その場合当該職員が電子黒板をうまく利用できるかという問題も出てくる。	導入後使用方法等について全教職員を対象とした研修会を実施した。今後はアンケートの回答でも要望が多かった、電子黒板のより効果的な活用方法についての研修会の充実が求められる。 教職員の人事異動について、電子黒板を使った授業の研修効果・人材育成の観点から、、那覇市内での効果を保てるような配置換えができるよう、県に要望していく。

今後の取り組み方針

電子黒板初心者対象の研修会をはじめ、より効果的な使用方法等についての研修会の充実を図るとともに、各学校からの活用例を収集し事例集として共有していく。また、実物投影機、タブレット端末等の周辺機器の整備・充実を検討し、よりわかりやすい授業の構築を目指していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
24,192	24,192	19,353	4,839	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	機器仕様選定委員会において機器を選定、予定価格は複数業者より徴取した見積書を参考に決定した。入札は制限付一般競争入札（那覇市内に本店又は支店がある事業所に限る）として実施した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-③	電子黒板整備事業(中学校)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(4)－ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進
担当部課名	学校教育部　学務課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)
事業内容	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興･学力向上のため、那覇市立全中学校に電子黒板を整備する。教職員を対象に機器の使用方法、授業での活用方法の研修を行い、生徒の興味関心を引き出し集中力を高める、わかりやすい授業環境を整える。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	201,541	－			
	(b)予算現額	201,541	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	201,541			
	A. 計(b+d)	201,541	201,541			
B. 執行済額		0	120,975			
うち交付金充当額		0	96,780			
次年度繰越額		201,541	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	60.0%			
予算の状況の説明		平成２４年度に導入機器等を選定するため教職員等を含めた機器仕様選定委員会を設置した。同委員会において機能面での意見聴取、デモンストレーション等を実施したが、決定までに不測の日数を要したため予算を平成２５年度に全額繰り越した。平成２５年度に制限付一般競争入札に付したところ約６０％の落札率となった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
電子黒板及びパソコンの整備 中学校普通学級　２６６台	目　標	中学校 （　普通教室266台　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	中学校 普通教室266台			
電子黒板の整備 理科室１７台	目　標	（　理科室17台　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	理科室17台			
達成状況説明	電子黒板及びパソコンを那覇市立全中学校の普通教室及び理科室へ設置、教職員を対象とした機器の使用方法及び活用方法についての研修会を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
市内中学校普通教室への電子黒板設置率	目　標	（　0%　）	（　100%　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					
進捗状況説明	中学校全普通教室(及び理科室)への設置率は１００％を達成できた。導入後2ヶ月ほど経過した後実施した教職員への活用状況のアンケート調査では使用率がほぼ１００％となっており、授業での活用もできている。					

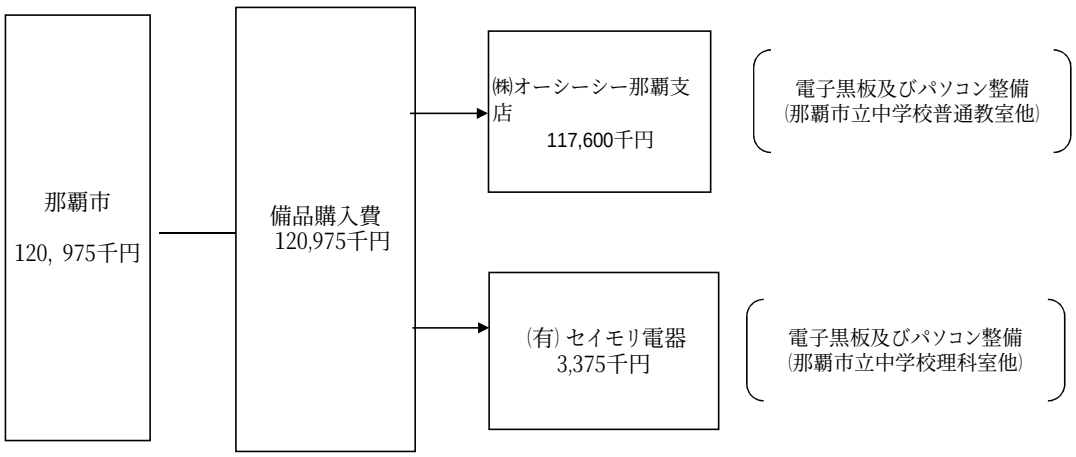
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	機器の導入については当初計画どおり全普通教室へ１００％設置できた。アンケート調査の結果を見ても学校現場での電子黒板の活用状況は良好であり、当初見込みどおりの成果が出ていると言える。 今後の留意点としては電子黒板のより効果的な活用方法になってくると考えられる。既存のデジタル教科書以外の教材の活用方法については教職員の能力に左右されるため、全教職員のスキルアップが求められる。また人事異動等により他市町村からの転入があるため、電子黒板を使用したことのない教職員が配置される可能性もある。その場合当該職員が電子黒板をうまく利用できるかという問題も出てくる。	導入後使用方法等について全教職員を対象とした研修会を実施した。今後はアンケートの回答でも要望が多かった、電子黒板のより効果的な活用方法についての研修会の充実が求められる。 教職員の人事異動について、電子黒板を使った授業の研修効果・人材育成の観点から、、那覇市内での効果を保てるような配置換えができるよう、県に要望していく。

今後の取り組み方針

電子黒板初心者対象の研修会をはじめ、より効果的な使用方法等についての研修会の充実を図るとともに、各学校からの活用例を収集し事例集として共有していく。また、実物投影機、タブレット端末等の周辺機器の整備・充実を検討し、よりわかりやすい授業の構築を目指していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
120,975	120,975	96,780	24,195	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	機器仕様選定委員会において機器を選定、予定価格は複数業者より徴取した見積書を参考に決定した。入札は制限付一般競争入札（那覇市内に本店又は支店がある事業所に限る）として実施した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-⑱	スポーツ広場整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	環境部　クリーン推進課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)
事業内容	スポーツコンベンションとしての本市の機能拡充と、将来の沖縄振興に資する人材の育成に有益な施設として、スポーツ広場を整備する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	38,549				
	(b)予算現額	38,549				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	24,117			
	A．計(b+d)	38,549	24,117			
B．執行済額		7,590	2,462			
うち交付金充当額		6,072	1,969			
次年度繰越額		24,117				
執行率（%）(B/A)		19.7%	10.2%			
予算の状況の説明		平成24年度は、施設整備費としてゲートフェンスの修繕及び沖縄自動車道を跨ぐ橋の強度調査業務委託費等に7,113千円、サッカーゴール等の備品購入費として2,939千円を執行した。なお、トイレ設置設計･工事費24,117千円は翌年度繰越したが、うちトイレ工事22,720千円は入札が成立せず、執行ができなかった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
スポーツ広場施設を整備	目　標	（　施設整備　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	一部施設整備完了 備品購入完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：ゲートフェンス修繕工事等の施設整備やサッカーゴール等の備品購入は予定通り執行したが、トイレの設置については、当該事業の敷地が最終処分場敷地であることや、市街化調整区域及び下水道未整備地域のため、関係機関との調整や利用人数を特定し適正なトイレの規模の算定等に時間を要したため平成25年度に繰越となった。
また平成25年度には、鉄筋工等の人材不足により、設置工事の入札が成立せず業務が執行できなかった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
スポーツ広場の年間利用者数	目　標	（　0　）	（　2,700人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		4,284人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：当施設は平成２４年８月から供用開始。平成２４年度の利用者数は4，２８４人となり目標を上回っている。

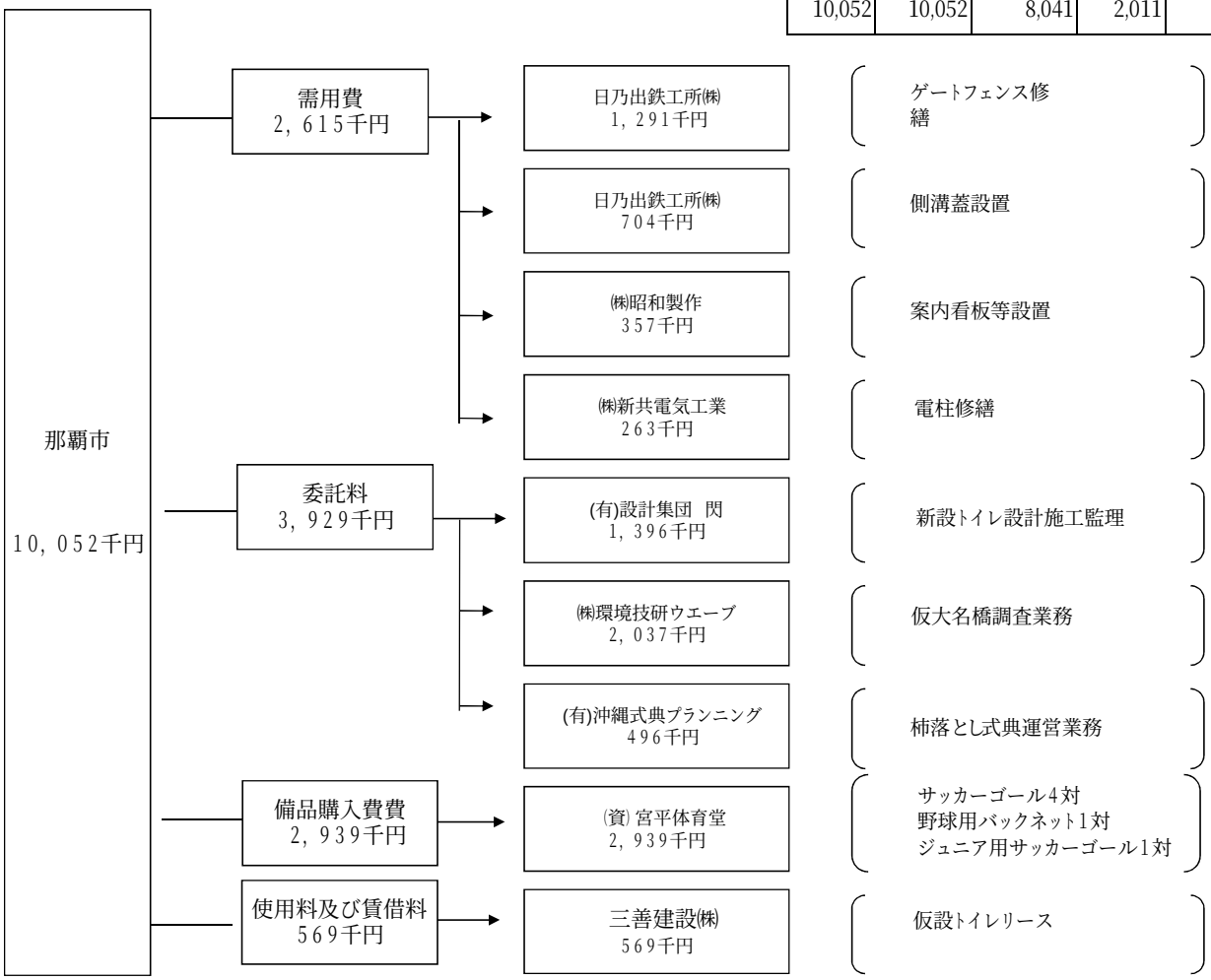
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当施設は、最終処分場敷地に設置しているため、可燃性ガスへの注意喚起等、利用者の安全性についは十分注意する必要がある。	現在、当施設は、沖縄自動車道を跨ぐ大名橋のみを利用しているが、施設環境が整い、大きな大会等の開催が可能となった際は、関係車両の増加が予想されるため、関係者及び関係車両の安全性や効率性を踏まえた通行経路を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

現在、給水設備はあるが、基本設備である常設トイレが設置されていない。今後の展開としては、これら基本設備の整備後に大会等の誘致も可能であると考えている。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,052	10,052	8,041	2,011	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	予算執行にあたっては、事業の必要性や予算執行に関する法令、市の規則等に照らし適正に執行した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-22	幼稚園冷房機設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)
事業内容	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、幼稚園舎に冷房機を設置する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	－			
	(b)予算現額	23,904	－			
	(c)増減額(b-a)	23,904	0			
	(d)繰越額	－	23,904			
	A．計(b+d)	23,904	23,904			
B．執行済額		0	21,182			
うち交付金充当額		0	16,945			
次年度繰越額		23,904				
執行率（%）(B/A)		0.0%	88.6%			
予算の状況の説明		２４年度においては、設計業務が完了したものの、時間を要したため、冷房機の設置工事自体を次年度に繰り越すことになった。２５年度に、当初予定していた分の設置が完了した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
幼稚園冷房施設整備:10園	目　標	(　10園　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	10園			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明	
	H25年度にて、H24年度繰越分10園を実施

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
幼稚園冷房施設整備:10園	目　標	(　)	(　10園　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		10園			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明	
	H25年度にて、H24年度繰越分10園を実施し、当年度の目標を達成した。

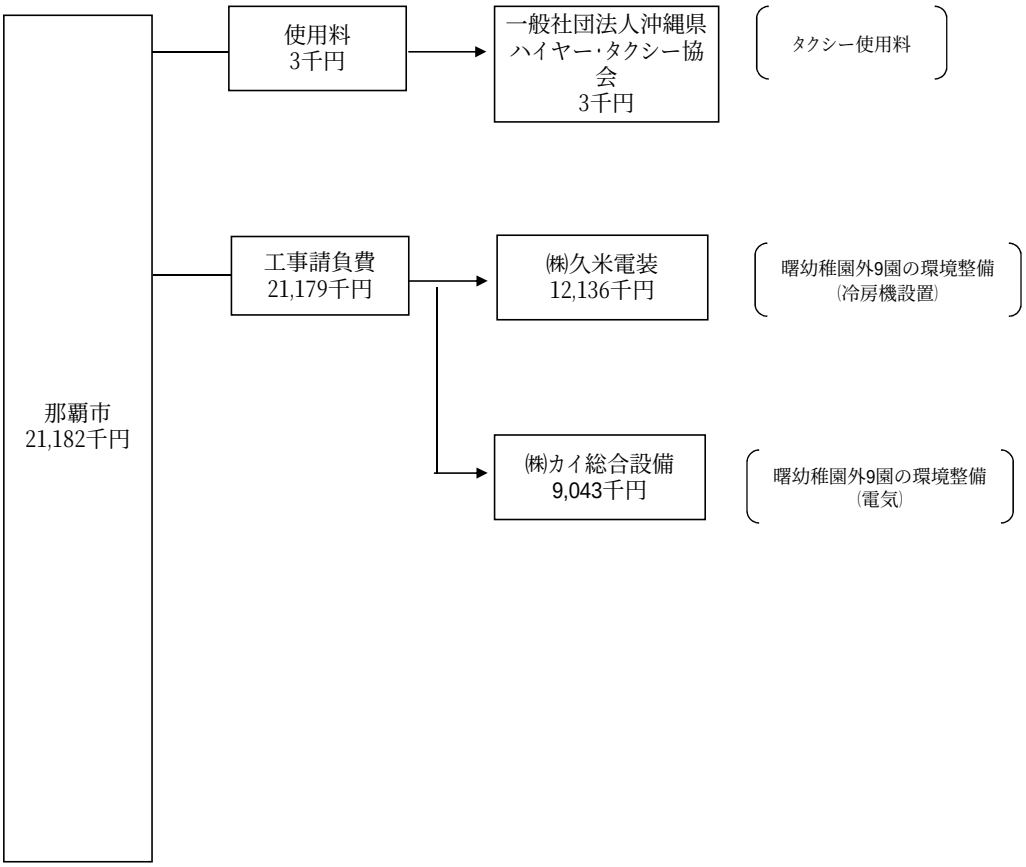
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○冷房機器設置に伴い、園児の活動状況に応じた、効率的･効果的な使用をおこなう。	○園児数の増減により、教室数(学級数）の調整を行うため、冷房設置数の確認、検証を行い効率的な配置計画を行う。

今後の取り組み方針

(今後の展開方針)
H25年度に9園、　H24年度　繰越分として10園を実施。
H26年度に3園実施予定
幼稚園冷房機設置事業は平成26年度で終了。教室の利用状況をみながら検討していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,182	21,182	16,945	4,237	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は、一般競争入札にて決定しており、事業内容と予算規模も適正なものと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-23	小学校施設環境整備事業（冷房設置）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施(予定)年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、小学校施設に冷房機を設置する。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	76,236				
	(c)増減額(b-a)	76,236	0			
	(d)繰越額	－	76,228			
	A．計(b+d)	76,236	76,228			
B．執行済額		7	65,055			
うち交付金充当額		5	52,044			
次年度繰越額		76,228	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	85.3%			

予算の状況の説明	２４年度においては設計業務に時間を要したため、冷房機の設置工事自体を次年度に繰り越すことになった。２５年度に、当初予定していた分の設置が完了した。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
小学校冷房施設整備:21校	目　標	(21校 39教室)	(　)	(　)	(　)
	実　績	21校 39教室			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明	平成24年度分においては、21校39教室の設置を行い、当年度の目標を達成した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(29年度)
小学校冷房施設整備:21校	目　標	(　)	(21校 39教室)	(　)	(　)	(21校 212教室)
	実　績		21校 39教室			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明	平成２４年度分の２１校３９教室の機器設置に向けて取り組み、目標を達成した。

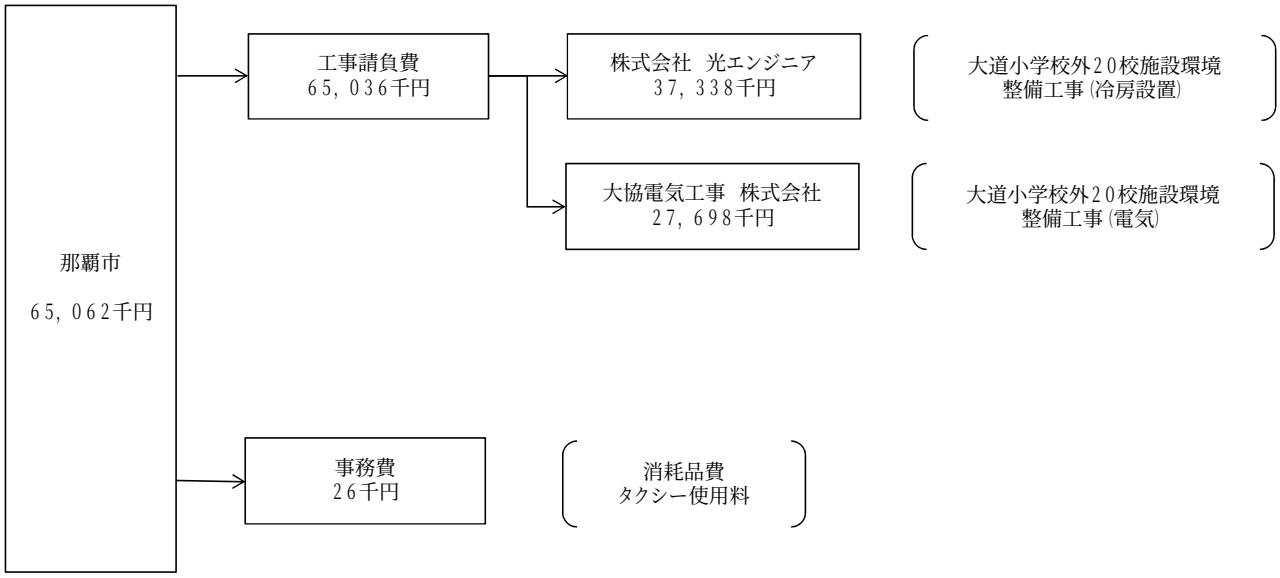
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	冷房機器の設置に伴い、今後、電気容量の不足が考えられるため、受変電設備の改修について、検討を要する。	生徒数の増減により、毎年教室数の調整を行うため、冷房設置数の確認、検証を行い効率的な配置計画を行う。 普通教室の整備計画であり、特別支援室を含めた整備計画の検討を行う。

今後の取り組み方針

（今後の展開方針）　※児童生徒数の増減により整備教室数に変更あり。
H25年度：小学校21校冷房施設整備
H26年度：小学校20校冷房施設整備
H27年度：小学校15校冷房施設整備
H28年度：小学校5校冷房施設整備
H29年度：小学校3校冷房施設整備（予定）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
65,062	65,062	52,049	13,013	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は、一般競争入札にて決定しており、事業内容と予算規模も適正なものと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-24	中学校施設環境整備事業（冷房設置）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施(予定)年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、中学校施設に冷房機を設置する。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0			
	(b)予算現額	17,971	0			
	(c)増減額(b-a)	17,971	0			
	(d)繰越額	－	17,966			
	A. 計(b+d)	17,971	17,966			
B. 執行済額		4	15,813			
うち交付金充当額		3	12,650			
次年度繰越額		17,966	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	88.0%			

予算の状況の説明：２４年度においては、設計業務が完了したものの、時間を要したため、冷房機の設置工事自体を次年度に繰り越すことになった。２５年度に、当初予定していた分の設置が完了した。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
中学校冷房施設整備:5校	目　標	(5校 11教室)	( )	( )	( )
	実　績	5校 11教室			
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明：平成２４年度においては、5校１１教室の設置を行い、当年度の目標を達成した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
中学校冷房施設整備:5校	目　標	(-)	(5校 11教室)	( )	( )	(7校 47教室)
	実　績		5校 11教室			
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明：平成２４年度分の５校１１教室の機器設置に向けて取り組み、目標を達成した。

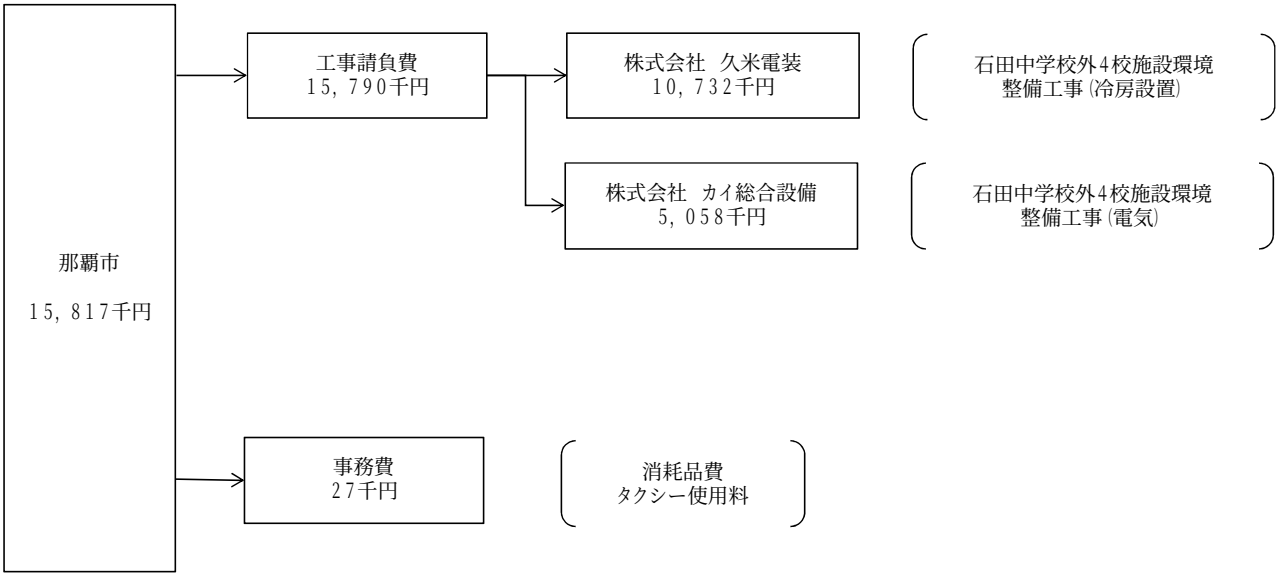
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	冷房機器の設置に伴い、今後、電気容量の不足が考えられるため、受変電設備の改修について、検討を要する。	生徒数の増減により、毎年教室数の調整を行うため、冷房設置数の確認、検証を行い効率的な配置計画を行う。 普通教室の整備計画であり、特別支援室を含めた整備計画の検討を行う。

今後の取り組み方針

（今後の展開方針）　※児童生徒数の増減により整備教室数に変動あり。
H25年度：中学校6校冷房施設整備
H26年度：中学校6校冷房施設整備
H27年度：中学校2校冷房施設整備
H28年度：中学校1校冷房施設整備

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,817	15,817	12,653	3,164	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は、一般競争入札にて決定しており、事業内容と予算規模も適正なものと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-25	幼稚園施設老朽化抑制事業(塩害防止･長寿命化)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、園舎外壁面の塩害防止･長寿命化のための塗装工事を行う。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	－			
	(b)予算現額	32,005	－			
	(c)増減額(b-a)	32,005	0			
	(d)繰越額	－	32,005			
	A. 計(b+d)	32,005	32,005			
B. 執行済額		0	28,727			
うち交付金充当額		0	22,981			
次年度繰越額		32,005	－			
執行率（%）(B/A)		0.0%	89.8%			

予算の状況の説明：･予算残については、ほとんどが入札残である。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
幼稚園園舎等外壁の全面塗装工事	目　標	(　3園　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	3園			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：･平成２４年度繰越分３園について、平成２５年度内で事業完了した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
幼稚園園舎等外壁の全面塗装工事	目　標	(　)	(　3園　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		3園			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：
･平成２４年度繰越分の3園、平成25年度分の4園について平成２５年度内で事業完了した。
･幼稚園施設老朽化抑制事業完了。(平成24年度３園、平成25年度４園、合計７園)

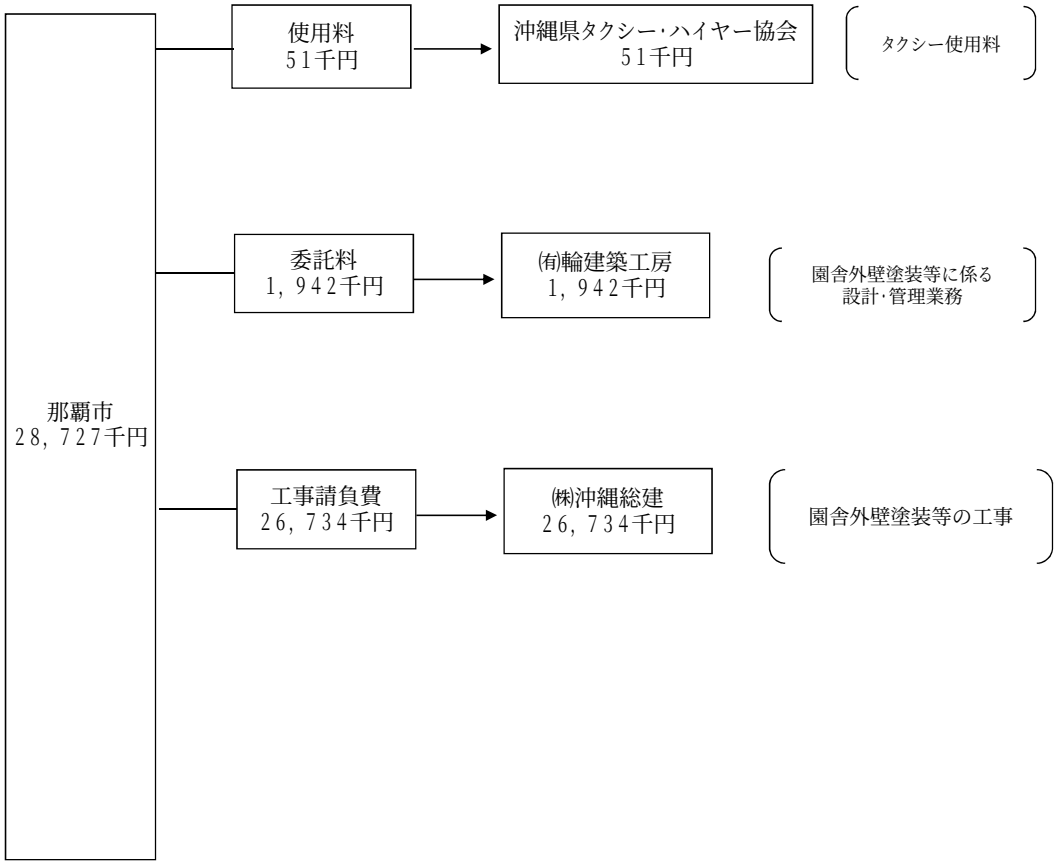
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○幼稚園を運営しながら作業を行う必要があるため、作業時間や作業内容の制約をうけるため、事業の進捗に支障が生じる。	○幼稚園を運営しながらの作業であることを念頭においた作業の配分が求められる。

今後の取り組み方針

○綿密な作業配分の計画を立て、集中作業時の人員確保等に務める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
28,727	28,727	22,981	5,746	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業務委託は指名競争入札、工事請負は一般競争入札にて選定しており、落札額も妥当な範囲と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-26	小学校施設老朽化抑制事業(塩害防止･長寿命化)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容	･塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、小学校校舎外壁面の塩害防止･長寿命化のための塗装対応を行う。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0			
	(b)予算現額	100,675	0			
	(c)増減額(b-a)	100,675	0			
	(d)繰越額	－	98,895			
	A. 計(b+d)	100,675	98,895			
B. 執行済額		1,780	69,656			
うち交付金充当額		1,424	55,724			
次年度繰越額		98,895	0			
執行率（%）(B/A)		1.8%	70.4%			
予算の状況の説明		･平成24年度は、臨時職員の賃金および使用料等のみで、工事費等は平成25年度へ繰越している。予算残のほとんどが入札残と不要額であり、当初計画していた事業内容に変更があったためである。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
小学校校舎等外壁整備:2校(曙小学校、垣花小学校)	目　標	(　2校　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績	1校			
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明
･児童の動線、工事車両搬入などの仮設計画に係る学校側との調整などに不測の日数を要したため、平成24年度内での目標を達成できなかった。そのため、次年度へ予算の繰越を行った。
･平成24年度中に学校側との調整を実施し、平成25年度の設計の結果、曙小学校の工事が想定以上となったため、繰越予算では、曙小学校1校の発注となった。平成25年度内で完了した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
小学校校舎等外壁整備:2校(曙小学校、垣花小学校)	目　標	(　　)	(　2校　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績		1校			
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明
･平成２４年度中に学校側との調整で次年度へ予算の繰越し、平成２５年度中に曙小学校の工事を実施、平成２５年度内で完了した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・足場設置後の打診調査で、設計時の目視調査では確認できなかったコンクリート等の劣化が多数あり、下地補修に想定外の時間を要した。	・事前調査の段階で、可能な限りの打診調査を行ったり、調査機器を使用し調査の精度をあげることで、作業をスムーズに進めることができると思われる。

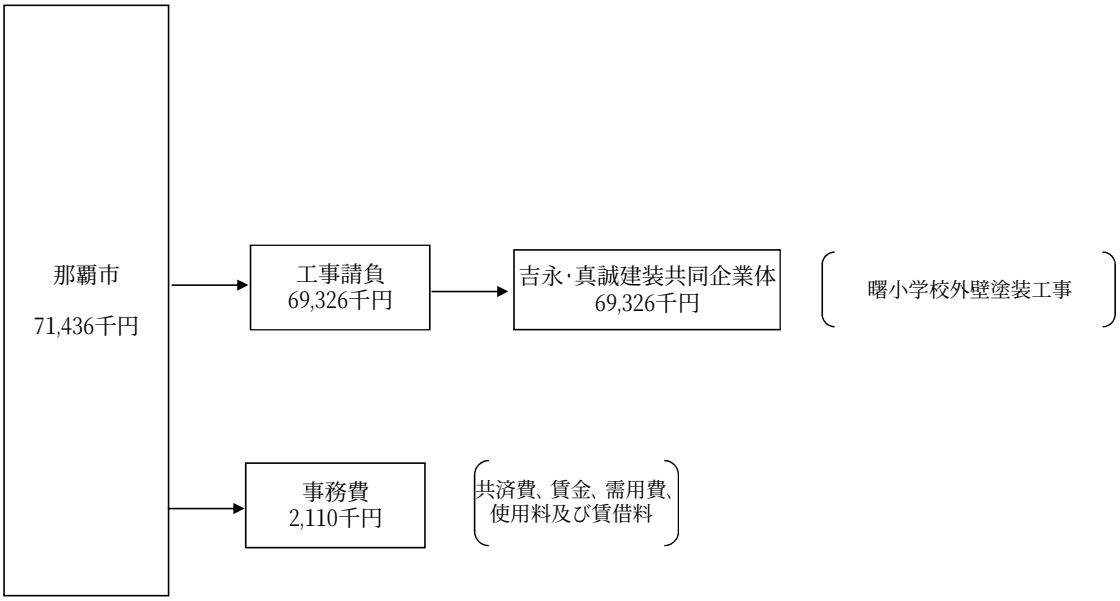
今後の取り組み方針

・今後も学校施設の劣化は進行するため、施設の長寿命化のためにも定期的な点検・調査を行い、適切な時期に全面再塗装を行う。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
71,436	71,436	57,148	14,288	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受託業者は、一般競争入札にて選定しており、落札額も妥当な範囲と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-27	中学校施設老朽化抑制事業(塩害防止･長寿命化)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)
事業内容	･塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、中学校校舎外壁面の塩害防止･長寿命化のための塗装対応を行う。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0			
	(b)予算現額	50,000	0			
	(c)増減額(b-a)	50,000	0			
	(d)繰越額	－	50,000			
	A. 計(b+d)	50,000	50,000			
B. 執行済額		0	38,462			
うち交付金充当額		0	30,769			
次年度繰越額		50,000	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	76.9%			
予算の状況の説明		･予算残については、ほとんどが入札残と不要額である。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
中学校校舎外壁等全面塗装工事:1校(那覇中学校)	目　標	(　1校　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	1校			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明
･児童の動線、工事車両搬入などの仮設計画に係る学校側との調整などに不測の日数を要したため、平成24年度内での目標を達成できなかった。そのため、次年度へ予算の繰越を行った。
･平成24年度中に学校側との調整を実施し、平成25年度内で完了した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
中学校校舎外壁等全面塗装工事:1校(那覇中学校)	目　標	(　)	(　1校　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		1校			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明
･平成２４年度中に学校側との調整で次年度へ予算の繰越し、平成２５年度内で完了した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・足場設置後の打診調査で、設計時の目視調査では確認できなかったコンクリート等の劣化が多数あり、下地補修に想定外の時間を要した。	・事前調査の段階で、可能な限りの打診調査を行ったり、調査機器を使用し調査の精度をあげることで、作業をスムーズに進めることができると思われる。

今後の取り組み方針

・今後も学校施設の劣化は進行するため、施設の長寿命化のためにも定期的な点検・調査を行い、適切な時期に全面再塗装を行う。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
38,462	38,462	30,769	7,693	0

那覇市 38,462千円 → 工事請負 38,462千円 → 株式会社沖縄装美工業38,462千円 （那覇中学校外壁塗装工事）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受託業者は、一般競争入札にて選定しており、落札額も妥当な範囲と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-29	校舎等剥離補修業務事業（小学校）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

塩分規制以前に建築された学校施設は、海砂を用いたことによる塩害等の影響によりコンクリートや鉄筋が劣化し、剥落が多く発生している。そのため、改築までの緊急危険回避のため、剥落や腐食防止などの剥離補修を行う。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（ ）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	67,747				
	(c)増減額(b-a)	67,747	0			
	(d)繰越額	－	67,747			
	A．計(b+d)	67,747	67,747			
B．執行済額		0	28,487			
うち交付金充当額		0	22,789			
次年度繰越額		67,747	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	42.0%			

予算の状況の説明

２４年度においては、学校施設の劣化調査に時間を要したため、補修用予算を次年度に繰り越すこととなった。また、補修用予算は概算での要求であったため、劣化調査の結果から、補修箇所や掛かる経費が当初の想定よりも少なくなったことにより、低い執行率となっている。２４年度分における補修箇所は、すべて補修を完了した。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
小学校剥離補修施設整備：10校	目　標	(10校)	( )	( )	( )
	実　績	7校			
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明

劣化調査の結果及び補修計画の精査（補修ではなく、改築や解体での対応）により、全体的に補修対象校や補修箇所が少なくなった。そのため、当初目標よりも少なくなったが、その外の２４年度分における補修対象校は、すべて補修を完了した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
小学校剥離補修施設整備：10校	目　標	(-)	(10校)	( )	( )	( )
	実　績		7校			
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明

剥離補修を行ったことにより、コンクリート等の落下の危険性が低減。補修計画のとおり２４年度事業は完了した。

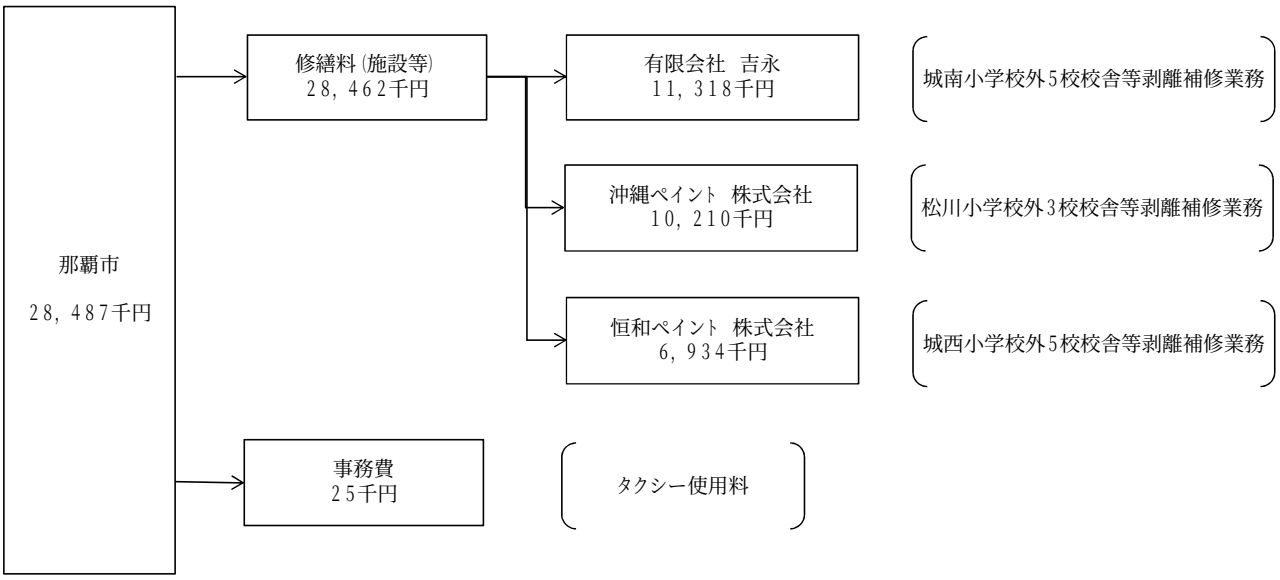
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	補修のための足場設置後の打診調査で、事前調査段階では確認できなかったコンクリート等の浮きが多数見つかった。 また、補修よりも解体や改築を行ったほうが効率的な学校施設もあったため、補修計画の見直しが必要であった。	事前調査の段階で、可能な限り足場を設置して打診調査を行ったり、調査機器を使用し調査の精度をあげることで、より効率的な補修が行えると思われる。 また、想定以上に劣化が激しい場合は、改築計画の前倒しや解体等で対応することも、選択肢の一つとして検討する。

今後の取り組み方針

今後も学校施設の劣化は進行するため、定期的な点検・調査を行い、必要に応じて適切な補修を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
28,487	28,487	22,789	5,698	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は、指名競争入札にて決定しており、適正に執行されていると判断する。 ○予算規模については、当初の予算要求が概算であったため、結果的に過大となった。補修箇所の早期特定が必要であると考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-30	校舎等剥離補修業務事業（中学校）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－５－（３）－ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-３-（１）

事業内容

塩分規制以前に建築された学校施設は、海砂を用いたことによる塩害等の影響によりコンクリートや鉄筋が劣化し、剥落が多く発生している。そのため、改築までの緊急危険回避のため、剥落や腐食防止などの剥離補修を行う。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（ ）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0			
	(b)予算現額	53,562	0			
	(c)増減額(b-a)	53,562	0			
	(d)繰越額	－	53,562			
	A．計(b+d)	53,562	53,562			
B．執行済額			32,977			
うち交付金充当額			26,381			
次年度繰越額		53,562	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	61.6%			

予算の状況の説明

２４年度においては、学校施設の劣化調査に時間を要したため、補修用予算を次年度に繰り越すこととなった。また、補修用予算は概算での要求であったため、劣化調査の結果から、補修箇所や掛かる経費が当初の想定よりも少なくなったことにより、低い執行率となっている。２４年度分における補修箇所は、すべて補修を完了した。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
中学校剥離補修施設整備:5校	目　標	（　5校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	4校			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

劣化調査の結果及び補修計画の精査（補修ではなく、改築や解体での対応）により、全体的に補修対象校や補修箇所が少なくなった。そのため、当初目標よりも少なくなったが、その外の２４年度分における補修対象校は、すべて補修を完了した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
中学校剥離補修施設整備:5校	目　標	（　-　）	（　5校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		4校			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

剥離補修を行ったことにより、コンクリート等の落下の危険性が低減。補修計画のとおり２４年度事業は完了した。

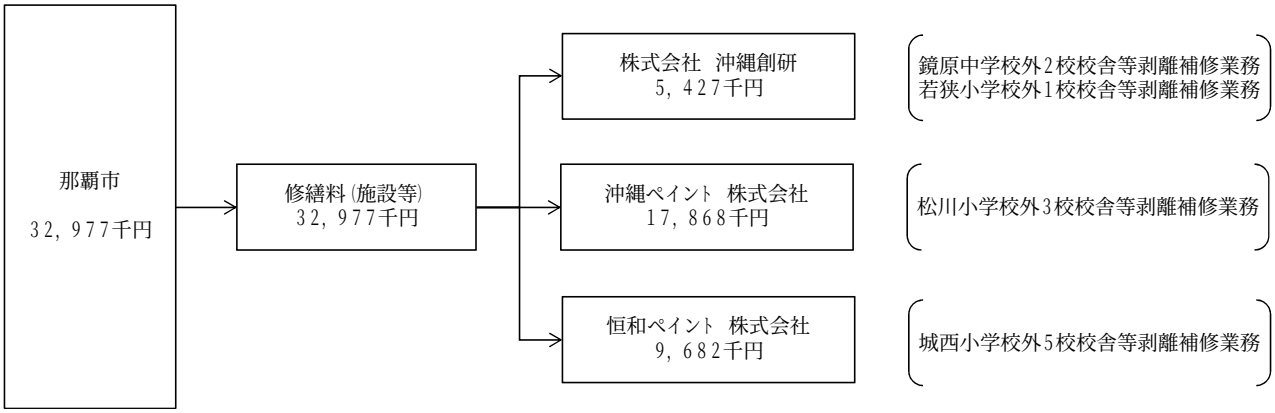
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	補修のための足場設置後の打診調査で、事前調査段階では確認できなかったコンクリート等の浮きが多数見つかった。 また、補修よりも解体や改築を行ったほうが効率的な学校施設もあったため、補修計画の見直しが必要であった。	事前調査の段階で、可能な限り足場を設置して打診調査を行ったり、調査機器を使用し調査の精度をあげることで、より効率的な補修が行えると思われる。 また、想定以上に劣化が激しい場合は、改築計画の前倒しや解体等で対応することも、選択肢の一つとして検討する。

今後の取り組み方針

今後も学校施設の劣化は進行するため、定期的な点検・調査を行い、必要に応じて適切な補修を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
32,977	32,977	26,381	6,596	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は、指名競争入札にて決定しており、適正に執行されていると判断する。 ○予算規模については、当初の予算要求が概算であったため、結果的に過大となった。補修箇所の早期特定が必要であると考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-④	島クトゥバ継承･普及小冊子製作事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	学校教育部　学校教育課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、島クトゥバ継承･普及小冊子を製作し、市内小中学校の児童･生徒に配布して、学校及び家庭での積極的な活用を推進する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	9,860	－			
	(b)予算現額	9,860	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	9,860			
	A．計(b+d)	9,860	9,860			
B．執行済額		0	9,853			
うち交付金充当額		0	7,882			
次年度繰越額		9,860	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	99.9%			
予算の状況の説明		作成する小冊子内容の検討にあたり、有識者から記載する方言の種類の拡大意見があり、記載項目についての調査･研究等、その調整に不測の日数を要したことから、小冊子製作に係る業務委託料9,860千円を次年度に繰越した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
しまくとぅば普及小冊子配付数	目　標	(　34,000冊　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	34,000冊			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：プロポーザル方式により、低学年用(小1～小4向け)15,000冊、高学年用(小5～中学生向け)19,000冊、計34,000冊の島くとぅば継承･普及小冊子『使って遊ぼうしまくとぅば～ちかてぃ あしばな しまくとぅば～』」(A5サイズ、各70ページ)を製作し、平成25年8月末に市内小中学校に配付した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
しまくとぅば普及小冊子配付数	目　標	(　0冊　)	(　34,000冊　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		34,000冊			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：プロポーザル方式により、低学年用(小1～小4向け)15,000冊、高学年用(小5～中学生向け)19,000冊、計34,000冊の島くとぅば継承･普及小冊子『使って遊ぼうしまくとぅば～ちかてぃ あしばな しまくとぅば～』」(A5サイズ、各70ページ)を製作し、平成25年8月末に市内小中学校に配付した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・沖縄文化の基層であり文化遺産として歴史的な価値を有する“しまくとぅば”については、沖縄県においても、平成25年9月に「「しまくとぅば」普及推進計画」、同月「前期「しまくとぅば」普及推進行動計画」が策定されるなど、関心が高まっている。 ・このような中、児童生徒が日常生活の中でしまくとぅばに接する機会を創出し、愛着を育むことが求められている。 ・小冊子配布後の平成26年1月末現在時点で、小中学校における小冊子活用状況を調査した結果、ほとんどの学校で活用がなされていた。	・今後も継続して小冊子を増刷し、引き続きしまくとぅばの啓発・普及に努める必要がある。 ・教職員に対する教育プログラムの工夫や学習機会の提供などの働きかけが必要である。

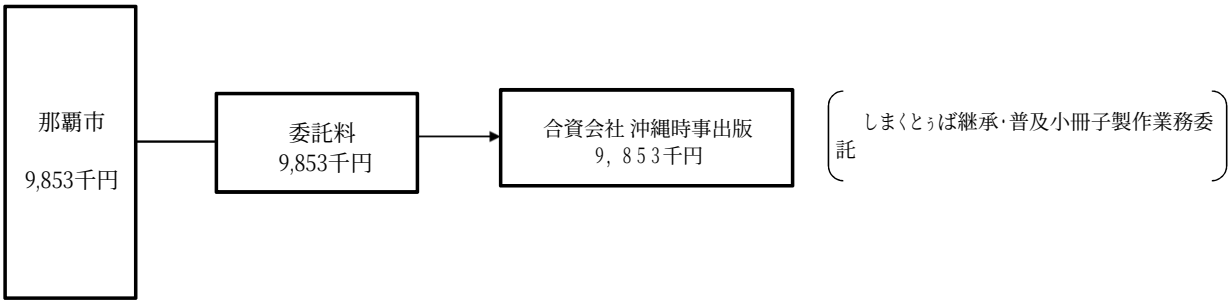
今後の取り組み方針

・平成26年度以降については、新1年生（低学年用）及び新5年生（高学年用）向けに小冊子の増刷を行う。

・沖縄県における取組とも連携をはかる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,853	9,853	7,882	1,971	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先・予算規模・費目・使途については、公募型プロポーザル方式により、提案内容（6社）を比較検討し精査した上で委託事業者を選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑩	郷土資料整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-エ
					文化の発信･交流
担当部課名	生涯学習部　中央図書館	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)

事業内容

･沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、郷土関係資料購入し充実を図る。沖縄関係、地元出版の図書を豊富にそろえることで、沖縄に関する質の高い情報を観光客を含めた利用者へ提供し活用を図る。
･「琉米文化会館」資料として引き継いだ映像資料である16ミリフィルムのＤＶＤ化を行い利活用の促進を図る。

実施方法　■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	73,300				
	(b)予算現額	73,300				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	69,300			
	A. 計(b+d)	73,300	69,300			
B. 執行済額		4,000	56,243			
うち交付金充当額		3,200	44,994			
次年度繰越額		69,300	0			
執行率（%）(B/A)		5.5%	81.2%			

予算の状況の説明：郷土関係資料を購入完了し市民へ貸し出しを行っているが、16ミリフィルムのＤＶＤは当初の予想以上にフィルムの劣化がひどく、そのためＤＶＤ化が遅れて次年度繰り越しになった。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･16ﾐﾘﾌｨﾙﾑのDVD化　295本	目　標	（　DVD化295本　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	294本			
･郷土関係資料の購入及び貸出	目　標	（　2000冊購入　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1007冊購入 延べ863点貸出			

達成状況説明：
･16ミリフィルムのＤＶＤ化はフィルムの劣化がひどくそのためＤＶＤ化が遅れた。　また、1本は修復不能であった。
･郷土関係資料の購入は順調であったが、目標冊数の購入はできなかった。発行部数が少なく大量出版していない資料が多く、一冊あたりの単価が想定より高額となったためである。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
16ﾐﾘﾌｨﾙﾑのDVD化　295本	目　標	（　無　）	（　295本　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		294本			
･郷土関係資料約2,000点の購入及び貸出	目　標	（　無　）	（2000冊購入）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1007冊購入 延べ863点貸出			

進捗状況説明：
･ＤＶＤに関しては、平成25年度完成のため24年度の貸出はないが、多くの郷土関係資料を貸出できた。
･郷土関係資料は発行部数が少なく大量出版していない資料が多いため、一冊あたりの単価が想定より高額となった。

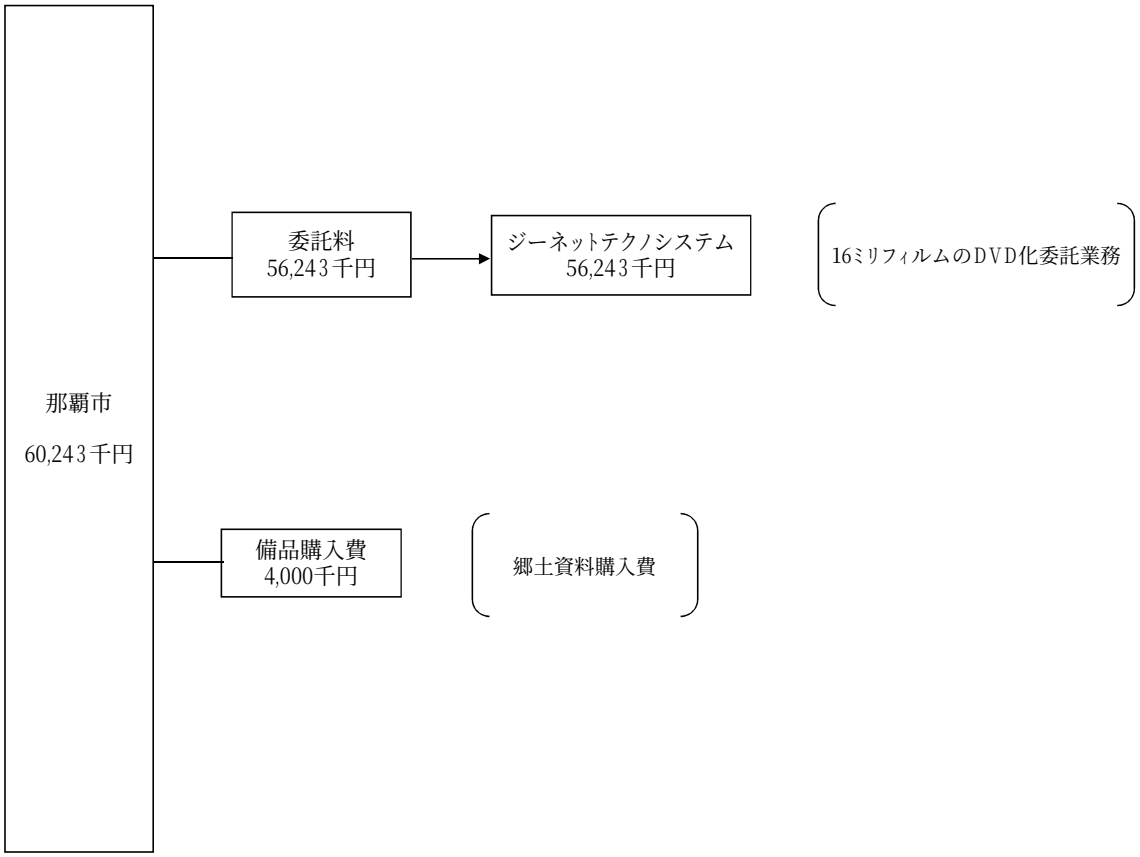
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・DVDも郷土関係資料も大人だけではなく、生徒・児童にも広めていく必要がある。	・郷土関係資料は、郷土に特化した資料であるがゆえ、その利用価値を広めていくことが更なる利用数を増やしていくことが重要である。そのためには図書館としての広報のあり方を考えていく必要がある。

今後の取り組み方針

郷土関係資料は大人だけではなく、児童・生徒にも利用しやすい広い範囲の資料を揃えていくことが必要である。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
60,243	60,243	48,194	12,049	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	DVD化の委託業者は入札によるものであり妥当であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑫	琉球国王「王冠」複製事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	市民文化部　文化財課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	歴史博物館で保存している国宝指定の尚家資料の象徴である王冠の複製品を作成し展示する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0			
	(b)予算現額	19,467	0			
	(c)増減額(b-a)	19,467	0			
	(d)繰越額	0	19,160			
	A. 計(b+d)	19,467	19,160			
B. 執行済額		152	19,160			
うち交付金充当額		121	15,328			
次年度繰越額		19,160	0			
執行率（%）(B/A)		0.8%	100.0%			
予算の状況の説明		王冠の複製品作製に際し、有識者からの意見により、専門機関での採寸調査及びX線解析することとなり、その調整に不測の日数を要した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「王冠」複製品の作成	目　標	（　複製品の完成　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	複製品の完成			
複製品展示 展示広報	目　標	（　展示 広報　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	なし			

達成状況説明：当初の計画では、平成24年3月に完成予定であったが、王冠の複製品作製に際し、有識者からの意見により、専門機関での採寸調査及びX線解析することとなり、その調整に不測の日数を要した。王冠の複製品は、平成26年3月に完成。年度内での展示広報ができなかった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
「王冠」複製品の作成 複製品展示 展示広報	目　標	（　）	（複製品の完成 展示･広報）	（　）	（　）	（　）
	実　績		複製品の完成			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成26年3月に「王冠」複製品完成。

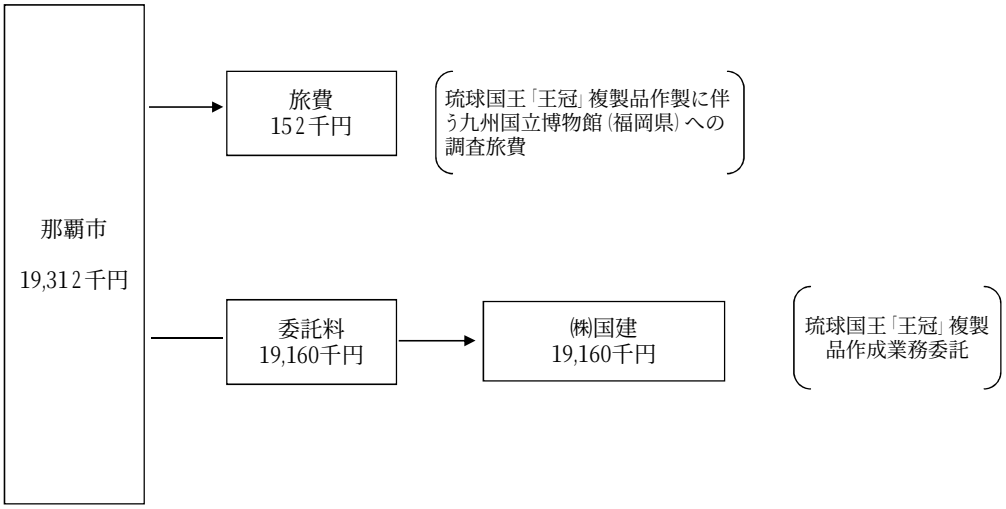
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	完成した「王冠」の複製品展示活用。	完成した「王冠」の複製品の展示計画及び、教育普及用の王冠の活用方法について検討し、歴史博物館への誘客促進を図る。

今後の取り組み方針

完成した「王冠」の複製品の展示及び、教育普及用の王冠を活用し、本市の魅力ある文化遺産を紹介する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,312	19,312	15,449	3,863	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、一般競争入札により業者選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑬	文化芸術発信拠点施設整備事業(壺屋焼物博物館)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ウ 文化活動を支える基盤の形成
担当部課名	市民文化部　文化財課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)

事業内容	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、壺屋焼物博物館の空調設備を改修し、観光施設としての機能強化を図る。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	49,439				
	(b)予算現額	49,439				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	―	48,263			
	A. 計(b+d)	49,439	48,263			
B. 執行済額		1,176	32,122			
うち交付金充当額		940	25,698			
次年度繰越額		48,263				
執行率（%）(B/A)		2.4%	66.6%			
予算の状況の説明		・不要額16,141千円は、主に工事監理委託の執行残額(290千円)、工事請負入札による執行残額(15,834千円)である。当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・基本設計の策定	目　標	(　設計完了　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	設計完了			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明
・実施設計の策定(h24年度中)
・空調機器取替工事実施完了(h25年度中)

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
文化発信拠点(壺屋焼物博物館)整備に係る基本設計の策定	目　標	(　)	(　設計完了　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		設計完了			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明
・実施設計の策定(h24年度中)
・空調機器取替工事実施完了(h25年度中)
・空調機器の更新により、展示資料及び収蔵資料を、より良好な環境で整理保管することができ、今後長期にわたり安定して貴重な資料群を展示公開することができる。

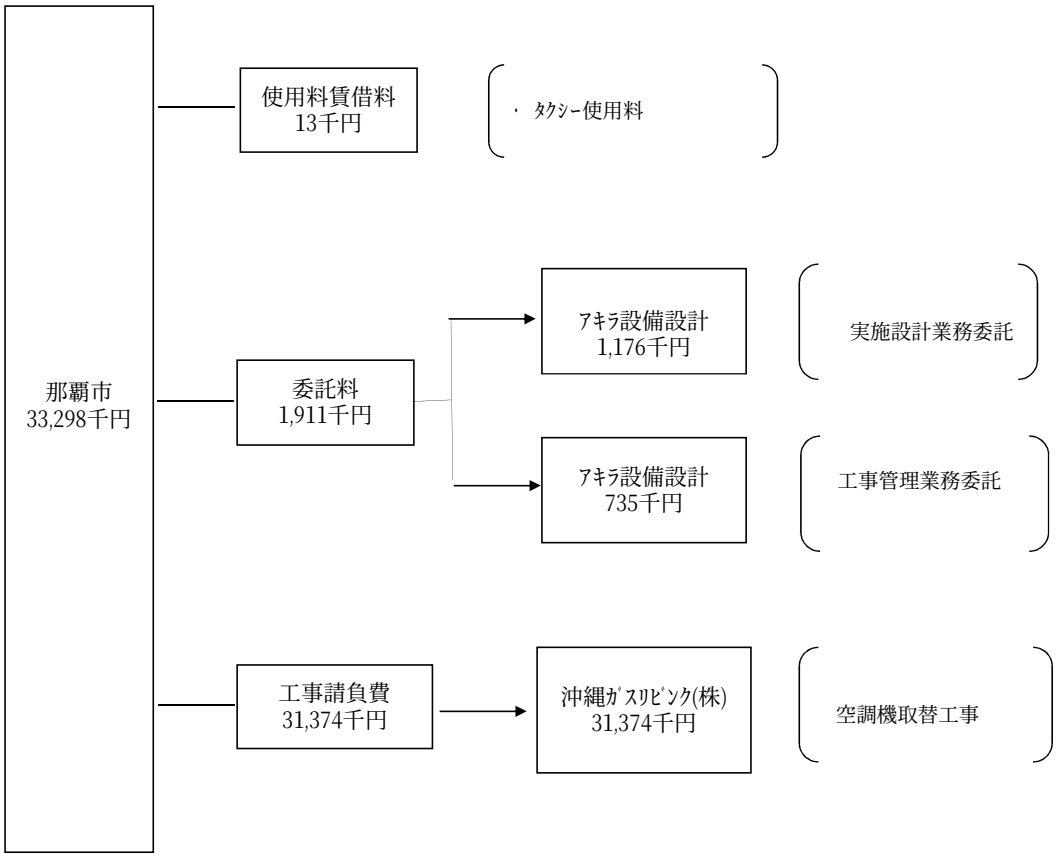
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・設置した空調機器の保守管理	・設置した空調機器が長期にわたり安定して稼動するための保守管理

今後の取り組み方針

・設置した空調機器が長期にわたり安定して稼動するため機器の保守管理維持を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
33,298	33,298	26,638	6,660	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は、実績、知識等においても妥当であったと考える。 ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-⑭	文化芸術発信拠点施設整備事業（パレット）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ウ 文化活動を支える基盤の形成
担当部課名	市民文化部　文化振興課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	沖縄振興に資する文化発信拠点としてパレット市民劇場、パレット市民ギャラリーの改修を行い、文化発信拠点として機能強化を図る。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	112,058				
	(c)増減額(b-a)	112,058	0			
	(d)繰越額	－	25,685			
	A．計(b+d)	112,058	25,685			
B．執行済額		77,304	24,165			
うち交付金充当額		61,843	19,332			
次年度繰越額		25,685	0			
執行率（%）(B/A)		69.0%	94.1%			
予算の状況の説明		音響設備の再構築の必要性から工法の見直しを行ったため一部繰り越しとなった。 計画通り事業を実施し、活動目標･成果目標を達成した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
パレット市民劇場、パレット市民ギャラリーの施設整備を行う	目　標	（パレット市民劇場の施設整備）	（　）	（　）	（　）
	実　績	パレット市民劇場の施設整備			
	目　標	（パレット市民ギャラリーの施設整備）	（　）	（　）	（　）
	実　績	パレット市民ギャラリーの施設整備			
達成状況説明	パレット市民劇場は、音楽に特化したホールとしてブランディングが進んでいるため、利用者のニーズに応えるために音響設備の機能強化整備工事を完了した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
パレット市民劇場、パレット市民ギャラリーの施設整備	目　標	（　）	（パレット市民劇場の施設整備）	（　）	（　）	（　）
	実　績		パレット市民劇場の施設整備			
【参考指標】	目　標	（　）	（パレット市民ギャラリーの施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		パレット市民ギャラリーの施設整備			
進捗状況説明	現在、工事完了後、期間が経過していないため、集客率の増加には繋がっていないが、今後利用者への周知により利用率の向上が期待できる。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	機器の経年劣化 時代に即さない機器の混在 音響機器のデジタル化を行った	設備の点検を行い更新可能な機器を選定する

今後の取り組み方針

更新が必要な機器を更新し、施設の機能強化につなげる

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
101,469	101,469	81,175	20,294	

- 那覇市 101,469千円
  - 工事請負費 80,775千円
    - (株)興洋電子 24,165千円（音響卓改修工事）
    - 三精輸送㈱九州営業所 43,491千円（舞台機構改修工事）
    - (有)よしの商会 1,659千円（舞台幕取換改修工事）
    - ㈱ホット沖縄 5,040千円（客席改修工事）
    - 光洋電気商会 4,095千円（楽屋トイレバリアフリー対策工事）
    - (有) 沖縄ホーチキサービス 1,048千円（誘導灯改修工事）
    - (有) スタプランニング 1,277千円（ギャラリーカーペット改修工事）
  - 需用費 129千円
    - 丸正印刷㈱ 129千円
  - 役務費 386千円
    - ㈱琉球新報開発 168千円
    - 沖縄タイムス 168千円
    - (株)島ピアノセンター 50千円
  - 委託料 500千円
    - (株)島ピアノセンター 500千円（記念コンサート業務委託）
  - 備品購入費 19,679千円
    - (株)島ピアノセンター 19,679千円（グランドピアノ購入）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	工事請負業者は業務内容及び実績等を勘案した上で指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-①	認可外保育施設の環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	こどもみらい部　こどもみらい課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(4)
事業内容	米軍統治下で整備が遅れた保育環境に対応した子育て施策の拡充を行うため、県の補助対象外となっている市内認可外保育施設の改修費に対して補助を行う。				
実施方法	■直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	25,000				
	(b)予算現額	50,499				
	(c)増減額(b-a)	25,499	0			
	(d)繰越額	－	34,369			
	A．計(b+d)	50,499	34,369			
B．執行済額		16,024	34,368			
うち交付金充当額		12,819	27,494			
次年度繰越額		34,369	－			
執行率（%）(B/A)		31.7%	100.0%			
予算の状況の説明		本交付金による補助金は、平成25年3月末日までに支払いを完了しないといけなかったが、補助金交付対象者(認可外保育施設)と改修工事施工者において、改修方法や時期の調整に時間がかかり、3月上旬までに工事が完了できないことから、事務処理のスケジュール上、34,368千円が翌年度支払いとなった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
施設改修等による保育環境の整備	目　標	(16園)	( )	( )	( )
	実　績	16園			
【参考】衛生消毒及び害虫駆除を実施する認可外保育施設	目　標	(90園)	( )	( )	( )
	実　績	58園			

達成状況説明

・施設改修等については、繰越はあったが16施設の改修を行った。
・認可外保育施設の衛生消毒及び害虫駆除については、90施設の58施設で実施し、目標の64%を達成した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
認可外保育施設改修件数	目　標	( )	(16園)	( )	( )	( )
	実　績		16園			
衛生消毒及び害虫駆除を実施する認可外保育施設割合	目　標	( )	(64%)	( )	( )	( )
	実　績		64%			

進捗状況説明

指導監督基準維持継続事業(施設改修)については、年度内の支払いに間に合わせることができなかった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	【指導監督基準維持継続事業】 ○施設整備が困難な認可外保育施設は、改修箇所が多く、快適な保育環境づくりの改修では優先順位や修繕内容等の検討に工夫が必要である。 ○本事業にて、ﾄｲﾚ等水周り箇所、床の張替え等大掛かりな改修が出来るものの、不慣れな契約事務について課題も多い。 【衛生環境向上事業】 ○施設長が衛生環境の維持について管理が必要との認識がない場合も多いが、本事業の実施により、専門業者による指摘、アドバイス等受ける事で、環境維持、継続実施の意義について少しづつであるが理解が得られるようになった。	【指導監督基準維持継続事業】 ○効果的な予算執行の観点から業者選択、契約事務について、合同入札の実施など検討の余地がある。 【衛生環境向上事業】 ○保育環境（衛生環境）の重要性を理解し、保育環境として継続できるよう施設側を指導する必要がある。

今後の取り組み方針

【指導監督基準維持継続事業】
○立入調査等で指導、助言を行った箇所について改善を勧め、施設の設置者と十分な協議を行うこと。

【衛生環境向上事業】
○立入調査等で指導、調整をしながら、害虫防除委託業者と事前の生息調査結果に基づく手法を検討すること。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
56,582	50,392	40,313	10,079	6,190

那覇市
50,392千円

- 委託料 1,785千円 — 沖縄サニタリー(株) 1,785千円（認可外保育施設の衛生消毒及び害虫駆除）
- 補助金 47,500千円 — MOA沖縄幼児学園 3,212,615円／ｵｷﾅﾜｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｽｸｰﾙ 2,039,174円／かねしま保育園 3,804,750円／くまのこ保育園 3,699,825円／こざくら保育園 1,205,157円／城保育園 4,270,915円／楚辺すみれ保育園 3,410,500円／たつのこ保育園 3,415,030円／ペリー保育園 4,560,000円／ももやま保育園 4,750,000円／愛心学園 2,294,250円／沖縄産業支援センター内保育園 617,500円／城下保育園 1,895,978円／大地ギルフォード保育園 216,600円／童夢幼児園・保育園 4,750,000円／なかいま保育園 3,356,881円
  （指導監督基準を満たした証明書交付園の更なる保育環境向上のため、既存施設の施設改修費を一部補助）
- 臨時職員（賃金、共済費） 1,107千円

（施設自己負担（交付対象外経費）6,190千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により選定し、妥当であったと考えている。 ○認可外保育施設には施設整備に関する公的支援がほとんどなく、認可外に対する他の事業補助の事例、財政負担の面から、事業費の1割という負担割合は妥当だと判断する。 ○予算規模は事業内容に見合ったもので、真に必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9-③	外国人向け情報多言語化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－4－(1)－イ 世界と共生する社会の形成
担当部課名	総務部　平和交流・男女参画課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－7
事業内容	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、外国人向けに本市HPを多言語化して情報発信を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,800	-			
	(b)予算現額	1,800	-			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	1,800			
	A. 計(b+d)	1,800	1,800			
B. 執行済額		0	1,797			
うち交付金充当額			1,437			
次年度繰越額		1,800	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	99.8%			
予算の状況の説明		在住外国人へ提供する情報の選定にあたり、有識者から情報範囲の拡大の意見があり、その調整に不測の日数を要したため全額次年度に繰り越した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
本市HPの生活情報多言語化整備	目　標	（3ヶ国語への翻訳）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3ヶ国語への翻訳			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：行政情報誌「市民便利帳」のうち、外国人に必要と思われる情報の3ヶ国語への翻訳がH26.3.7に完了した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
本市HPの生活情報多言語化整備	目　標	（　）	3ヶ国語への翻訳	（　）	（　）	
	実　績		3ヶ国語への翻訳			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：行政情報誌「市民便利帳」のうち、外国人に必要と思われる情報の3ヶ国語への翻訳がH26.3.7に完了し、それをもとに平成26年度以降は市ホームページの多言語ページの作成(H26.5.26完了)及び管理を行う。

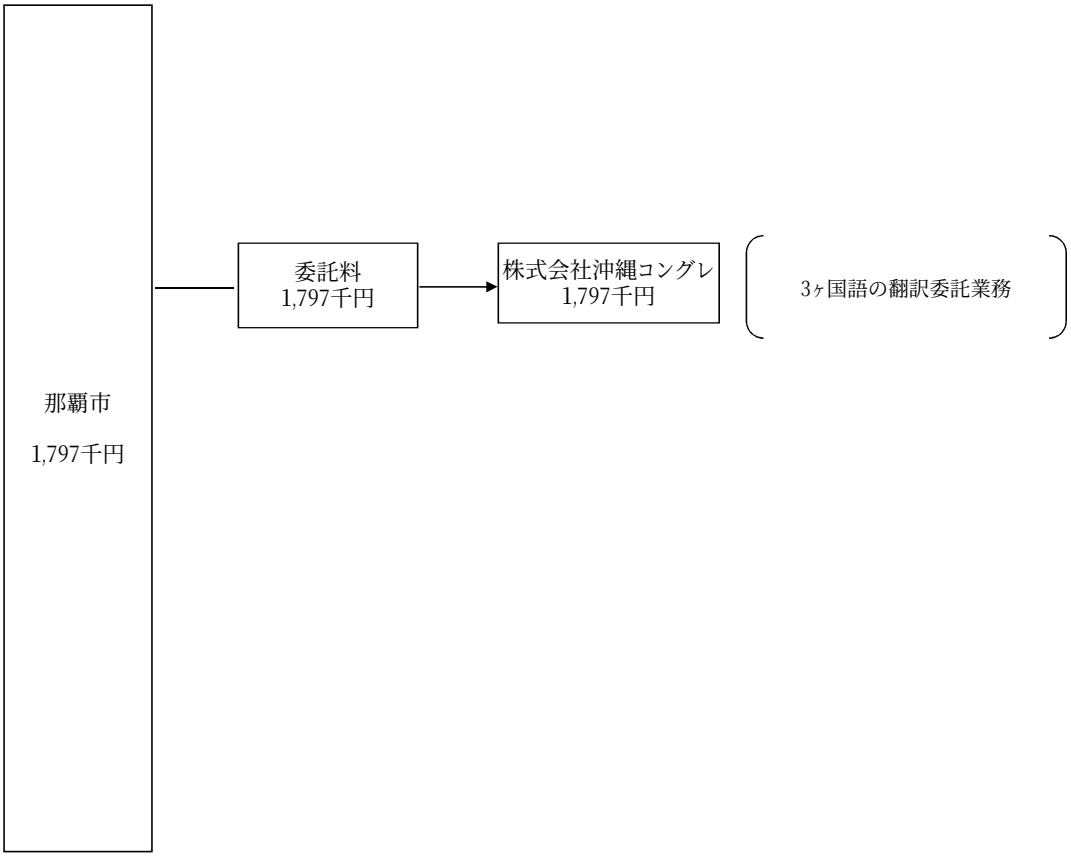
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・対象となる外国人にとって、利用しやすい整備環境となっているか確認する。 ・情報の更新など、今後の管理方法について検討する必要がある。 ・翻訳文書について、範囲を広げ有効活用できないか検討する。	・ページの閲覧数などから、整備方法について検証を進めていく。 ・情報の更新やページ管理の体制を整える。 ・冊子版を作成し窓口配付するなど、HP以外のツールも検討し翻訳文書を有効活用する。

今後の取り組み方針

那覇市在住の届出外国人は、中国・台湾を中心におよそ2,000人以上登録されている。日本語の理解が困難な外国人市民に対して、生活に必要な情報を提供する必要があることから、多言語ページの情報更新や管理を徹底し、外国人も住みやすい多文化共生のまちづくりを目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,797	1,797	1,437	360	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、事業実績等を条件とした制限付競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成のため必要不可欠な翻訳委託のみであり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	11-②	「Okinavita(オキナヴィータ)」動画コンテンツ制作及び配信システム構築事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－(12)－ア
					観光リゾート産業の振興
担当部課名	企画財務部　情報政策課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－９

事業内容

県都･那覇の持つ情報発信力等を活用し離島の振興発展を支援するため、市町村共同利用型ポータルサイトに、本市と船舶航路で結ばれている離島３島の観光･自然体験をテーマとした紹介用動画を制作実装する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	14,771				
	(b)予算現額	23,745				
	(c)増減額(b-a)	8,974	0			
	(d)繰越額	－	8,974			
	A．計(b+d)	23,745	8,974			
B．執行済額		14,770	8,904			
うち交付金充当額		11,816	7,123			
次年度繰越額		8,974	－			
執行率（%）(B/A)		62.2%	99.2%			

予算の状況の説明：当初関連市町村との導線が描かれた自治体動画コンテンツを作成したが、より那覇市の観光振興のために特化した動画を作成し年間を通した撮影を行うため、増額補正により繰越事業とした。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
動画コンテンツ制作掲載(1市町村2コンテンツ×6市町村)	目　標	6市町村×2動画コンテンツ掲載	（　）	（　）	（　）
	実　績	6市町村×2動画コンテンツ掲載 4動画コンテンツ			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：目標であったOkinavita連携6市町村分の動画コンテンツ(1市町村あたり2本の動画コンテンツ)の制作、及び動画コンテンツ配信システムの実装を達成することができた。

H25年度9月までに4動画コンテンツ追加を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
Okinavita閲覧者数(PV数)	目　標	(437,000PV)	(500,000PV)	（　）	（　）	（　）
	実　績		685,000PV			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：動画コンテンツ配信時期にOkinavita自体のサイトリニューアルも重なったため、PV数が目標値を上回る結果となった。

H25年度年間閲覧者数(PV数)：1,135,000PV

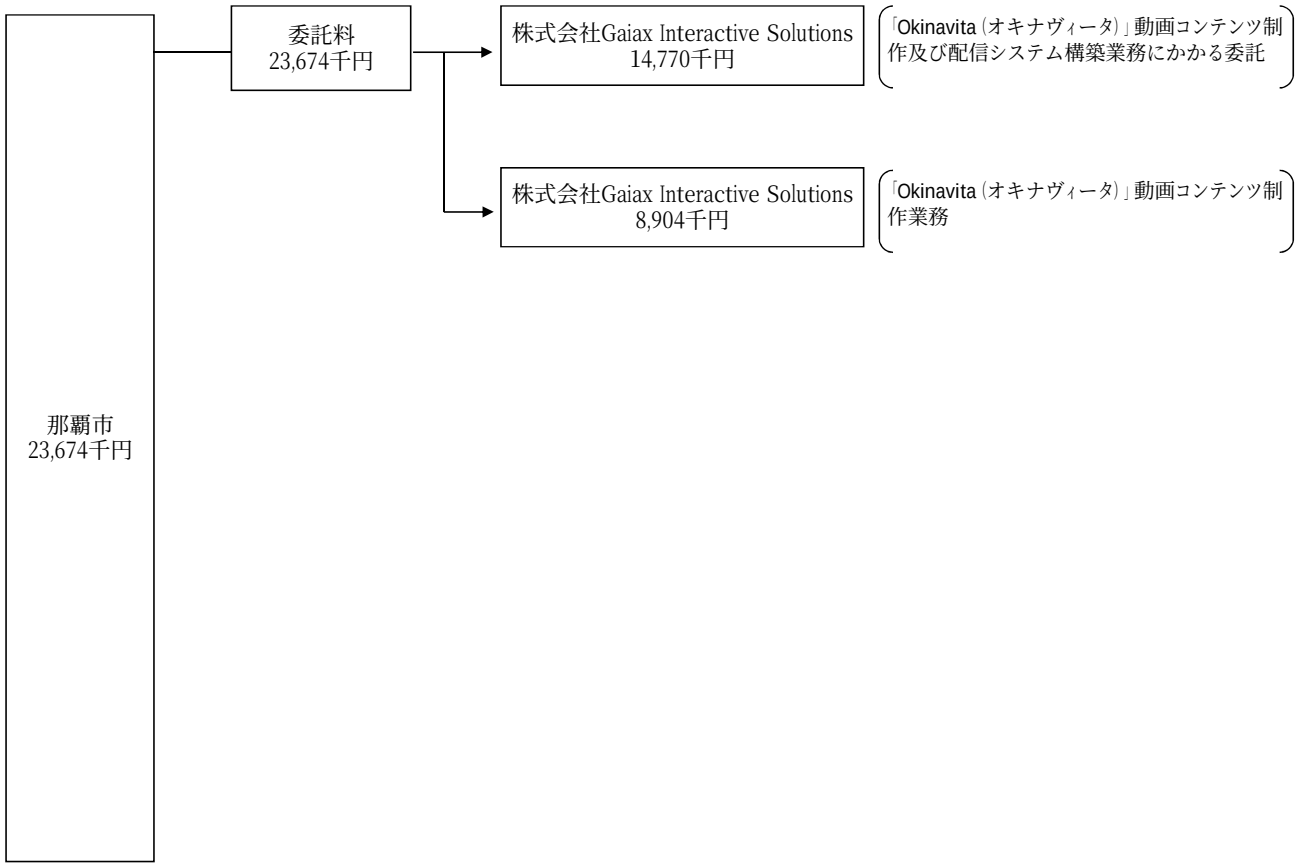
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・Okinavita閲覧者数(PV数)の増加を目標(指標)としていたが、動画コンテンツ配信時期にOkinavita自体のサイトリニューアルが重なった。これらによる相乗効果によってPV数が目標値を上回る結果となった	・PV数の大幅な増加が現れているためさらなる魅力的なコンテンツの拡充を目指していく

今後の取り組み方針

Okiavitaは民間事業者運営による共同利用型市町村情報発信サイトであり、他市町村作成の動画コンテンツ登載など、継続的なコンテンツの活用を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,674	23,674	18,939	4,735	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○動画コンテンツ制作及び配信システム構築業務委託に関しては、Okinavitaの運用事業者と随意契約を行い妥当である。 ○動画コンテンツ制作業務委託に関して、プロポーザル方式による選定を行い妥当である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのであることが、契約および検査により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-④	EV、PHV、ハイブリッド･電動ごみ収集車等導入事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－(3)－ア 地球温暖化防止対策の推進
担当部課名	環境部　クリーン推進課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)
事業内容	環境負荷の低減による環境共生都市の実現のため、環境意識啓発のラッピングを行ったEV、PHV、ハイブリッド･電動ごみ収集車等を導入した。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	203,715				
	(b)予算現額	203,715				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	203,715			
	A. 計(b+d)	203,715	203,715			
B. 執行済額		0	186,414			
うち交付金充当額		0	149,131			
次年度繰越額		203,715	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	91.5%			
予算の状況の説明		当該予算は平成24年度11月補正(第5号)で予算化したものであるが、塵芥車両等は特種車両のため、納期に半年以上を要するほか、EV車に必要な充電設備設置工事の設計委託の調整等に時間を要したため、平成25年度へ事業を繰り越した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
環境負荷低減型(EV、PHV、HV等)車両の導入	目　標	(　19台　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	19台			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				
達成状況説明	電動式塵芥車８台をはじめ、EV車等環境負荷低減型の車両を１９台導入した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
環境負荷低減型(EV、PHV、HV等)車両の導入率	目　標	(　28%　)	(　61.40%　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		61.40%			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					
進捗状況説明	環境負荷低減型車両、既存16台に、今回導入車両19台を加えると、全体車両台数57台に対し、目標であった導入率｛(16＋19)/57｝=61.4%を達成した。					

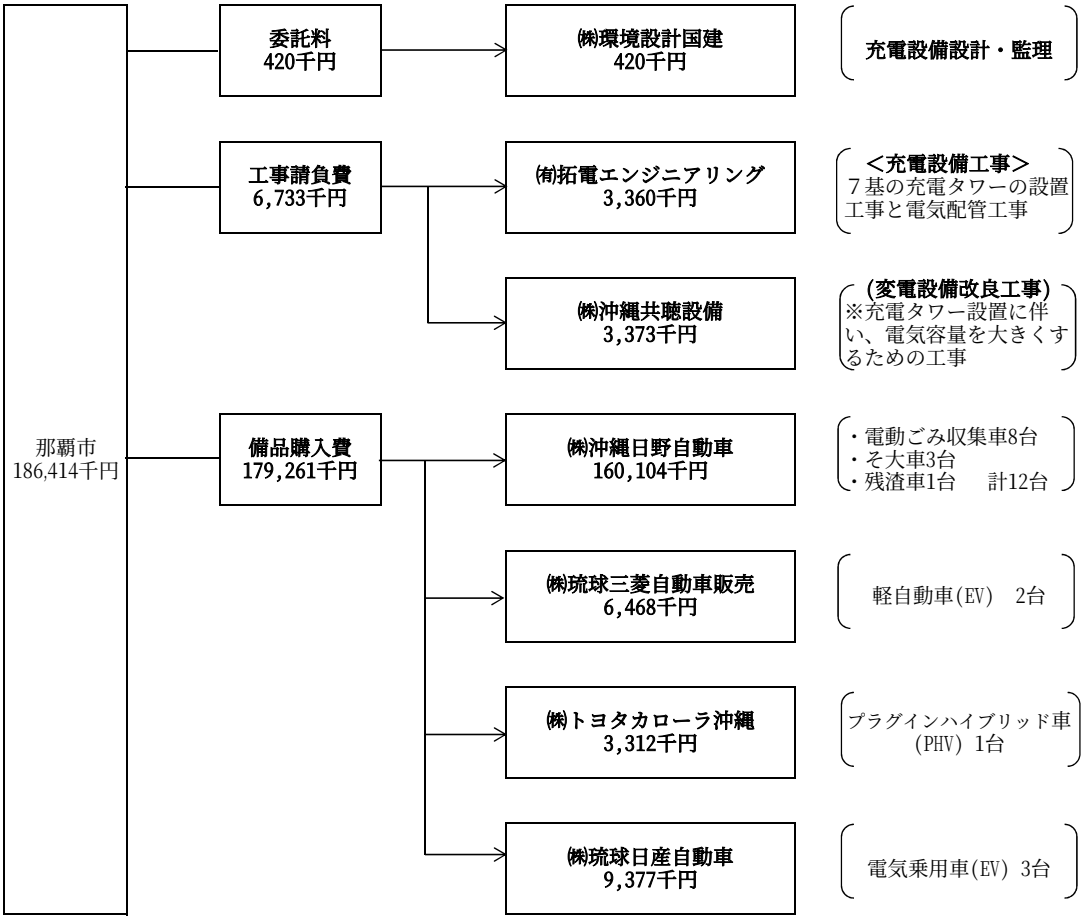
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	電動ごみ収集車8台を含め計18台のEVまたは、ハイブリッド車を導入できたとはいえ、環境負荷低減型車両は全体の半分でしかない。CO2排出量の削減に大きく寄与するためには、さらなる車両の切り替えが必要である。しかし、一度に切換えすることは困難なため、計画的に切換えしていく必要がある。	直営保有車両のうち、塵芥収集車（パッカー車）、及び資源車、そ大車等についてはほぼ、ハイブリッド車となり、現段階で最大限に環境に配慮した仕様となっており、CO2排出量の削減にも大いに寄与していると思われるが、軽ダンプ車については、ハイブリッド等仕様車がないため、その調達には自動車業界に期待するほかないが、今後とも塵芥収集車両の導入には、常に環境負荷低減を目標とする考えである。

今後の取り組み方針

環境への配慮･負担軽減を謳った標語をラッピングした塵芥車両で収集業務を行うことで、また、市が主催するイベント等で電動ごみ収集車を展示、デモンストレーションすることで市民に環境問題を意識させ、環境保全に対する理解、ごみ排出の適正化を指導し、「人･自然･地球にやさしい環境共生都市」を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
186,414	186,414	149,131	37,283	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	備品購入、工事請負とも管財課、契約検査課を通して、指名競争入札の方法により落札しており妥当であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-①	化学消防ポンプ車整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	消防局　総務課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容	自然災害や米軍基地が集中することに伴う人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、航空機燃料の貯蔵取扱所等がある那覇空港での火災への対応を想定した化学消防ポンプ車を導入する。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	－			
	(b)予算現額	161,844	－			
	(c)増減額(b-a)	161,844	－			
	(d)繰越額	－	81,102			
	A．計(b+d)	161,844	81,102			
B．執行済額		80,730	80,491			
うち交付金充当額		64,584	64,392			
次年度繰越額		81,102	0			
執行率（%）(B/A)		49.9%	99.2%			
予算の状況の説明		車両の整備にあたり、ポンプの規格検討、機器のオートメーション化、新たな資機材追加等の各種提案があり、仕様の決定までに日数を要したため、81,102千円を繰り越した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･化学消防ポンプ車2台の導入	目　標	（化学消防ポンプ車(Ⅲ型)2台）	（　）	（　）	（　）
	実　績	化学消防ポンプ車(Ⅲ型)2台			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	化学消防ポンプ車2台を整備し、市内2箇所の出張所に配置した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
空港等での火災に対応できる化学消防車の導入:H23年度:Ⅱ型2台 →H24年度:Ⅲ型2台(機能強化)	目　標	（化学消防ポンプ車(Ⅱ型)2台）	（化学消防ポンプ車(Ⅲ型)2台）	（　）	（　）	（　）
	実　績		化学消防ポンプ車(Ⅲ型)2台			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	化学消防ポンプ車2台を整備することで、那覇空港周辺及び市内各種災害への対応力が向上した。これにより、本市における住民と観光客の安心安全が図られた。					

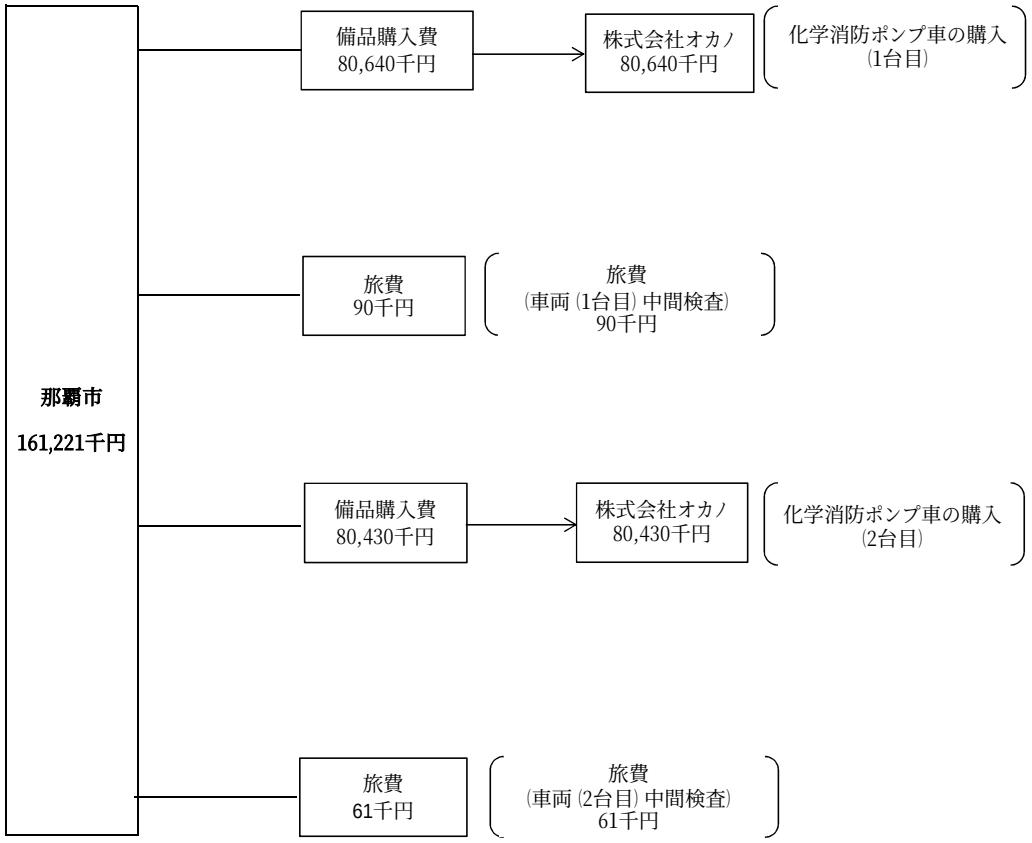
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・車両を機能強化したことにより、本市の出動体制及び活動方針等を定めた各種警防計画が現在の消防力との間で差異が生じている可能性がある。 ・那覇空港及びその周辺における現場活動の連携等を含めた災害対応体制の確認が必要である。 ・化学消防ポンプ車は、通常の消防ポンプ車等と比較し、機能や装備が複雑になっているため、操作方法の技術習得に時間を要する。	・本市の規程に基づく各種警防計画の出動体制及び活動方針を見直す必要がある。 ・那覇空港及びその周辺における緊急計画の改正が必要かどうか検討する必要がある。 ・消防車両の特徴である複雑な操作のスキルアップが必要である。

今後の取り組み方針

・現在の消防体制に対応した各種警防計画を整備する。
・部内で緊急計画の改正が必要か検討し、必要な場合は那覇空港緊急計画連絡協議会及び幹事会において協議していく。
・那覇空港及びその周辺の災害を想定した実践的な訓練を実施していくことで、各関係機関との連携及び災害対応能力の強化を図り、車両の能力を最大限に活用できるように努め、実災害に備える。
・本市は、沖縄の玄関口である那覇空港を抱えるため、市民をはじめ沖縄を訪れる観光客等の安心安全の確保のため、さらなる消防力の維持・向上を目指し、新たな事業を検討していく必要がある。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
161,221	161,221	128,976	32,245	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・契約業者は消防車両の納入実績のある業者であり、指名競争入札での契約であったことから、適正であると判断する。 ・費目使途については、事業目的達成の観点から必要最低限のものであると判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑥	防災行政無線整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部　総務課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、市内全域をカバーする防災行政無線を小中学校に設置する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	－			
	(b)予算現額	265,690	－			
	(c)増減額(b-a)	265,690	－			
	(d)繰越額	－	257,720			
	A. 計(b+d)	265,690	257,720			
B. 執行済額		7,969	197,342			
うち交付金充当額		6,375	157,873			
次年度繰越額		257,720	0			
執行率（%）(B/A)		3.0%	76.6%			
予算の状況の説明		設計業務で防災行政無線設置場所等の調整に時間を費やしたため、年度内で整備工事の実施に至らず次年度へ予算を繰越した。事業者を入札で選定したため、予算額と落札額との差額分の予算残が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
小中学校･公園等に防災行政無線を設置	目　標	(　53基　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	53基			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：小中学校･公園等に防災行政無線５３子局を設置。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
小中学校･公園等に防災行政無線を設置	目　標	(　)	(　53基　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		53基			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：市内のほぼ全ての小中学校及び大規模公園に防災行政無線の支局を設置することが出来た。今後は、その維持管理を行なうとともに地域の自主防災組織や自治会、通り会などに対し防災行政無線の使用方法を周知し、災害時の連絡手段の一つとして活用していく。

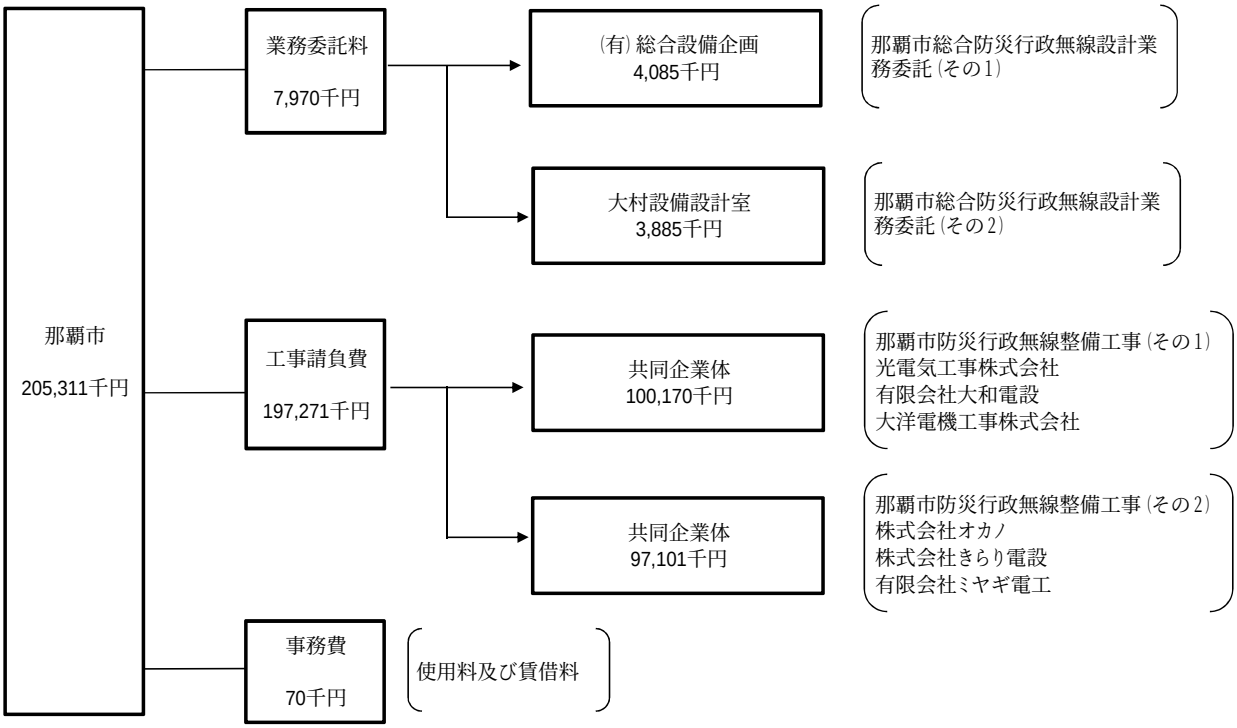
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	防災行政無線を設置するにあたり設置場所所有者の要望に沿って工事を行なう必要があり、学校などのイベントと重ならない夏休み期間中が指定されるなどしたため、当初計画よりも工事開始までに時間を要した。結果、設計業務を平成24年度内に、整備工事を平成25年度中に実施することとなった。	関係機関との事前調整をより綿密に行い、事業がスムーズに実施されるよう検討する必要がある。

今後の取り組み方針

事業計画の早期から余裕をもって関係機関との事前確認・調整に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
205,311	205,311	164,248	41,063	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札にて委託事業者を選定し実施。 ○業務完了報告書を検査した結果、市の要望に沿って業務が実施されており、業務内容にかかる費用額も妥当なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑦	小学校安心安全防災システム導入事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（４）－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	学校教育部　学務課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－（2）
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害時に避難誘導等が円滑に行えるよう小学校全校へ緊急地震速報端末及び無線機を整備する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	91,907	－			
	(b)予算現額	91,907	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	91,907			
	A．計(b+d)	91,907	91,907			
B．執行済額		0	31,810			
うち交付金充当額		0	25,448			
次年度繰越額		91,907	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	34.6%			
予算の状況の説明		平成２４年度に導入機器等を選定するため防災担当職員、教職員等も含めたシステム仕様選定委員会を設置した。新しい基準や機器の性能実証についての調査･研究等、その対応に不測の日数を要したため予算を平成２５年度に全額繰り越した。平成２５年度に小中学校分をまとめて制限付一般競争入札に付したところ小学校分は約３５%ほどの落札率となった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
地震速報等受信機器及びトランシーバーの設置:小学校	目　標	（37校設置）	（　）	（　）	（　）
	実　績	37校設置			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：地震速報等受信システム及びトランシーバーを那覇市立全小学校へ設置し、機器の説明等を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
地震･津波への対策機器設置率:小学校	目　標	（0%）	（100%）	（　）	（　）	（　）
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：緊急地震速報システム及びトランシーバーを那覇市立全小学校へ設置した。機器の設置及び取り扱い説明が１２月から１月になり、年度末にかかる行事等の関係で学校での避難訓練については未実施となっているが、トランシーバーについては全学校で卒業式等の行事で使用しており、取り扱いについては問題ないと考える。

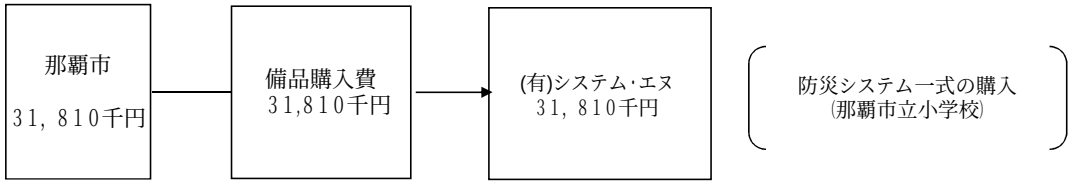
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	設置時に地震速報システム等の機能について説明したが、時期的な問題（整備終了が1月までかかった）から、年度末に向けての学校行事が多く避難訓練の実施ができなかった。	トランシーバーの取り扱いについては各学校とも問題なく使いこなせている。今後は校外活動で使用する際には非常時を念頭に置いた利用を心がける（電波の弱い地域の確認等）また、システム全体を利用し、児童も含めた全体での避難訓練を実施する必要がある。

今後の取り組み方針

設置業者等専門の方々にも協力してもらい、他県の事例を参考に緊急地震速報システムを活用した実践的避難訓練について、全小中学校の安全主任を対象に研修会を実施する。また、各学校におけるより効果的な避難訓練のあり方を計画・実施する。学校間、教育委員会も含めた訓練等についても検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
31,810	31,810	25,448	6,362	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	仕様選定委員会において機器を選定、予定価格は複数業者からの見積書を参考にした。入札は制限付一般競争入札（那覇市内に本店がある事業所に限る）として実施した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑧	中学校安心安全防災システム導入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	学校教育部　学務課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害時に避難誘導等が円滑に行えるよう中学校全校へ緊急地震速報端末及び無線機を整備する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	36,086	－			
	(b)予算現額	36,086	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	36,086			
	A．計(b+d)	36,086	36,086			
B．執行済額		0	15,439			
うち交付金充当額		0	12,351			
次年度繰越額		36,086	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	42.8%			
予算の状況の説明		平成２４年度に導入機器等を選定するため防災担当職員、教職員等も含めたシステム仕様選定委員会を設置した。新しい基準や機器の性能実証についての調査･研究等、その対応に不測の日数を要したため予算を平成２５年度に全額繰り越した。平成２５年度に小中学校分をまとめて制限付一般競争入札に付したところ中学校分は約４４%ほどの落札率となった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
地震速報等受信機器及びトランシーバーの設置:中学校	目　標	（１７校設置）	（　）	（　）	（　）
	実　績	１７校設置			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：地震速報等受信システム及びトランシーバーを那覇市立全中学校へ設置し、機器の説明等を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
地震･津波への対策機器設置率:中学校	目　標	（0%）	（100%）	（　）	（　）	（　）
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：緊急地震速報システム及びトランシーバーを那覇市立全中学校へ設置した。機器の設置及び取り扱い説明が１２月から１月になり、年度末にかかる行事等の関係で学校での避難訓練については未実施となっているが、トランシーバーについては全学校で卒業式等の行事で使用しており、取り扱いについては問題ないと考える。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	設置時に地震速報システム等の機能について説明したが、時期的な問題（整備終了が1月までかかった）から、年度末に向けての学校行事が多く避難訓練の実施ができなかった。	トランシーバーの取り扱いについては各学校とも問題なく使いこなせている。今後は校外活動で使用する際には非常時を念頭に置いた利用を心がける（電波の弱い地域の確認等）また、システム全体を利用し、児童も含めた全体での避難訓練を実施する必要がある。

今後の取り組み方針

設置業者等専門の方々にも協力してもらい、他県の事例を参考に緊急地震速報システムを活用した実践的避難訓練について、全小中学校の安全主任を対象に研修会を実施する。また、各学校におけるより効果的な避難訓練のあり方を計画・実施する。学校間、教育委員会も含めた訓練等についても検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,439	15,439	12,351	3,088	0

那覇市
15，439千円
→
備品購入費
15,439千円
→
(有)システム・エヌ
15，439千円
（防災システム一式の購入（那覇市立中学校））

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	仕様選定委員会において機器を選定、予定価格は複数業者からの見積書を参考にした。入札は制限付一般競争入札（那覇市内に本店がある事業所に限る）として実施した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑨	特殊災害対応資機材整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	消防局　警防課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容	自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、特殊災害･大規模テロ災害が発生した場合を想定した必要資機材を整備する。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	-			
	(b)予算現額	47,759	-			
	(c)増減額(b-a)	47,759	-			
	(d)繰越額	―	47,759			
	A. 計(b+d)	47,759	47,759			
B. 執行済額		0	44,625			
うち交付金充当額		0	35,700			
次年度繰越額		47,759	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	93.4%			
予算の状況の説明		特殊災害対応資機材(危険物測定機等)を整備するにあたり、有識者から、より充実した仕様の採択について各種提案があったため、その検討に日数を要し、47,759千円を繰り越した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
自然災害及び人為的災害等に備える特殊災害対応資機材(危険物測定機等)を整備	目　標	(特殊災害対応資機材を整備)	( )	( )	( )
	実　績	特殊災害対応資機材を整備			
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				
達成状況説明	特殊災害対応資機材(危険物測定機等)を整備し、中央消防署特別救助隊へ配備した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
特殊災害時における危険物質除去･早期鎮静化のための対応資機材の整備	目　標	(特殊災害対応資機材を整備)	(特殊災害対応資機材を整備)	( )	( )	( )
	実　績		特殊災害対応資機材を整備			
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					
進捗状況説明	特殊災害対応資機材(危険物測定機等)を整備したことで、那覇市および県内での特殊災害事案への対応力が向上した。これにより、市内における住民、観光客の安心安全が図られた。					

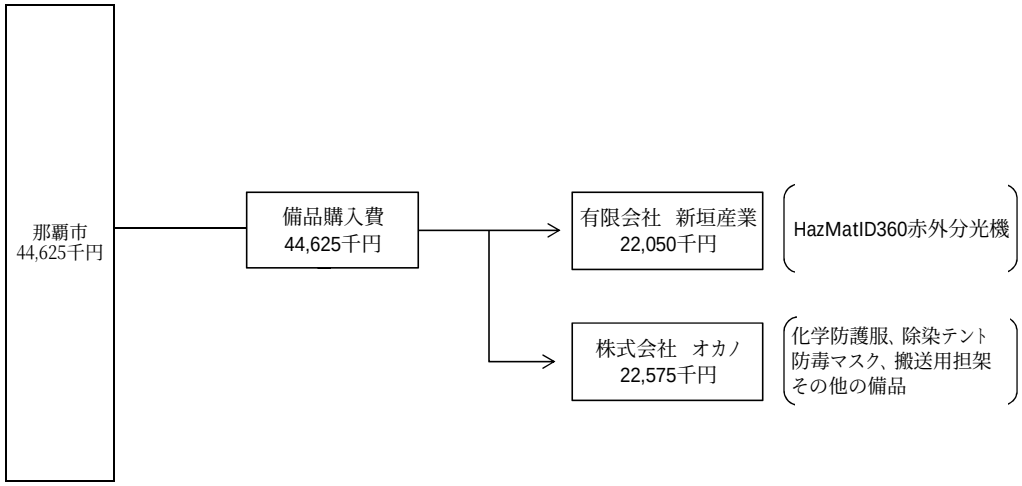
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	新規に整備した特殊災害対応資機材（危険物測定機等）にあっては、資機材の取扱いを熟知している職員が少ない。	内部での勉強会や取扱い訓練の実施を検討。

今後の取り組み方針

・整備した資機材の取扱いを熟知するため、内部での勉強会や訓練を積極的に実施し、知識・技術の習得を図る。
・関係機関との合同訓練を実施することで、災害発生時の連携力向上を図ると同時に、整備した資機材を最大限に活用できるよう努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
44,625	44,625	35,700	8,925	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・契約業者は消防資機材の納入実績がある業者であり、一般競争入札及び指名競争入札であったことから、適正であると判断する。 ・費目使途については、事業目的達成の観点から必要最低限のものであると判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑪	災害対策機器整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	健康部・保健所　健康増進課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(2)
事業内容	自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、災害時に医療救援活動を行うために必要となる備品を整備した。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	17,298	0			
	(b)予算現額	17,298	0			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	17,298			
	A. 計(b+d)	17,298	17,298			
B. 執行済額			15,721			
うち交付金充当額			12,576			
次年度繰越額		17,298	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	90.9%			
予算の状況の説明		この事業は、大規模災害が発生した場合に地域での医療救護活動を展開していくのに必要とされる装備品や自主防火・防災組織の機能強化を図るうえで必要とされる装備品を整備し、消防・防災体制の強化を図っていく事業。対象医療機関である那覇市立病院に補助金を交付する事業であるが、災害時用病院備付装備品が全国的に需要が逼迫し納品に期間を要することから年度内に納品できないことが判明したため、繰越となった。不用額は備品購入実績によるもの。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・災害用病院備付機材の整備 ・自衛消防隊用機材の整備 ・DMAT隊用機材の整備	目　標	災害用病院備付機材、自衛消防隊用機材、DMAT隊用機材の整備	（　）	（　）	（　）
	実　績	平成25年10月末までにすべて整備済			

達成状況説明	
	平成25年10月末までに、対象医療機関である那覇市立病院が災害用病院備付機材、自衛消防隊用機材、DMAT隊用機材を購入・整備し那覇市が補助金を交付し整備事業を終了した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
・災害用病院備付機材の整備 ・自衛消防隊用機材の整備 ・DMAT隊用機材の整備	目　標	（　）	災害用病院備付機材、自衛消防隊用機材、DMAT隊用機材の整備	（　）	（　）	（　）
	実　績		平成25年10月末までにすべて整備済			

進捗状況説明	
	平成25年10月末までに、対象医療機関である那覇市立病院が災害用病院備付機材、自衛消防隊用機材、DMAT隊用機材を購入・整備し那覇市が補助金を交付し整備事業を終了した。

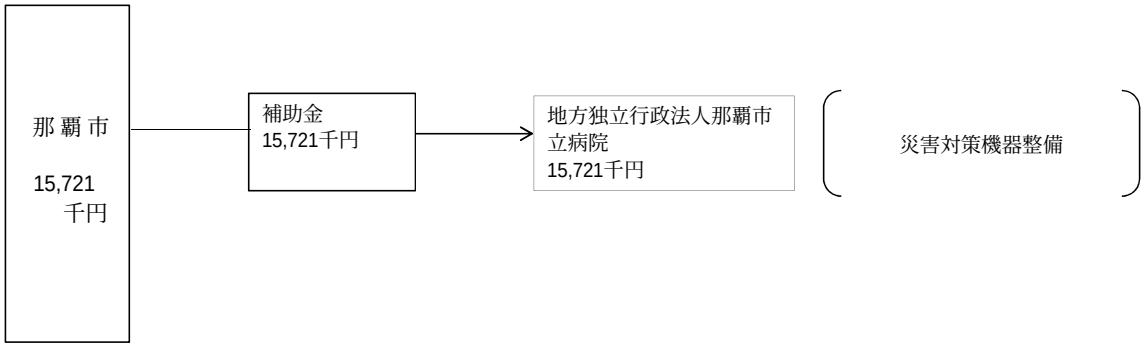
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	これまで那覇市では大規模災害時に対応出来る医療機関用の機器整備が遅れていたが、今回の事業で災害用の病院機材の整備等が図れ、那覇市の大規模災害時の拠点病院である那覇市立病院の災害時の受入れ体制の充実が図れた。またDMAT機器も整備されたことで、大規模災害発生時に市内や近隣市町村、離島等へのDMAT派遣体制も強化された。	購入時に想定外に納期が遅れ事業実施が遅れるという問題はあったが、当面の課題であった大規模災害時の機器整備については、目標を達成した。

今後の取り組み方針

今回の整備で那覇市としての補助事業は終了するが、今後は那覇市立病院において災害対策機器を活用した訓練等を計画的に実施してもらい、大規模災害等が発生した際の対応力の向上に努めさせる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,721	15,721	12,576	3,145	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・那覇市立病院は災害発生時に那覇市における医療救護班としての業務を担っており、市立病院を補助対象機関としたのは妥当と考える。 ・予算規模も適正であり、費用使途についても必要かつ適切であることを確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑭	津波避難ビル建設事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部　総務課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(2)

事業内容

地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、市の海抜が低い地域に避難困難者のための津波避難ビルを建設する。

H24年度:基本計画･基本設計
H25年度:実施設計
H26年度:工事着工、完成

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	24,327				
	(c)増減額(b-a)	24,327	0			
	(d)繰越額	―	24,327			
	A. 計(b+d)	24,327	24,327			
B. 執行済額		0	24,327			
うち交付金充当額			19,461			
次年度繰越額		24,327				
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%			

予算の状況の説明：事業当初、沖縄県による津波被害想定見直しの公表をもとに検討を行う予定であったが、公表時期が不明なことから、独自の聞き取り等による調査へ変更し、事業を行った。それらに伴い事業を延期した(平成25年7月31日完了、8月9日検査)

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
津波避難ビル建設に係る基本計画･基本設計を完了	目　標	（基本計画･基本設計の完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基本計画･基本設計の完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：津波避難ビルに係る基本計画･基本設計の策定を完了した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
津波避難ビル建設に係る基本計画･基本設計を完了	目　標	（　）	（基本計画･基本設計の完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績		基本計画･基本設計の完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：津波避難ビルに係る基本計画･基本設計の策定に引き続き、平成25年度に実施設計、平成26年度に工事着工し年度内に完成予定

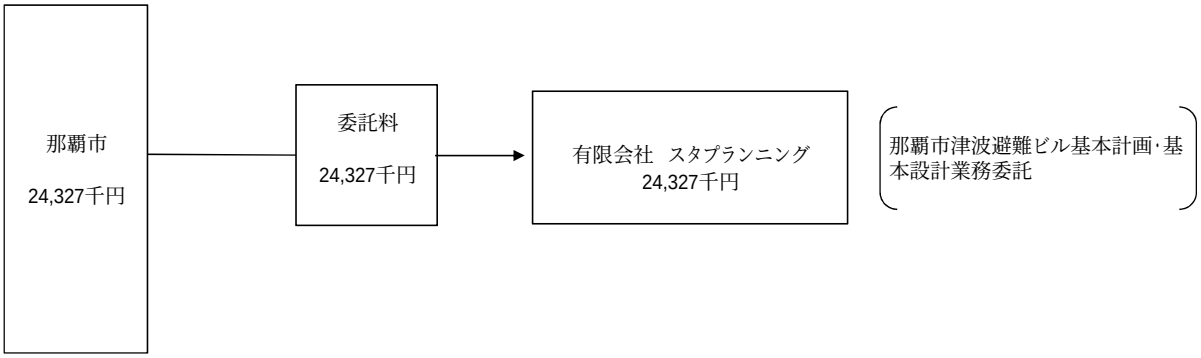
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	津波避難ビルの基本計画についての設計諸条件の設定に時間を要したことにより、構造計算の検討に遅れが生じた。また、当該建物に導入する施設案の配置計画を決定するにあたり、関係部局への説明やヒアリング等を実施し、基本設計に反映するための調整に時間を要した。	今後の実施設計においては、関係部局との調整を速やかに行い、事業が円滑に実施できるよう検討する。また、関係部局との調整結果については、実施設計へ適切に反映できるようにする。

今後の取り組み方針

●当該事業により策定された、基本計画･基本設計に基づき、実施設計を行い、ビルを建設する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
24,327	24,327	19,461	4,866	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者については指名競争入札を実施した。(10事業者)
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑮	大災害時における電力供給及び避難拠点の整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	環境部　環境政策課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(2)

事業内容

地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、大規模災害時に備えて、環境施設組合の運営する施設を電力供給拠点及び一時避難場所として活用できるよう整備する.

実施方法

□直接実施　□委託　□補助　■負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	108,787				
	(b)予算現額	108,787				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	77,350			
	A. 計(b+d)	108,787	77,350			
B. 執行済額		31,437	61,995			
うち交付金充当額		25,149	49,596			
次年度繰越額		77,350	0			
執行率（%）(B/A)		28.9%	80.1%			

予算の状況の説明：次年度繰越は、急速充電器本体(他国庫補助)の整備が予定より遅れたことから、関連する当該事業において整備後の設置工事期間が延びたため繰り越しをした。
執行率は主に入札残による。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
大災害も想定した消防訓練の実施(職場1回)	目　標	(　消防訓練1回　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	消防訓練1回			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：毎年行う通常の消防訓練において、大災害を想定し、シナリオに取り入れての訓練を実施した。(避難施設へと連携、母体である市防災室への連絡等)

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
消防訓練参加人数	目　標	(　1回　)	(　職場100人　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		職場100人			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：毎年行う通常の消防訓練と、地域連携として避難施設において、関係者による防災講話や情報交換、寝泊まりを実施した。目標である実施回数2回と、参加者数は概ね達成できた。

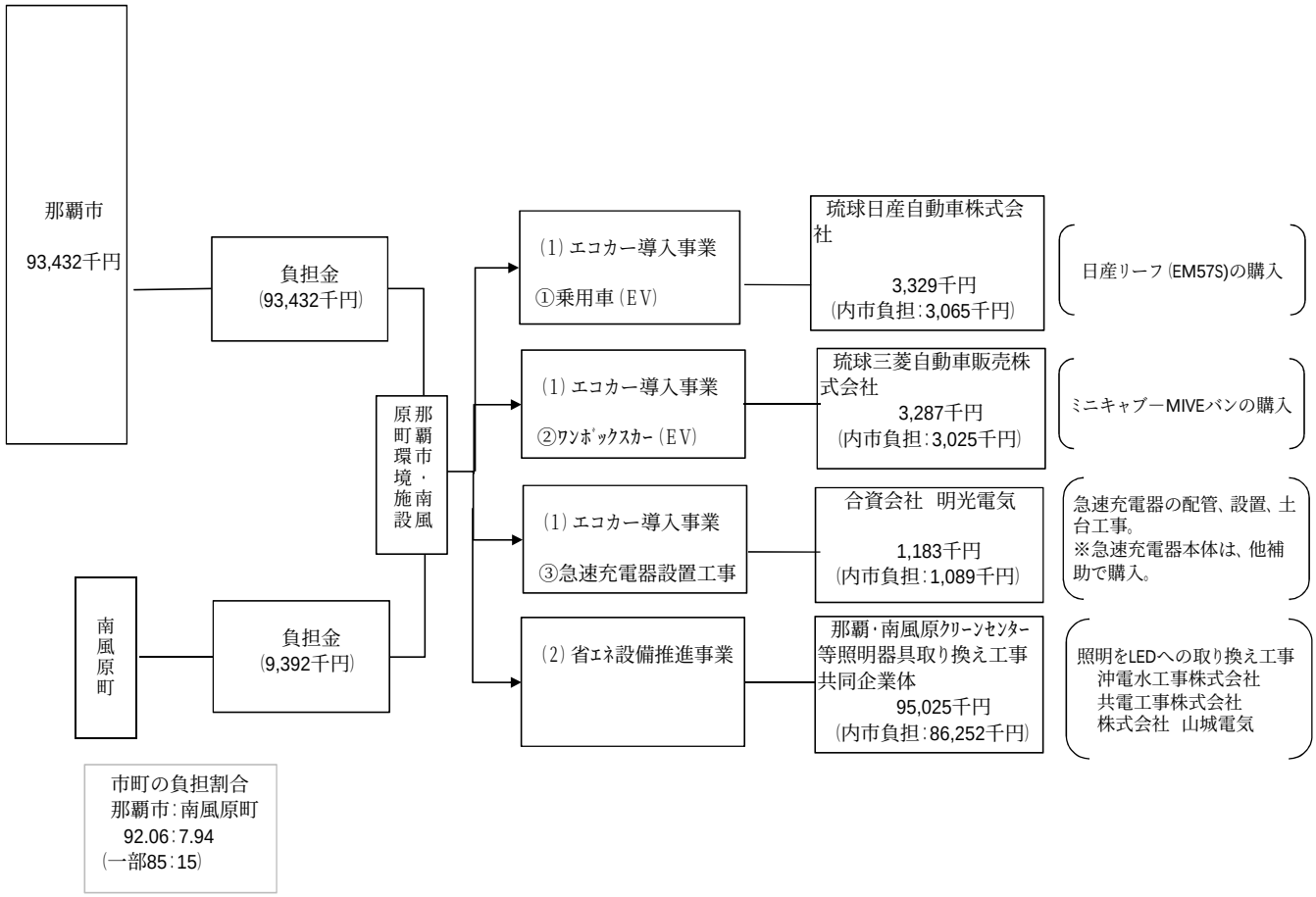
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	交付金活用による設備の改善と公用車の整備が整った。今後は、万が一の大災害に備え、防災訓練の継続的実施や両母体の防災訓練との連携の拡充を図り、周辺地域への本事業についての公報を継続していくこと。	被災者受入れ訓練実施や訓練参加者が増えるような仕組みづくりが必要である。

今後の取り組み方針

今後においては、上記推進上の留意点や改善余地の検証を踏まえ、大災害時を想定した防災訓練の継続的実施に加え、訓練方法の工夫や周辺地域住民との連携を拡充していく方法を検討、実施していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
93,432	93,432	74,745	18,687	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○(2) 省ｴﾈ設備推進事業は一般競争入札、③急速充電器設置工事は指名競争入札による不落随意契約であるが、(1) エコカー導入事業の①と②は県内ディーラー本社との随意契約である。随意契約理由は仕様に基づく車種指定（①はEV車で乗用車タイプ5人乗り、②はEV貨物車で外部へ電気が供給できるもの）で、競合車並びに競合他社がないことによる。 ○予算規模、受益者負担関係、費目・使途は支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑯	小学校防災避難施設整備事業（校舎屋上）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(2)
事業内容	・地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の小学校校舎の屋上に手摺を設置して緊急避難施設となるよう整備する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0			
	(b)予算現額	30,115	0			
	(c)増減額(b-a)	30,115	0			
	(d)繰越額	―	30,115			
	A. 計(b+d)	30,115	30,115			
B. 執行済額		0	27,302			
うち交付金充当額		0	21,841			
次年度繰越額		30,115	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	90.7%			

予算の状況の説明
・児童の動線、工事車両搬入などの仮設計画に係る学校側との調整などに不測の日数を要したため、次年度に繰越すこととなった。
・予算残については、ほとんどが入札残と不要額である。

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
小学校校舎屋上手摺設置工事:2校(曙小学校・若狭小学校)	目　標	(　2校　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	2校			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明
・設計前の学校側との調整などに不測の日数を要したため、平成24年度内での目標を達成できなかった。そのため、次年度へ予算の繰越を行った。
・平成24年度中に学校側との調整を実施し、平成25年度内で完了した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
小学校校舎屋上手摺設置工事:2校(曙小学校・若狭小学校)	目　標	(　)	(　2校　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		2校			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明
・平成２４年度中に学校側との調整で次年度へ予算の繰越し、平成２５年度内で完了した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・学校によっては、屋上への避難経路が設置されていないこともあるため、鉄骨階段等の整備が必要である。	学校・保護者等から児童の安全確保等の観点で、長期の休みに合わせての施工の要望があり、工事時期の調整が必要と思われる。

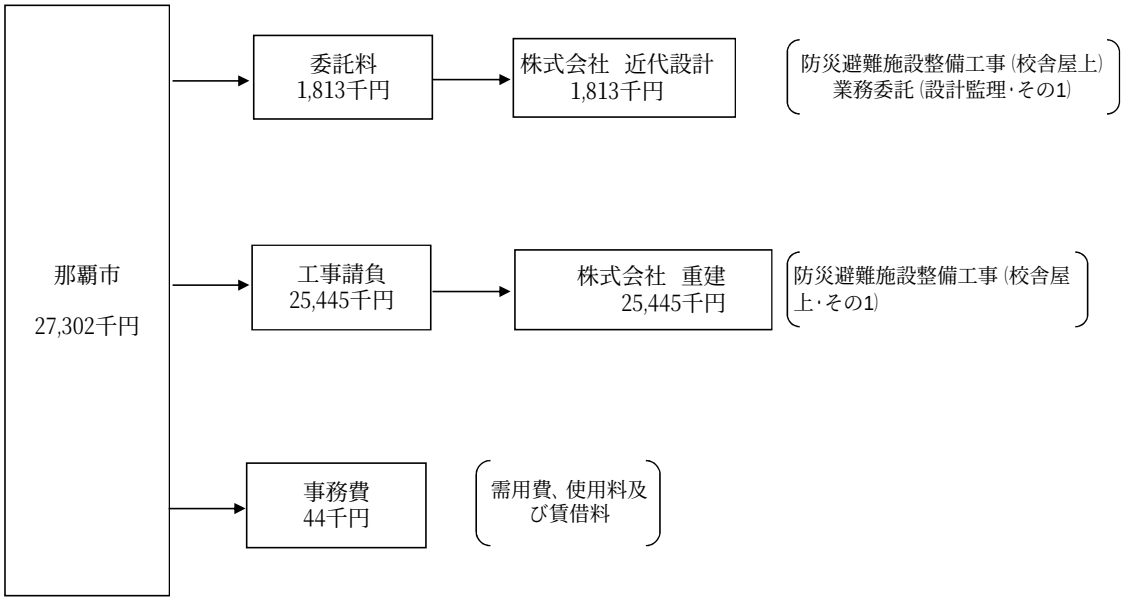
今後の取り組み方針

・低地帯に該当する学校校舎の屋上に手摺を設置して緊急避難施設となるよう整備する。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,302	27,302	21,841	5,461	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・設計委託、工事請負は、指名競争入札にて選定しており、落札額も妥当な範囲と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-⑰	中学校防災避難施設整備事業（校舎屋上）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-２-（４）-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	生涯学習部　施設課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-（2）
事業内容	・地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の中学校校舎の屋上に手摺を設置して緊急避難施設となるよう整備する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	0			
	(b)予算現額	15,000	0			
	(c)増減額(b-a)	15,000	0			
	(d)繰越額	―	15,000			
	A．計(b+d)	15,000	15,000			
B．執行済額		0	13,574			
うち交付金充当額		0	10,859			
次年度繰越額		15,000	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	90.5%			
予算の状況の説明		・児童の動線、工事車両搬入などの仮設計画に係る学校側との調整などに不測の日数を要したため、次年度に繰越すこととなった。 ・予算残については、ほとんどが入札残と不要額である。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
中学校校舎屋上手摺設置工事:1校（上山中学校）	目　標	（　1校　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	1校			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：
・設計前の学校側との調整などに不測の日数を要したため、平成24年度内での目標を達成できなかった。そのため、次年度へ予算の繰越を行った。
・平成24年度中に学校側との調整を実施し、平成25年度内で完了した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
中学校校舎屋上手摺設置工事:1校（上山中学校）	目　標	（　　）	（　1校　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		1校			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：
・平成２４年度中に学校側との調整で次年度へ予算の繰越し、平成２５年度内で完了した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・学校によっては、屋上への避難経路が設置されていないこともあるため、鉄骨階段等の整備が必要である。	学校・保護者等から児童の安全確保等の観点で、長期の休みに合わせての施工の要望があり、工事時期の調整が必要と思われる。

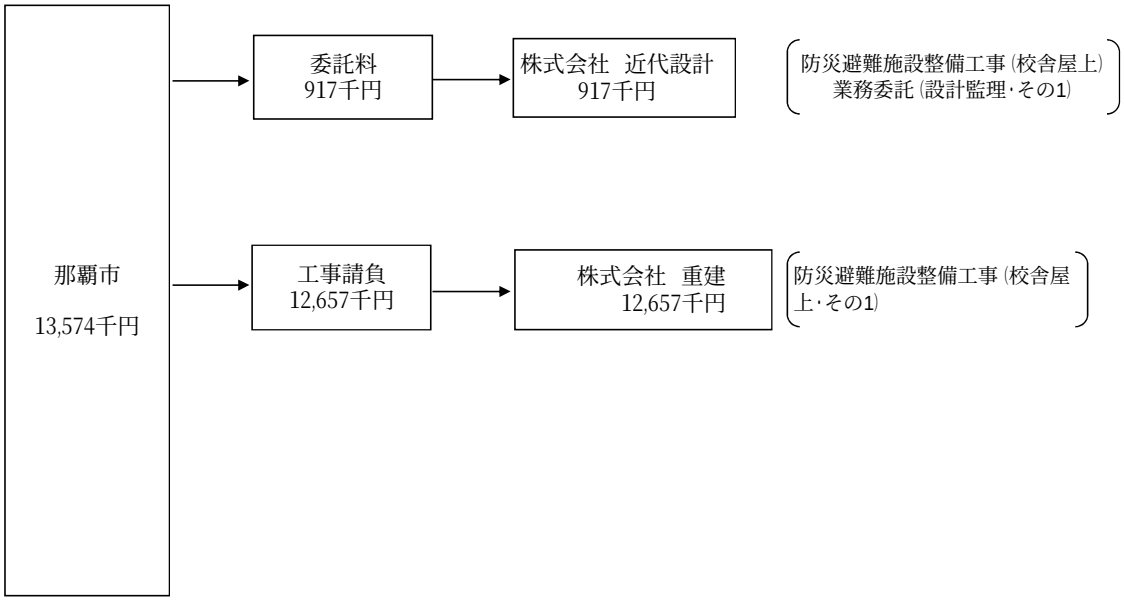
今後の取り組み方針

・低地帯に該当する学校校舎の屋上に手摺を設置して緊急避難施設となるよう整備する。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,574	13,574	10,859	2,715	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・設計委託、工事請負は、指名競争入札にて選定しており、落札額も妥当な範囲と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-①	戦争遺跡保存事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－イ 戦後処理問題の解決
担当部課名	総務部　平和交流・男女参画課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-12
事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情(沖縄戦)に対応するため、沖縄戦の弾痕が残る石壁を戦跡として保存整備し、平和学習等に活用する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,484	－			
	(b)予算現額	1,484	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	1,484			
	A．計(b+d)	1,484	1,484			
B．執行済額		0	1,354			
うち交付金充当額		0	1,083			
次年度繰越額		1,484	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	91.3%			
予算の状況の説明		・石壁の展示は、同地内で遺骨収集作業を行っていたＮＰＯ団体の意見を踏まえ検討していたが、平成24年度途中において、整備中の公園から新たに薬莢や食器等が発見され、この物品も石壁と同様に展示できないかとの提案が同団体よりあり、同団体や関連部署との調整に時間を要したため、整備に係る1,484千円を次年度に繰越した。 ・不要額が128千円発生しているのは、整備設計工事等業務委託の入札残によるものである。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・戦争遺跡の保存整備：1ヶ所	目　標	(　1ヶ所　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	1ヶ所			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：石壁の展示は、同地内で遺骨収集作業を行っていたＮＰＯ団体の意見を踏まえ検討していたが、平成24年度途中において、整備中の公園から新たに薬莢や食器等が発見され、この物品についても石壁と同様に展示できないかとの提案が同団体よりあり、同団体及び関連部署との調整に時間を要したため、活動目標の達成が翌年(平成２５年)度となった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
・戦争遺跡の保存整備：1ヶ所	目　標	(　)	(　1ヶ所　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		1ヶ所			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：石壁の完成・展示については、市の定例記者会見で市長より発表を行い周知を図った。今後、那覇市の平和発信のシンボルとして平和学習等で活用するべく、戦跡・平和ガイドコースを設定する際に当遺跡をコースに組み込むことを検討する。

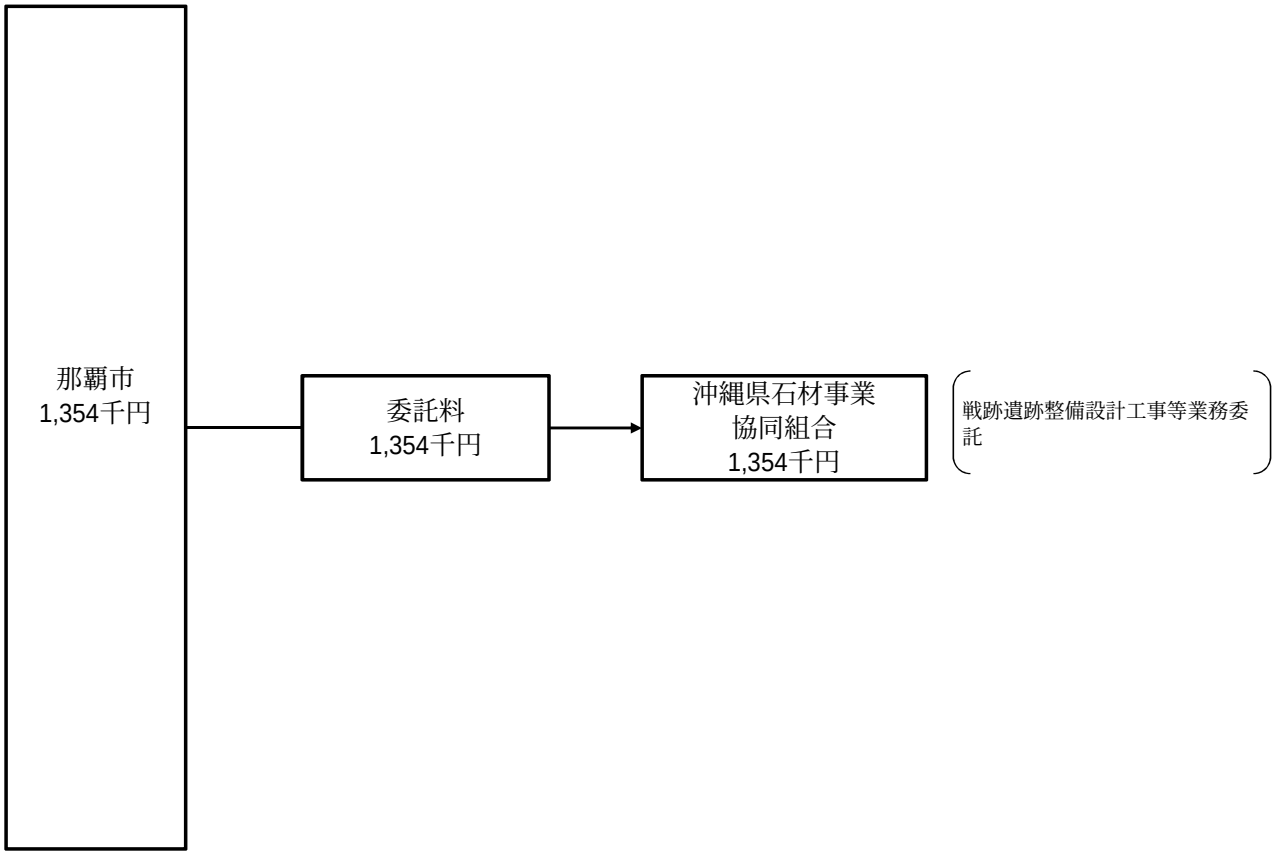
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	「大道森（ハーフムーンヒル）戦争遺跡碑」について、那覇市の平和発信のシンボルとして広く周知されること。	今後は、「大道森（ハーフムーンヒル）戦争遺跡碑」について、より多くの方に知ってもらい平和学習などに活用してもらえるよう、その周知方法について検討を行う。

今後の取り組み方針

那覇市の平和発信のシンボルとして、戦跡・平和ガイドコースを設定する際に当遺跡をコースに組み込み、市民や観光客の皆様が平和学習で活用できるよう周知していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,354	1,354	1,083	271	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先業者は制限つき一般競争入札により選定
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-⑤	戦略的交通まちづくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(7)－ウ 人に優しい交通手段の確保
担当部課名	都市計画部　都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-12
事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情(鉄軌道等整備の遅れ)に対応するため、ｶｰﾌﾘｰﾃﾞｰ等の公共交通機関利用についての意識啓発ｲﾍﾞﾝﾄ、自転車利用環境改善基礎調査等の市内公共交通環境再構築に向けた事業を行う。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	41,629	－			
	(b)予算現額	41,629	－			
	(c)増減額(b-a)	0	－			
	(d)繰越額	－	18,710			
	A．計(b+d)	41,629	18,710			
B．執行済額		22,919	18,688			
うち交付金充当額		18,335	14,950			
次年度繰越額		18,710	0			
執行率（%）(B/A)		55.1%	99.9%			
予算の状況の説明		･業務とりまとめの指針となる国のガイドライン(H24.11.29策定)に基づく、アンケート内容･配布手法の検討、調査先及び関係機関との協議に時間を要したことから、次年度に繰越した。 ･不用額が22千円発生しているが、事務費の実績額による残額である。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･カーフリーデーイベント実施	目　標	（　イベント実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	イベント実施			
･市内自転車利用環境改善基礎調査 ･交通結節点基礎調査	目　標	（　調査実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	調査実施			

達成状況説明

那覇市交通基本計画の施策のひとつである「交通に対する意識改革」の取り組みのひとつとして、「なはモビリティウィーク＆カーフリーデー」イベントを実施し、市民にクルマに頼り過ぎない暮らしを体験することを意識啓発した。
また、多様な移動手段や公共交通等の利用環境の向上･充実を図るための取り組みに向けた基礎調査を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
カーフリー宣言者数の目標:5,000人	目　標	（　2472人　）	（　5000人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		7240人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

9月16日から22日までの1週間(ﾓﾋﾞﾘﾃｨｳｨｰｸ)、クルマに頼りすぎない暮らしを実践することをインターネット上の宣言フォームや宣言書へ署名し、バス、モノレール、二輪車、徒歩といったより環境にやさしい移動を心掛けることを宣言する「カーフリー宣言」者数は、前年度と比較し、3倍となった。
目標を上回った要因としては、これまでの継続的な取り組みが市民に認知されてきていること。また、イベント規模が大きくなったことなどがあげられる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・契約手続き等に時間を要したことから、イベント実施に向けて時間的なゆとりがなかった。 ・カーフリーデーイベントにおいて、個別の業務を、各社と契約を行ったことで、事務手続きが増大した。 ・国のガイドラインがH24.11.29に策定されたことから、内容把握とアンケート内容の検討などに時間を要した。	・早期に事業着手することにより、時間的なゆとりを持ったイベントを実施する必要がある。 ・カーフリーデーイベントにおいては、公募型のプロポーザル方式を検討するなど、契約方法等を改善する必要がある。

今後の取り組み方針

平成25年度は、公募型のプロポーザル方式を検討するなど、早期に事業着手する方法の検討を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
41,607	41,607	33,285	8,322	

- 那覇市 41,607千円
  - 委託料 40,500千円
    - 特定非営利法人 しまづくりネット 492千円（カーフリーデーイベントにかかる運営管理業務委託）
    - 株式会社　エムズ 494千円（カーフリーデーイベントにかかる会場設営業務委託）
    - フェルマータ．株式会社 321千円（カーフリーデーイベントにかかる音響設営業務委託）
    - 有限会社　朝日印刷 452千円（カーフリーデーイベントにかかるちらし等作成業務委託）
    - 社団法人　那覇市観光協会 296千円（カーフリーデーイベントにかかるなはまちなかウォーク運営業務委託）
    - バスマップ沖縄 206千円（カーフリーデーイベントにかかるバス利用促進支援業務委託）
    - おきなわスローツアー 291千円（カーフリーデーイベントにかかる自転車まちめぐり等運営業務委託）
    - 沖縄都市モノレール株式会社 225千円（カーフリーデーイベントにかかるオリジナルゆいカード作成業務委託）
    - サイクルワークスメッセンジャーサービス 184千円（カーフリーデーイベントにかかるクイズラリー運営業務委託）
    - 生活情報出版 60千円（カーフリーデーイベントにかかる横断幕作成業務委託）
    - エルマータ．株式会社 99千円（カーフリーデーイベントにかかるセグウェイ試乗会運営業務委託）
    - 那覇バス　株式会社 47千円
    - 沖縄都市モノレール株式会社 60千円（カーフリーデーイベントにかかる電照広告作成業務委託）
    - 株式会社ケー・シー・エス沖縄支社 18,585千円
    - 琉球国際航業　株式会社 9,450千円（那覇市内自転車等利用環境改善）
    - 昭和株式会社 9,238千円（那覇市内交通結節点基礎調査業務）
  - 事務費 1,107千円
    - （共済費、賃金）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○カーフリーデーのイベント実施に当たっては、モビリティウィークの開催期間が定められており、公募期間が取れなかったことにより、次年度は公募型プロポーザル方式による選定が出来ないか今後検討が必要である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-⑥	亜熱帯庭園都市形成推進調査		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	都市計画部：都市計画課、建設管理部：建設企画課、上下水道局：下水道課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12
事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接収により生じたまちづくりの課題)に対応するため、道路、密集市街地、まちなか居住、下水道など、環境改善の方針を定める基礎調査を行う。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　■負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	30,440				
	(b)予算現額	30,440				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	7,048			
	A. 計(b+d)	30,440	7,048			
	B. 執行済額	23,392	5,000			
	うち交付金充当額	18,713	4,000			
	次年度繰越額	7,048	0			
	執行率（%）(B/A)	76.8%	70.9%			
	予算の状況の説明	・まちづくり基礎調査において、交差点の見直しが必要となることから関係機関との協議に不測の時間を要したため繰越となった。 ・当初計画した事業内容について、すべて執行できた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
道路・密集住宅市街地改善策・まちなか居住推進策・ガーブ川幹線雨水施設等基礎調査の実施	目　標	（基礎調査の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基礎調査の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

①ガーブ川幹線雨水施設等基礎調査
○ガーブ川を中心とする中心市街地において、既存の報告書・資料の整理、事例調査、地区のまちづくり構想、河川改修等のイメージスケッチ、提言、浸透マップ作成等。
②密集市街地改善策基礎調査
○防災上の問題や住宅の建替えができない等の問題を抱えている本市の密集住宅市街地について、地区毎の実態を整理したカルテ作成等。
③まちなか居住推進策基礎調査
○市民意向調査により、まちなかや郊外地区に居住する市民の居住地に対する満足度等を把握した。
④まちづくり基礎調査
長期未着手道路の変更に向けた検討を行うことにより、現況に見合う道路及び沿線の土地利用の増進を図るため、及び那覇市都市計画マスタープランにおいて位置づけられた道路の都市計画決定に向けた基礎調査を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
道路・密集住宅市街地改善策・まちなか居住推進策・ガーブ川幹線雨水施設等基礎調査の実施	目　標	（-）	（基礎調査の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		基礎調査の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

①ガーブ川幹線雨水施設等基礎調査
○報告書の作成、浸透マップの作成
②密集市街地改善策基礎調査
○密集住宅市街地の地区毎の課題等、実態を整理した地区カルテについて、今後の実効的な方針策定に向けた取り組みの基礎的な資料として活用できる。
③まちなか居住推進策基礎調査
○まちなか居住による市民意向調査について、今後の実効的な方針策定に向けた取り組みの基礎的な資料として活用できる。
④まちづくり基礎調査
○事業課の整備スケジュールに合わせた都市計画道路の決定及び変更手続きを行うことができる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①ガーブ川幹線雨水施設等基礎調査 〇ガーブ川流域における雨水浸水対策を行うあたっての課題、以下の点に留意しなければならない。 ・農連地区における再開発事業の進捗に合わせ、管渠整備を行う必要がある。 ・最下流部美栄橋駅付近の開渠部は、通水断面不足で、護岸拡幅整備等検討を行う必要がある。 ・水上店舗周囲に、ガーブ川高水位より、低い土地があり、対策を検討する。 ・水上店舗等における権利関係が輻輳しており、町の更新に支障をきたしている。 その他、老朽化した家屋や防災活動に支障をきたす細部街路が多いこと等が上げられ、地区における都市機能の更新を阻んでいる現状が伺える。 〇浸透マップ作成においての課題、以下の点に留意しなければならない。 ・土質データの少ない地区の調査・資料収集、既存の膨大な土質報告書の整理及びデータベース化（約4,500点）、飽和透水係数及び地下水位の推定に留意する。	①ガーブ川幹線雨水施設等基礎調査 まず、農連地区再開発事業に合わせ、整備を行うため、現状管路の分析を行い、工法等検討を行う。また、下流域美栄橋駅付近については、ガーブ川通水断面を確保するため、基本構想を練る。その他、ガーブ川流域において、耐震化対策や分水、流出抑制施設整備等について、検討を行う。（下水道補助メニューの中で多くの検討（業務委託）が行える。） なお、地区のまちづくりにおける検討については、都市計画部や経済観光部等、直接地域の計画・経済に関わる部署において、イニシアチブを取ってもらい市全体で取り組むための組織づくりを検証、実行してもらいたい。 浸透マップの活用については、部局間を越えた相互連帯に加え、住民へのアカウンタビリティー向上を想定し、汎用型GISソフトにおける図面管理を行い、利活用しやすさを図る。 法規制地（急傾斜地崩落危険地区、地すべり防止区域、土砂災害警戒地区）への浸透施設の制約等、指導誘導しなければならない。
	②密集市街地改善策基礎調査 密集住宅市街地の地区ごとの課題等について、庁内における情報の共有化により、各地区のまちの特徴にあわせた改善策を再生方針を提案する。	②密集市街地改善策基礎調査 今後の方針策定関連業務においては、住民意向を踏まえた実効的な方針策定が求められるため、基礎調査の活用と併せ、事業の趣旨を地域に説明する方法の検討が必要である。
	③まちなか居住推進策基礎調査 ・戦後の人口集中の下で、道路の基盤整備が追いつかないまま市街化が進み、密集住宅地を形成するに至った経緯がある。 ・道路が狭く歩行者の安全性が確保されておらず、生活環境上の問題がある。	③まちなか居住推進策基礎調査 まちなか居住の位置づけを明確化するとともに、関連する計画との整合性を考慮し、具体的施策の検討をすすめていく必要がある。
	④まちづくり基礎調査 ・戦後の人口集中の下で、道路の基盤整備が追いつかないまま市街化が進み、密集住宅地を形成するに至った経緯がある。 ・道路が狭く歩行者の安全性が確保されておらず、生活環境上の問題がある。	④まちづくり基礎調査 生活道路の安全で快適な歩行者空間を確保するため、狭小な道路を拡幅し地域の基盤改善を図る必要がある。

今後の取り組み方針

①ガーブ川幹線雨水施設等基礎調査
那覇市総合雨水対策行動基本指針に位置付けられた施策（以下に示す）
・治水施設の整備　・公共施設における流出抑制（貯留浸透）　・民間施設における流失抑制（貯留浸透）
・浸水に関する情報の事前発信　・警戒、避難誘導体制の整備
を基に各担当課連携しながら検討調整し、推進します。
なお、モデル地区としてガーブ川周辺地区（ガーブ川流域）、首里石嶺地区（安里川流域）において下水道（雨水）施設の整備、浸透施設等の整備の検討、農連地区にあるガーブ川管渠及び開渠について基本的な計画策定を下水道補助事業にて行う。

②密集市街地改善策基礎調査
平成２４年度基礎調査の成果報告を踏まえ密集市街地再生方針案を策定し、密集住宅市街地が抱える諸問題の解決に向け実効的な方針策定に向けた取り組みを、計画的・段階的に推進していく。

③まちなか居住推進策基礎調査
中心市街地活性化基本計画や住生活基本計画等による上位計画において、まちなか居住の位置づけを明確化し、より具体的な実施施策を検討するため、方針（案）の策定を行う。

④まちづくり基礎調査
長期未着手都市計画道路及び那覇市都市計画マスタープランにおいて位置づけられた道路の中でも優先度の高い路線からまちづくり基礎調査を実施していく。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

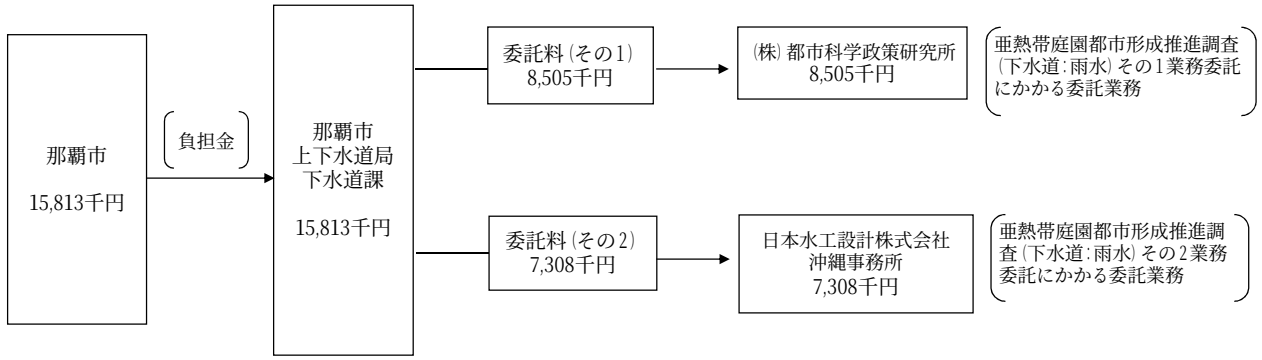
亜熱帯庭園都市形成推進調査

以下の①～④に分けて執行

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
28,392	28,392	22,713	5,679	

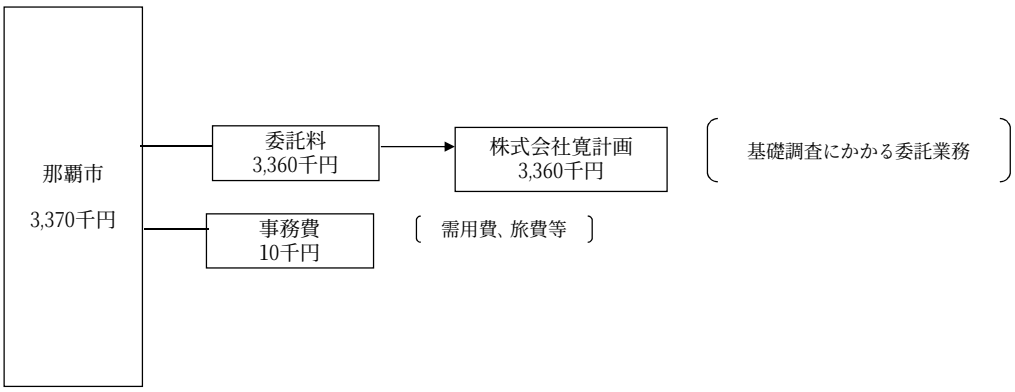
①ガーブ川幹線雨水施設等基礎調査

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,813	15,813	12,650	3,163	



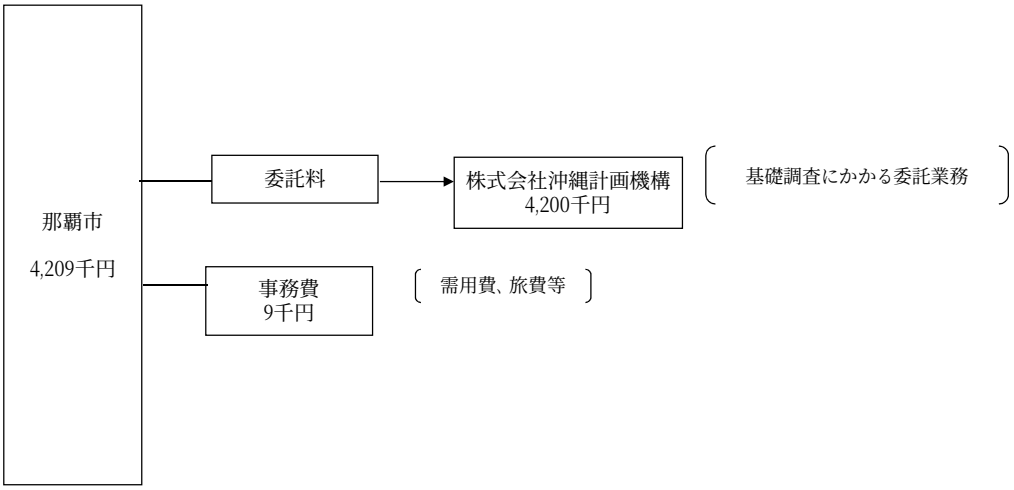
②密集市街地改善策基礎調査

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,370	3,370	2,696	674	0



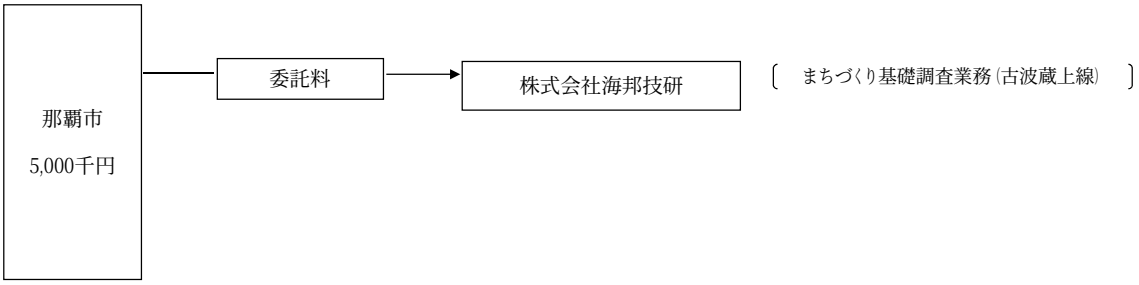
③まちなか居住推進策基礎調査

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,209	4,209	3,367	842	0



④まちづくり基礎調査

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,000	5,000	4,000	1,000	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目･使途については事業目的達成の観点から必要なものであり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-⑦	まちづくり拠点施設･ITインキュベート施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(7)－ア 県民の社会参加活動の促進と協働の取組の推進
担当部課名	市民文化部　まちづくり協働推進課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-12
事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接収により生じた地域コミュニティの課題)に対応するため、まちづくりのための団体等の育成拠点と、産業振興と雇用拡大に資するITインキュベート施設を整備するため、実施設計を実施する。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（ ）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	17,494				
	(b)予算現額	17,494				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	17,494			
	A．計(b+d)	17,494	17,494			
B．執行済額			14,952			
うち交付金充当額			11,961			
次年度繰越額		17,494				
執行率（%）(B/A)		0.0%	85.5%			
予算の状況の説明		･実施設計を行うにあたり、入居を予定している団体へのアンケート実施による集計作業及び整備に関する要望があり、その調整に不測の時間を要したため、事業に係る17,494千円を次年度に繰り越した。 ･不用額は、主に委託料の入札残によるものである。				

活動目標(指標)及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
まちづくり拠点施設･ITインキュベート施設の実施設計の実施	目　標	（実施設計の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施設計の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	平成24年度(繰越)中に実施設計を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
まちづくり拠点施設･ITインキュベート施設の実施設計の実施	目　標	（　）	（実施設計の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		実施設計の実施			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	平成24年度(繰越)中に実施設計を終えた。					

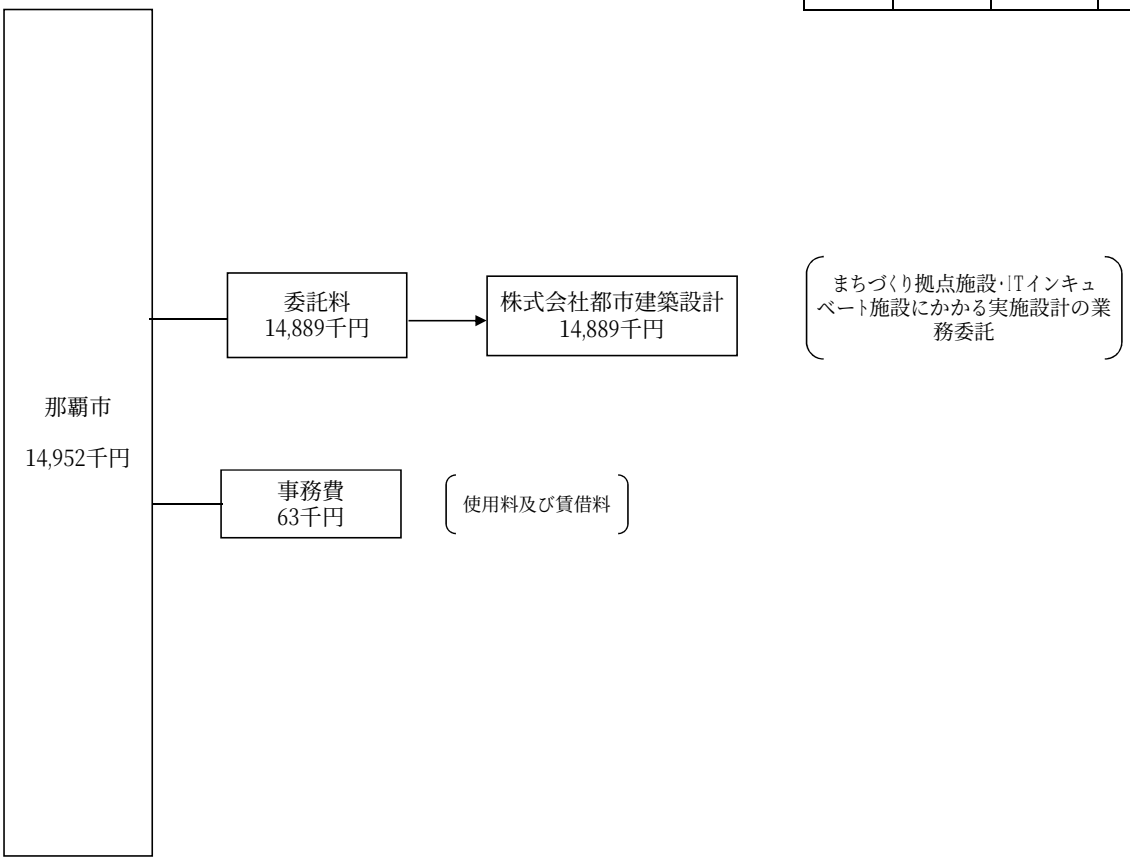
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・事業を実施中に、緊急で外壁タイルの調査を行う必要が生じたことや関係課との調整で不測の時間を要したことなどから、履行期間の延長を行った。	・関係課との調整については、工程会議等において効率よく議事を進めていく必要がある。

今後の取り組み方針

実施設計を受けて、平成２５年度（繰越）事業で（仮称）まちづくり拠点施設改修工事を予定工期内に完成させる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,952	14,952	11,961	2,991	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・実施設計業務委託は、指名競争入札にて選定しており、落札額も妥当な範囲と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２４年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14-⑧	良好な市街地形成に向けた共同墓（納骨壇及び合葬室）整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－（6）－ア 文化資源を活用したまちづくり
担当部課名	環境部　環境保全課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-12

事業内容

沖縄の抱える様々な特殊事情（墓地問題）に対応し、良好な市街地形成を図るため、識名霊園内市民共同墓施設の整備及び拡充を実施する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	330,143				
	(b)予算現額	330,143				
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	326,184			
	A．計(b+d)	330,143	326,184			
B．執行済額		3,959	278,265			
うち交付金充当額		3,167	222,612			
次年度繰越額		326,184	0			
執行率（%）(B/A)		1.2%	85.3%			

予算の状況の説明

本県のお墓に関する風習、慣習等から、建設時期や建物の配置等について有識者からの意見･要望等があり、その調整に不測の日数を要したため、繰越をし執行した。
施工中に不発弾の発見や、想定より硬い岩が出てきたりしたが、平成25年度中に工事を完了させた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
那覇市民共同墓施設の整備	目　標	（4,400壇の設置 合葬室設置）	（　）	（　）	（　）
	実　績	納骨壇4,424壇設置 合葬室設置			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

那覇市民共同墓の整備を行った。納骨壇の種類、2体用及び特殊用の割合を変更したため、設置壇数が増加した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
那覇市民共同墓施設の整備	目　標	（0）	（4,400壇の設置 合葬室設置）	（　）	（　）	（　）
	実　績		納骨壇4,424壇設置 合葬室設置			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

平成26年度からの募集開始可能な体制となった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①沖縄の伝統的な祖先崇拝や年忌法要行事等への対応 ②生前予約希望（合葬用納骨壇）への対応 ③既存、納骨堂との差別化及び異なる運用方法への市民理解	①参拝室、墓庭及びウチカビアンジを備えており、施設の利用による対応を推進していく。 ②当面は、焼骨を所持している方への対応を優先することとするが、市民要望を積極的に汲み取り、今後の改善にいかす。 ③参拝方法の違いについて、広報啓発を行う。

今後の取り組み方針

常駐の管理人（非常勤職員）により今後発生する課題等の把握を行い、改善に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
283,813	282,224	225,779	56,445	1,589

- 那覇市　283,814千円（交付対象事業費）282，224千円
  - 委託料 5,057千円
    - 有限会社ミサト建設 388千円 ―（識名霊園北納骨堂解体に伴う遺骨移転委託業務）
    - 那覇市民共同墓及び納骨堂建設工事業務委託業務委託共同企業体　311千円 ―（識名霊園北納骨堂解体工事　工事監理　有限会社　義空間設計工房）
    - 那覇市民共同墓及び納骨堂建設工事業務委託（基本・実施設計）共同企業体　4,358千円 ―（那覇市民共同墓建設工事工事監理　有限会社　義空間設計工房　株式会社　シビルエンジニアリング）
  - 工事請負費 278,359千円（交付対象事業費）276,769千円
    - 有限会社　佐敷工業 2,957千円 ―（那覇市民共同墓建設工事（解体その1）北納骨堂の解体工事）
    - 那覇市民共同墓及び納骨堂建設工事（建築）共同企業体 238,770千円 ―（那覇市民共同墓及び納骨堂建設工事（建築）　株式会社　南成建設）
    - 株式会社　八起電設 20,110千円 ―（那覇市民共同墓及び納骨堂建設工事（電気））
    - 有限会社　春水工業 8,253千円 ―（那覇市民共同墓及び納骨堂建設工事（機械その2））
    - 株式会社　名建産業 6,357千円 ―（那覇市民共同墓及び納骨堂建設工事（機械）　→契約不履行による契約解除。　契約保証金1,589,490円（交付金対象外））
    - 北那覇税務署 1,912千円
  - 事務費 398千円 ―（需用費、役務費、使用料及び賃借料）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負事業者は、一般競争入札により選定されており妥当であると考える。 ○費目・使途は、事業目的に沿っており、真に必要なものと考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	